

平成31年度当初(骨格)予算の主な事業

(参 考 資 料)

徳 島 県

目 次

1 未来を守る！「安全安心・強靱とくしま」の実現

◆災害に強い！県土強靱化の推進

- (1) 住まい・建物・ブロック塀等の安全対策 1
- (2) ⑧ きめ細やかな雨量情報提供事業 2
- (3) ⑧ 県立学校施設長寿命化推進事業 3
- (4) 新防災センター（徳島中央警察署）施設整備事業 4
- (5) ⑧ 通信指令システム機能強化事業 5
- (6) ⑧ 地域を守る「消防団」活性化推進事業 6
- (7) ⑧ 「少年消防クラブ交流会全国大会」開催事業 7
- (8) ⑧ 被災者生活再建支援基金出資金 8
- (9) ⑧ 新町川コンクリート護岸“修繕対策”事業 9
- (10) 那賀川再生推進プログラム事業 10
- (11) 早明浦ダム再生事業 11
- (12) 交番・駐在所整備事業 12
- (13) 工業用水道施設の強靱化事業 13

◆「新たな徳島モデル」事前復興の推進

- (14) 進化する「とくしまゼロ作戦」緊急対策事業 14
- (15) 戦略的災害医療プロジェクト推進事業 15
- (16) ⑧ 創造的復興実装事業 16
- (17) ⑧ 災害マネジメント力向上事業 17
- (18) ⑧ 備えよう！「ため池事前復興」推進モデル事業 18
- (19) 保健福祉分野における災害時対応力向上事業 19
- (20) 地籍調査事業 20
- (21) ⑧ 応急仮設住宅事前復興事業 21
- (22) 地域防災を担う人材の育成と防災教育の充実 22
 - ⑧ チャレンジ防災人材育成推進事業
 - ふるさと大好き！地域防災推進事業

◆誰もが輝き活躍する地域づくりの加速

- (23) ⑧ 発達障がい「つながる・ひろがる・はばたく」充実事業 23
- (24) 障がいのある方の魅力ある就労継続への支援 24
- (25) アクティブ・シニア生涯活躍促進事業・「ゆかりの徳島」回帰推進事業 25
- (26) 特別支援学校「みんなが主役」きらめき事業 26

◆新次元の消費者行政・教育のさらなる展開

- (27) ⑧ 徳島から世界へ！「消費者行政・消費者教育」パワーアップ事業 27
 - ⑧ 消費生活センター「戦略拠点機能」強化事業
 - ⑧ 「挙県一致」消費生活安心プロジェクト
 - ⑧ エシカル消費パワープロモーション事業
 - ⑧ 食の安全安心消費者教育プロジェクト全国展開事業
 - ⑧ 新次元の消費者行政・消費者教育実装促進事業
- (28) ⑧ 18歳！新成人への学びプログラム事業 28

(29)	徳島から発信!!全国モデルの消費者教育 新次元の消費者教育推進事業 特別支援学校「エシカルチャレンジ」事業	29
(30)	⑧ 地域力×女性力「エシカル消費」推進事業	30
(31)	⑧ 食品表示適正化スピードアップ事業	31
(32)	⑧ 「新未来の消費者行政・実装フィールドへ！」本社機能移転促進事業	32

◆健康長寿・一億総活躍とくしまの推進

(33)	在宅医療推進事業 在宅医療・介護連携体制構築事業 在宅医療人材育成事業 在宅医療提供体制整備事業	33
(34)	医療従事者養成確保事業・医療提供体制確保総合対策事業	34
(35)	小児救急医療総合対策事業	35
(36)	「自殺者ゼロ」を目指す取組みの推進	36
(37)	病床機能分化・連携推進事業 地域医療構想実現化活動支援事業 病床機能分化・連携推進体制整備事業	37
(38)	地方独立行政法人徳島県鳴門病院運営事業 地方独立行政法人徳島県鳴門病院運営費 地方独立行政法人徳島県鳴門病院資金貸付金	38
(39)	「とくしま」から抜けよう！「難病支援の輪」推進事業	39
(40)	⑧ 受動喫煙防止対策強化事業	40
(41)	徳島県地域医療介護総合確保基金事業（介護分）	41
(42)	地域包括ケアシステム構築支援事業	42
(43)	障がい者（児）の安心！地域生活支援体制づくり	43
(44)	県立病院における新たな課題解決に向けた取組み 三好病院改築等事業 ⑧ 総務事務システム導入事業	44

◆くらし安全安心セーフティネットの構築

(45)	人と動物が共生する地域づくり ⑧ 動物愛護「きずなの里」プロジェクト事業 市町村適正管理推進モデル支援事業 ⑧ 災害救助犬等育成スキルアップ事業	45
(46)	⑧ 交通管制システム高度化更新事業	46
(47)	⑧ 高齢者交通事故防止推進事業	47
(48)	「捕獲から利活用へ！」一体的な野生鳥獣被害軽減対策の展開 「とくしま狩猟マイスターへの道」プロジェクト事業 狩猟者育成確保対策事業 指定管理鳥獣捕獲等事業 ニホンザル適正管理事業 野生鳥獣エシカル消費推進ネットワーク構築事業	48
(49)	⑧ 野生鳥獣防除「家畜防疫徳島モデル」創出事業	49
(50)	鳥獣害に打ち勝つ「被害防止対策」の展開	50

2 未来を創る！「経済・好循環とくしま」の実現

◆経済グローバル化を迎え撃つ農林水産業の構築

- (51) 進化する・とくしまブランド戦略の展開 51
 ターンテーブル魅力発信事業
 とくしまブランド推進機構展開事業
 阿波ふうど機動力発揮ブランディング事業
 進化する・とくしまブランド戦略事業
- (52) 新物流（航空貨物など）の利用促進と有利販売対策 52
 ☎ 阿波ふうど新物流ブランド創出モデル事業
- (53) ☎ 「世界農業遺産」を核とした地域経済ジャンプアップ事業 53
- (54) 農林水産業未来創造基金積立金・活用事業 54
- (55) 徳島水産ブランドの更なる進化に向けて！～「はも」「鳴門わかめ」～ 55
 とくしまの活鱧ブランド力向上事業
 ☎ 鳴門わかめブランド力強化事業
- (56) ☎ 6次産業化総合支援事業 56
- (57) ☎ とくしま「新たな森林管理システム」推進事業 57
- (58) 林業の新たな担い手総合対策 58
 ☎ 集まれ！山の学舎フォレストキャンパス事業
 とくしま林業アカデミー事業
 森林女子就業推進モデル事業
- (59) 「阿波とん豚」増産・流通システム確立事業 59
- (60) 「徳島グリーンスタイル」推進事業 60
- (61) 次代につなげる林業プロジェクトの推進 61
- (62) 需要に応じた「徳島新たな米づくり対策」の展開 62
 競争に打ち勝つ！新たな米づくり展開事業
 戦略作物（輸出用米、飼料用米等）生産拡大支援事業
- (63) ☎ 次代を担う多様な農業人材の活躍を推進！ 63
 次代を担う農業人材・経営体育成事業
 農業人材力強化総合支援事業
 規模拡大による「もうかる農業」サポート事業
 ☎ 徳島の農業人拡大応援事業
- (64) ☎ 海部の“地から”魅力ある農業展開支援事業 64
- (65) ☎ 勝利を掴め！花まちプロジェクト2021 65
- (66) ☎ 人を育み、稔りを生む阿南・那賀モデル「農の里」づくり事業 66

◆とくしまブランド海外展開の推進

- (67) ☎ 「とくしま農林水産物等海外輸出戦略」推進事業 67
- (68) 「安全・安心な本県畜産物」の海外展開を加速 68
 ☎ 「とくしま畜産」海外展開促進事業
 “一歩先行く阿波の畜産” GAP&HACCPチャレンジ加速事業
- (69) 大都市圏・海外に向けた「徳島すぎ」需要拡大戦略 69

◆経済加速とくしまづくりの進展

- (70) ☎ 次世代“光”産業創生事業 70
- (71) 地方大学・地域産業創生事業 71

(72)	徳島県中小企業向け融資制度	72
(73)	「多様な人材」の還流・発掘による本県経済の活性化 プロフェッショナル人材戦略拠点事業 プロフェッショナル人材確保支援費 おかえり！とくしま支援事業 すだちくんハローワーク運営事業	73
(74)	徳島県PPP／PFIプラットフォーム事業	74
(75)	戦略的企業誘致による「しごと」と「人材」の創出 企業立地促進事業費補助金 情報通信関連事業立地促進費補助金 戦略的企業誘致強化事業	75
(76)	段階に応じた若者・女性の創業促進支援 創業促進・あったかビジネス支援事業 女性の創業ステップアップ支援事業	76
(77)	とくしま「健幸」イノベーション創出促進事業	77
(78)	徳島版マイスター制度ステップアップ事業	78

◆進化する「働き方改革」の実践

(79)	柔軟な働き方「テレワークするんじょ！」事業	79
(80)	学校業務支援システム構築・運営事業	80
(81)	シームレスなスマート会計実装事業	81
(82)	にし阿波型ワーケーション強化発信事業	82
(83)	二地域居住を加速する「デュアルスクール」実証事業	83

◆外国人材活用に向けた体制の整備

(84)	留学生県内定着促進事業	84
(85)	外国人材による地域おこし活動推進事業	85
(86)	住むなら徳島！外国人とともに輝く地域づくり 地域とつなぐ！在住外国人支援事業 働くなら徳島で！外国人就労支援事業	86
(87)	福祉・介護人材確保緊急支援事業	87

3 世界を魅了！「大胆素敵・躍動とくしま」の実現

◆国際スポーツ大会・「とくしまレガシー」の創出

(88)	世界とつながる3大国際スポーツ大会・キックオフプロジェクト ラグビーワールドカップジョージア代表事前チームキャンプ受入事業 東京オリンピックキャンプ地誘致等推進事業 ワールドマスターズゲームズ2021関西開催準備事業	88
(89)	障がい者の能力と個性を発揮するスポーツ・芸術文化施策の展開 障がい者スポーツ振興事業 チャレンジド・アート・プロジェクト推進事業	89
(90)	競技力ジャンプアッププロジェクト オリンピック選手輩出・国体飛躍プロジェクト 徳島育ち競技力向上プロジェクト 国民体育大会派遣事業	90

(91)	㊦ あわスポーツ・医科学強化プロジェクト	91
(92)	「あわ文化」のレガシー創出と未来への挑戦 あわ文化魅力向上事業 あわ文化創造事業	92
(93)	「自転車ひろがる人・まち」づくりプロジェクト	93
(94)	鳴門総合運動公園整備事業	94
(95)	蔵本公園整備事業	95
(96)	南部健康運動公園整備事業	96

◆徳島の魅力・世界へ発信加速

(97)	㊦ 「桃源郷にし阿波」魅力発信事業	97
(98)	㊦ クルーズ客船誘致促進事業	98
(99)	歓迎徳島！インバウンド誘客推進戦略 ㊦ 「Visit Tokushima」千客万来事業 ㊦ とくしま周遊観光促進事業 歓迎徳島！外国人誘客促進事業	99
(100)	㊦ 新未来航空ネットワーク形成事業	100
(101)	アニメを活用したにぎわい創出 「アニメの聖地とくしま」にぎわい創出事業 「マチ★アソビ」来場者満足度向上事業	101
(102)	世界遺産登録に向けた推進プロジェクト 「四国八十八箇所霊場と遍路道」を世界遺産に！推進プロジェクト 「鳴門の渦潮」世界遺産登録推進事業	102
(103)	千客万来！観光誘客戦略 千客万来！「オール徳島」観光誘客プロモーション事業 周遊促進！徳島観光すいすい事業	103
(104)	「徳島の宝」阿波おどりを「世界の宝」に!! 世界最高の情熱！阿波おどり体感事業 世界へ躍進！阿波おどりプロデュース事業	104
(105)	広域観光推進事業費	105
(106)	コンベンション誘致促進事業	106
(107)	㊦ 四国の右下インバウンド誘客推進事業	107
(108)	㊦ とくめく！ふるさとのレガシー活用・再発見事業	108
(109)	ユネスコ「世界の記憶」チャレンジプロジェクト	109
(110)	㊦ 日本最古級恐竜化石含有層調査・発信プロジェクト	110
(111)	文化の森総合公園重点事業 ㊦ 文化の森デジタルアーカイブ構築事業 ㊦ アートによる文化プログラム促進事業 県立図書館「知の拠点」事業 「新生・野外劇場」活用事業 ユニバーサルミュージアム展開事業	111

◆環境首都・新次元への挑戦

- (112) 「第3回食品ロス削減全国大会」の開催 112
 ⑨ 食品ロス削減全国大会開催事業
 ⑨ エシカル消費で加速！脱炭素「ステップアップ」事業
- (113) 「未来へつなぐとくしま生物多様性」活動推進事業 113
- (114) 自然と人間が調和する社会の実現！ 114
 自然公園等施設整備事業
 自然をあびる！チャームアップ事業
- (115) ⑨ 剣山ファン拡大に向けた安全安心対策・自然保護活動の推進 115
 ⑨ 次代へつなぐ！剣山ファン拡大事業
 ⑨ 剣山山系登山道整備・自然再生プロジェクト（三嶺）

◆とくしま回帰のさらなる加速

- (116) ⑨ 「とくしま回帰」加速・産業人材支援事業 116
- (117) ⑨ 徳島わくわく移住・創業パッケージ支援事業 117
 ⑨ 徳島わくわく移住支援事業
 ⑨ 徳島わくわく創業支援事業
- (118) 進化する「とくしま回帰」推進戦略 118
- (119) ⑨ 産学官連携による「EBPMモデル研究」事業 119
- (120) ⑨ みなみで総活躍！まち・ひと・しごと次代承継事業 120
- (121) 「とくしま回帰」住宅対策総合推進事業 121
 空き家リノベーション支援事業
 「とくしま回帰」住宅対策総合支援センター事業
- (122) 阿佐鉄・飛躍「夢と希望のDMV導入プロジェクト」 122

◆結婚・出産・子育て支援の進化

- (123) とくしま結婚支援プロジェクト加速化事業 123
- (124) 少子化対策の推進強化 124
 地域少子化対策強化事業
 ⑨ とくしま在宅育児応援クーポン事業
- (125) 「子育てするなら徳島！プロジェクト」の展開について 125
 阿波っ子はぐくみ保育料助成事業
 地域子育て総合支援交付金事業
 子ども・子育て支援新制度推進交付金事業
 保育提供体制緊急確保事業
- (126) 放課後児童対策の推進 126
 放課後子ども総合プラン推進事業
 放課後児童対策事業
 児童館整備事業
- (127) 児童虐待防止対策の強化 127
 虐待関係職員専門性強化事業
 児童相談所機能強化事業
 里親総合支援事業

(128)	貧困対策の推進	128
	生活困窮者への支援	
	子ども・ひとり親家庭への支援	

◆未来を切り拓く人材の育成

(129)	⑧ 新未来創造・高校生育成プロジェクト	129
(130)	とくしまの未来を切り拓く「グローバル人材」の育成	130
	⑧ とくしま英語教育イノベーション研修事業	
	⑧ Tokushima英語村プロジェクト エンジョイ！コミュニケーション事業	
(131)	⑧ 高大・地域連携キャンパス実践展開事業	131
(132)	⑧ 選挙へGO！啓発はぐくみ事業	132
(133)	ふるさと創生拠点ハイスクール推進事業	133
(134)	人口減少社会に対応した小中一貫教育推進事業	134
(135)	未来へつなぐ「キャリア教育」推進プロジェクト	135
(136)	競技力向上関連事業	136
	⑧ NEO徳島トップスポーツ校強化事業	
	⑧ 全国高等学校総合体育大会開催準備事業	
	渦潮スポーツアカデミー推進事業	
	中学校トップスポーツ競技育成事業	
	あわスポーツ・ブルーミング戦略事業	
(137)	中学生・高校生の「文化芸術力」創造・発信プロジェクト	137
	羽ばたけあわっ子！文化芸術共創・発信事業	
	輝け高校生！文化芸術力創造・発信事業	

住まい・建物・ブロック塀等の安全対策

【平成31年度当初予算額 295,900千円】

課題

- ・住宅の耐震化率100%に向け加速
- ・危険ブロック塀等の安全対策の促進
- ・危険空き家等の除却の促進

方向性

- ・大規模地震発生時の「死者ゼロ」の実現に加え、緊急輸送道路や避難路等を確保する安全対策までしっかりと支援！

倍増!!

住宅・建物の耐震化

225,900千円

○木造住宅の耐震化支援

「全国トップクラス」の支援制度

・ **本格改修 + 火災予防対策 = 110万**
 本県独自!! (補助率4/5)
 感震ブレーカー (分電盤タイプ)

- ・簡易改修+リフォーム 40万(補助率4/5)
- ・耐震シェルター 80万(補助率4/5)
- ・住替え(除却) 30万(補助率2/5)

○民間建築物の耐震化支援

制度継続が実現!!

- 耐震診断義務付け建築物をかさ上げ支援
- 耐震診断 個人負担 1/3 → ゼロ
 - 耐震改修 個人負担 1/3 → 4/15

○普及啓発・人材育成

関係団体、相談員等と連携



出前講座 パネル展 低コスト工法講習会

エシカル消費!!

新 危険ブロック塀等の安全対策

42,000千円

○危険ブロック塀等の安全対策支援

「撤去 + 新設」を創設

撤去	事業費 10万	上限補助額 6.6万 (補助率2/3)	
新設	事業費 40万	上限補助額 26.6万 (補助率2/3)	

個人負担約**17万円!!** (工事費50万円)
 県産材の利用促進!!
 *新設のみは対象外

避難路等の安全性が加速!!

要件 地域防災計画又は耐震改修促進計画等に位置付けられた避難路等

“相乗効果”により最大限の効果を発揮

危険空き家等の除却

28,000千円

空き家再生等促進事業【32,000千円】の内数

○老朽危険空き家等の除却支援

全国では、地震に加え相次ぐ台風等の風水害でも倒壊事例が発生!!

危険度の高まり

除却

上限補助額 **80万**
(補助率4/5)



危険空き家の除却促進による災害予防

地域防災力向上と住環境の改善!!



「全国をリードする支援制度」により「死者ゼロ」を目指す!

担当：住宅課・建築指導室

新 きめ細やかな雨量情報提供事業

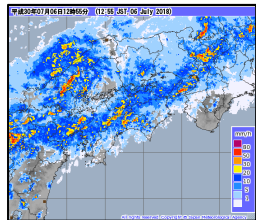
【平成31年度当初予算額 6,000千円】

背景・課題

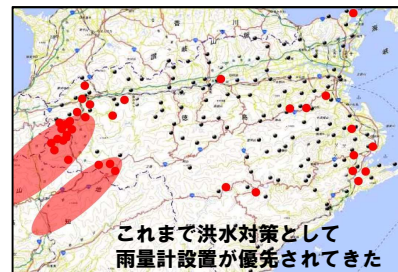
○平成30年7月豪雨では、
線状降水帯により
各地で土砂災害が多発し、
逃げ遅れ等により
多数の人的被害が発生



○住民自らが判断し、
適切なタイミングでの
避難行動の重要性が再認識



雨雲レーダーでは、
避難のタイミングが
分からない。
いつ避難したらいい？



これまで洪水対策として
雨量計設置が優先されてきた

● 7月豪雨土砂災害発生箇所
● 既存雨量計(170基)
● 線状降水帯

方向性

- 住民が自らが判断し、適切な避難行動をとれるよう支援
- 市町村の適切な避難情報発令を支援
- 土砂災害警戒区域からの避難の実行性の向上へ

きめ細やかな雨量情報を提供

事業計画

- IoT雨量計を土砂災害警戒区域内の
要配慮者利用施設に設置し、
施設や住民、市町村に雨量情報を
提供することで適切な避難を促進
- IoT雨量計により、LPWAの活用と
既存施設への設置が可能となり、
通信費・設置費を大幅削減
- 要配慮者利用施設の避難確保計画
の策定・避難訓練実施を強力に支援

土砂災害警戒区域指定
H31年度完了
12,368箇所
(13,001箇所 調査済)

区域内の要配慮者利用施設
276箇所(区域先行指定済)

IoT雨量計
設置予定
約60箇所

近傍に
雨量計が
ある施設等
約210箇所

3か年で設置完了
(H31年度20箇所程度)

「区域指定」、「雨量情報提供」、「訓練実施」の三位一体により、土砂災害から県民の命を守る！

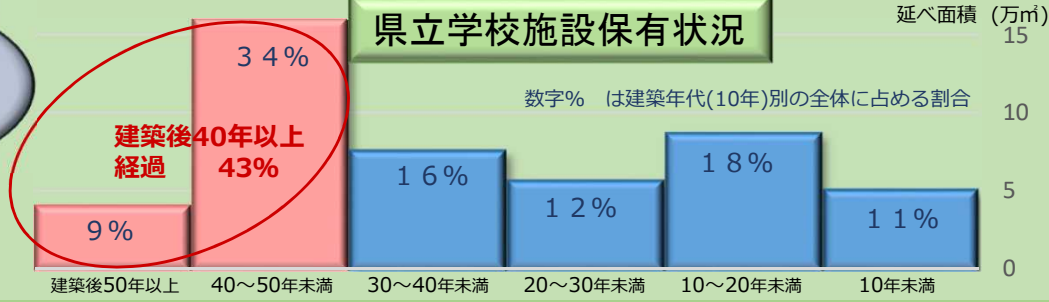
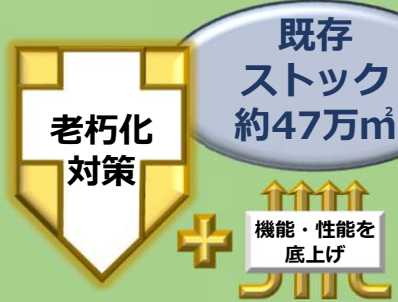
担当：砂防防災課

新 県立学校施設長寿命化推進事業

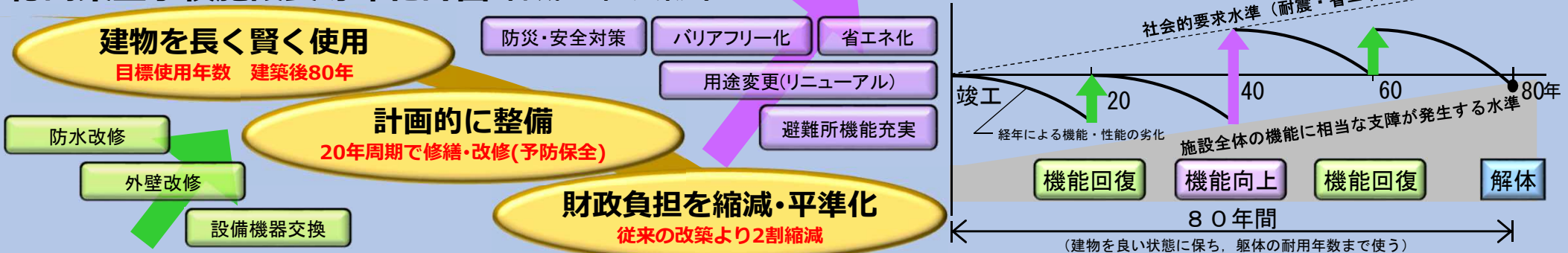
【平成31年度当初予算額 200,369千円】

県立学校施設の現状・課題

- ・ 耐震化をほぼ完了(96.6%)
- ・ 建築後40年以上経過したものが約4割
- ・ 生活環境の変化により洋式トイレが一般化
- ・ 災害時は地域の中核的な避難所の役割



徳島県立学校施設長寿命化計画 (平成30年3月策定)



機能回復



校舎 屋上防水の劣化

県立学校施設の長寿命化 平成31年度 事業実施校 10校



体育館 床の傷み



教室のリニューアル

機能向上



多目的トイレ

児童生徒・地域住民の安全安心の確保

～ 徳島中央警察署の新庁舎整備に向け
“全国初”となるPFI手法による警察署単独整備事業を着実に推進 ～

① 徳島中央警察署施設整備等PFI事業 (建設工事1年目)

現庁舎



建築年月日:昭和46年8月
敷地面積:500.132㎡
庁舎面積:5,989㎡
耐震診断値(Is値):0.25
構造:地上5階・地下1階

<課題>

施設の狭隘化が著しい
留置場の構造的課題
南海トラフ巨大地震による津波浸水対策 等

新庁舎(予定)



(イメージ)

供用開始:平成33年3月
敷地面積:4,025㎡
庁舎面積:12,000㎡程度
耐震診断値(Is値):0.9以上
構造:地上8階

- 県治安のランドマークとなる
センター警察署の整備
- 南海トラフ巨大地震を迎え撃つ
「新防災センター」の整備

事業スケジュール

H25年度	有識者会議開催など
H26年度	基本構想策定
H27年度	PFI導入可能性調査業務
H28・29年度	PFIアドバイザー事業
H30.3月	事業契約
H30年度	設計業務
~~~~~(予定)~~~~~	
H31・32年度	建設工事
H33年春	供用開始予定
H33年度～	維持管理業務

② 徳島中央警察署庁舎整備等PFI事業支援業務

- 建設モニタリング支援業務  
建設工事の要求水準確保のための各種支援を受ける
- 金融機関との直接協定締結支援業務  
県と金融機関との円滑な直接協定締結のための各種支援を受ける

③ 埋蔵文化財発掘調査事業 (2年目)

徳島中央警察署の移転予定地=『埋蔵文化財包蔵地』  
建設予定地における埋蔵文化財の発掘調査を教育委員会に委任



担当:拠点整備課

県民の安心・安全の実現へ

## 1 通信指令システムとは

通信指令システムは、110番通報による事件・事故等あらゆる警察事象に即応するためのシステムであり、初動警察の根幹をなすものである。

## 2 事業スケジュール

平成30年度	自主設計
平成31年度	工事
平成32年度	新システム運用開始



担当：通信指令課

# 新 地域を守る「消防団」活性化推進事業

【平成31年度当初予算額 3,500千円】

## 現状

- 「人口減少・少子高齢化」  
「地域コミュニティの希薄化」  
**消防団員が減少傾向**

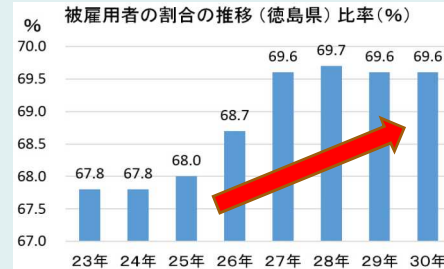
➤ **消防団員の確保・育成**



○消防団員数 **10,749人**(H30.4.1)

- 「消防団員のサラリーマン化」  
**被雇用者率が増加**

➤ **事業所との連携強化**  
➤ **消防団活動への支援**



○被雇用者率 **69.6%**(H30.4.1)

## 多様な人材活用による「消防団」活性化事業

### 「機能別団員制度」の拡大

➤ **女性・学生・消防団OBの活用**

**女性** 【平時】火災予防啓発・広報活動  
**学生** 【災害時】避難所運営等

**消防団OB** 【平時】若手への技術伝承  
【災害時】後方支援(物資搬送等)

➡ **全市町村への導入促進**  
・効果的な取組事例等を紹介

### 「消防団1日体験入団」開催

➤ **大学生・高校生に消防の魅力を発信**

➡ **入団への動機づけ**  
・消防団の活動事例を紹介  
・活動服による「水出し操法」体験

高校生  
防災士も



## 事業所連携・消防団活動応援事業

### 「消防団活性化シンポジウム」開催

➤ **経済団体と連携・共催**  
・従業員の消防団加入や活動に対する理解・協力を事業所に働きかけ



### 「事業所」への働きかけ

➤ **消防団を応援する環境づくり**

CATV  
映画館等

■ **PR動画(2テーマ)の制作・配信**

- ・消防団協力事業所 **212事業所**
- ・消防団応援の店 **108店**

**更なる  
拡大!**

- 事業所へ出向く「**出前講座**」の創設
- 「消防団協力事業所」を顕彰(知事表彰)
- 「消防団応援の店」サイトの充実

消防団協力事業所



**消防団員を  
応援します!**



徳島県消防団応援の店

**消防団の活性化による「地域防災力」の充実強化!**

# 新「少年消防クラブ交流会全国大会」開催事業

【平成31年度当初予算額 2,500千円】

## 本県で「3回目」となる「全国大会」開催決定！

全国から「少年消防クラブ」が徳島に集合！

### ■少年消防クラブ交流会

「徳島発の政策提言」により「全国大会」が実現！

- ・全国の少年消防クラブ員と親交を深める  
 <実践的な消防活動を取り入れた訓練等>
- ・消防団から学ぶ  
 <被災経験、災害教訓、災害への備え等>

県内少年消防クラブの現況 (H30.5.1現在)  
【組織数 33クラブ 人員 2,146人】

### 【開催状況】

H24: 東日本大会 (岩手県)

H25: 西日本大会 (徳島県)

全国大会へ拡大

H27: 第1回全国大会 (徳島県)

H28: 第2回 " (宮城県)

H29: 第3回 " (徳島県)

H30: 第4回 " (千葉県)

H31「第5回全国大会」  
徳島県開催!!



### ■交流会の概要

【開催時期】 平成31年夏(3日間)

【参加クラブ】 約60クラブ(約420人)

【内 容】

- 1日目 ・クラブ紹介
- ・阿波おどり体験
- 2日目 ・合同訓練
- ・避難所体験
- 3日目 ・消防団との交流

全国の仲間との交流

様々な学び



### 【1日目】



クラブ紹介



阿波おどり体験

### 【2日目】



合同訓練



避難所体験

### 【3日目】



防災活動報告



消防団との交流

## 地域防災の担い手となる「未来の消防団員」を育成！

担当：消防保安課

# 新 被災者生活再建支援基金出資金

【平成31年度当初予算額 353,269千円】

## 被災者生活再建支援制度

自然災害により生活基盤に著しい被害を受けた者に対し、都道府県が相互扶助の観点から拠出した基金を活用して支援金の支給を行う

### ■住家の被害程度に応じ支援

被害区分	基礎支援金
全壊	100万円
解体・長期避難	100万円
大規模半壊	50万円



### ■再建方法に応じ支援

再建方法	加算支援金
建設・購入	200万円
補修	100万円
賃借	50万円

## 相次ぐ大規模自然災害

平成28年熊本地震



平成30年7月豪雨



### 【本県での被災者生活再建支援法の適用】

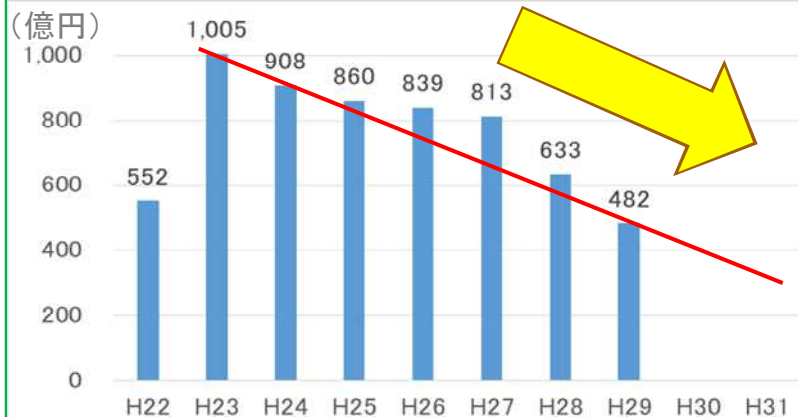
平成26年台風12号・11号  
那賀町



平成30年7月豪雨  
三好市



## 被災者生活再建支援制度の持続



仮に熊本地震と同等の災害が起これば、平成31年度末には、基金が枯渇する恐れあり

基金残額の推移  
(公財)都道府県センター  
決算報告書 等より作成

### 全国知事会<H30.11.9>

全都道府県が相互扶助の観点から総額400億円の追加拠出を決定

### 徳島県拠出予定額

3億5,326万9千円

均等割：2割  
世帯数割：8割

生活の再建・地域の復興に資する「被災者生活再建支援制度」の安定的運用



# 新 新町川コンクリート護岸“修繕対策”事業

【平成31年度当初予算額 31,000千円】

## 目的

### 新町川を次世代へ継承

- ◇ 「護岸劣化」を防止する修繕対策の実施
- ◇ 「青石」による人々を引き付ける水辺空間の創出
- ◇ 「ふるさと納税型クラウドファンディング」の導入

- ◇ “安全・安心”の確保
- ◇ “とくしまの顔”の魅力向上
- ◇ “ふるさとへの想い”を形に

一石三鳥

## 内容

“新町川を守る会”によるクルーズ

徳島中央公園 親水広場  
城山  
徳島中央公園  
西の丸橋  
前川橋  
三ツ合橋  
JR徳島駅  
藍場浜公園  
新町川水際公園  
新町橋  
ふれあい橋  
新町橋東公園  
しんまちボードウォーク  
仁心橋  
あいせん橋  
春日橋  
佐古大橋

整備延長  $L = 250m$   
 ・事業期間：H31～H33  
 ・事業費：100百万円

公園・ボードウォーク  
 整備済み区域

### 安全・安心・快適な川づくりを推進

「老朽化」が進む  
コンクリート護岸

青石被覆による護岸強化  
魅力向上

護岸の  
長寿命化

### “ふるさと納税型クラウドファンディング”の導入

- 「かわ普請」から「クラウドファンディング」に進化!
- 全国へ広がる「新町川ファン」に呼びかけ!



かわ普請  
～地域との協働事業～

進化



“募集金額”  
150万円

応援してなとくしま  
ふるさと納税

併せて、青石護岸の魅力为全国へPR

「“とくしま”への想い」をもとに『安全・安心・快適な水辺空間の創出』!!

担当：河川整備課

# 那賀川再生推進プログラム事業

【平成31年度当初予算額 2,770,506千円】

## 目的

- ・ 那賀川流域の洪水被害の低減
- ・ 流水の正常な機能の維持

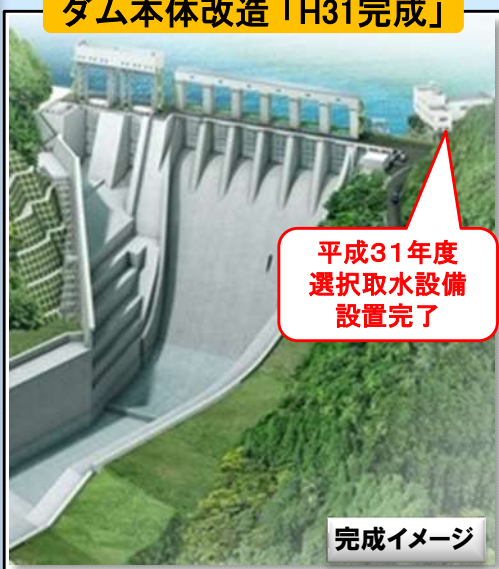
安全・安心で豊かな  
「那賀川再生」の実現

## 内容

### 長安口ダム改造事業（国直轄事業負担金）【1,233,877千円】

- ダム本体改造：選択取水設備設置、堆砂除去
- 長期的堆砂対策：施設概略設計

#### ダム本体改造「H31完成」

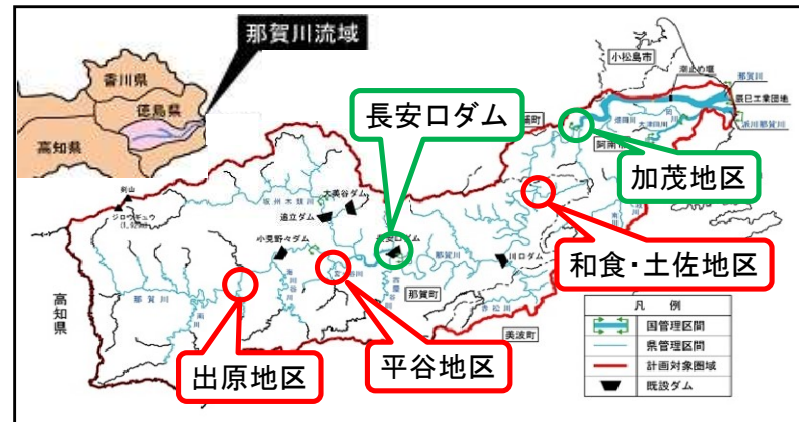


#### 長期的堆砂対策



### 那賀川再生関連対策事業【3,629千円】

- 那賀川流域の総合的な土砂管理に関連する調査
- 流域振興を目的とした交流活動(上下流交流バスツアー、源流コンサート等)



### 県管理区間の河川整備【1,533,000千円】

- 和食・土佐地区：「床上浸水対策特別緊急事業」  
国道橋梁架替・堤防整備・用地補償等
- 平谷地区：「総合流域防災事業」 嵩上げ等
- 出原地区：「広域河川改修事業」 河道拡幅等

《参考》国管理区間の河川整備  
加茂地区：「床上浸水対策特別緊急事業」 築堤等

#### 和食・土佐地区



## 安全で安心できる「那賀川流域の未来」を拓く川づくりの推進

# 早明浦ダム再生事業

【平成31年度当初予算額 65,096千円】

## 背景・目的

- ・吉野川流域では、平成16年の台風23号など大規模な浸水被害が発生
  - ・気候変動が顕在化
- 治水安全度が低下 → 深刻な洪水等の発生リスクの高まり

水災害に強い社会を構築



## 内容

早明浦ダム再生事業 (国直轄事業負担金) 【65,096千円】

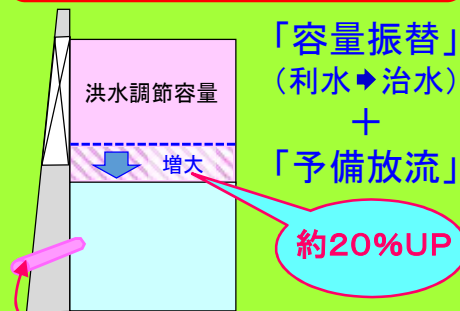
### ◆ 放流設備の増設、洪水調節容量の増大による治水機能の増強

放流設備増設イメージ



H30事業化

平成31年度  
 ・放流設備設計  
 ・工事施工計画検討等



放流設備を増設

貯水位が低い時点の早い段階から放流でき、柔軟な水量調整が可能に

住民の悲願  
 「洪水被害解消」  
 大きな弾み!

- ・春水の安定的確保
  - ・農業用水の取水安定化 など
- 積年の水問題解決へ!

「吉野川水系河川整備計画」変更!  
 (H29.12.20)

- ・岩津上流に残る8箇所の無堤地区の今後10年間での事業着手
  - ・旧吉野川及び今切川での地震・津波対策の推進
- が明記

「堤防整備」と「ダム再生」を  
 一体的に推進

## 「吉野川の新未来を切り拓く川づくり」を実現

担当: 流域水管理課

## 交番・駐在所整備事業

### 県警察の課題

#### ● 県内の交番・駐在所等の建築年数

(H31.4.1予定)

築30年未満	81か所
築30年以上	46か所
合計	127か所

#### ● 老朽施設の増加

- 昭和48年前後(高度経済成長期)に集中的に整備
- 将来、**修繕費増加が懸念**  
従来方式では年間1~2箇所の新築が限界  
⇒**老朽化に整備が追いつかない**

### 県警察の取組

「大綱方針」(H28.4策定)

「警察署再編等総合整備計画」(H29.3策定)



- 施設の在り方と配置の見直し
  - 統廃合等による施設総数の抑制
  - リフォーム等による**長寿命化**
- 新たな手法による交番等の整備
  - **PFI手法**による駐在所一括整備
  - 「テナント型」交番の整備

交番・駐在所は、地域警察活動の拠点として、受持区域の犯罪抑止及び検挙に努めているほか、地域の身近な問題を解決すべく、事件・事故の分析を行い、未然防止策を提供するなど、**本県の治安維持には欠かせない存在**である。



### 平成31年度事業内容

#### 駐在所PFI整備事業 ~全国初となるPFI手法による一括整備を着実に推進~

これまでの取組

- H28 駐在所PFI導入可能性調査事業
- H29・30 駐在所PFI整備アドバイザー事業
- H30.10月 事業契約
- H30・31 解体、設計、建設
- 供用開始~ 維持管理委託

- 複数施設を一括して整備(バンドリング)することによる**コスト縮減**
- 民間ノウハウを活用した**クオリティの高いサービスの提供**
- **施設の長寿命化**に向けた計画的な維持管理
- 財政負担の平準化

対象駐在所 16駐在所  
 不動本町・広野(徳島名西署)  
 下庄・鍛冶屋原・西分(徳島板野署)  
 高島(鳴門署)  
 赤石町(小松島署)  
 大野(阿南署)  
 由岐・大里(牟岐署)  
 西条・瀬詰(阿波吉野川署)  
 野村・谷口(美馬署)  
 三野町・川口(三好署)

#### 交番建替整備事業 ~従来方式による計画的な建替整備~

徳島中央警察署昭和町交番(H30:設計、H31:工事)

#### 駐在所リフォーム整備事業 ~リフォームによる施設の延命化~

今後も存続が見込まれる築年数20~30年程度の駐在所をリフォームし、**施設の長寿命化**及び勤務員の**住環境の改善**を図る

その他(駐在所解体)

「脇町うだつ交番」の新設に伴い、平成29年度末をもって廃止となった「美馬警察署脇駐在所」を解体

<対象駐在所>  
 那賀警察署坂州駐在所  
 建築年月日:S60.3.19(築33年)

担当:拠点整備課

## 現状と課題

- 工業用水道管路の老朽化  
建設時から50年以上が経過し更新時期を迎えている
- 大規模災害で甚大な被害  
企業ユーザー（化学工場や製薬工場等）への給水停止の懸念
- 管路更新計画  
管路整備優先区間 5.7km の内、整備区間 2.8km が完了

## 今後の取組み

- ・管路耐震化等、防災対策の更なる加速
  - ・切れ目なく継続した給水の実現
  - ・施設の強靱化の推進
- ▷ 吉野川北岸工業用水道の優先整備区間 5.7km の耐震化を実施し、管路の強靱化を図る

## 事業概要

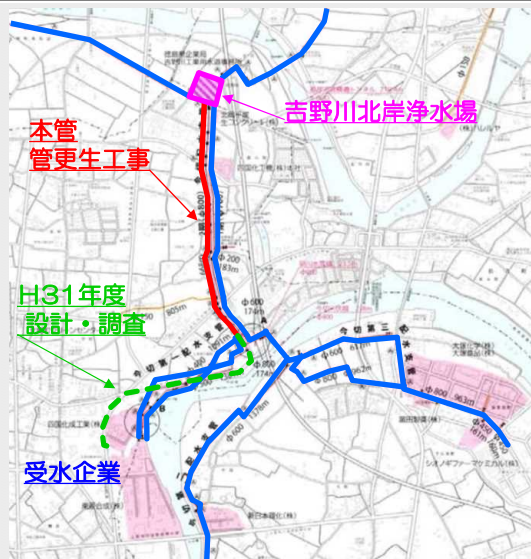
### ■ 吉野川北岸工業用水道 ■

#### ○ 今切配水本管 管路管更生

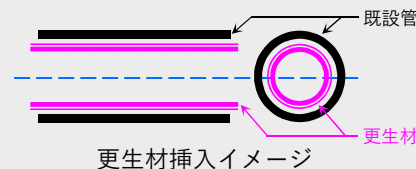
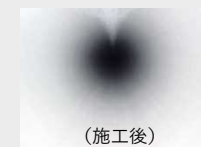
- ・ 施工延長 L= 580m
  - ・ 管路口径 φ700
  - ・ 現道路への影響が小さく、施工費を抑えることができる
- 管更生工法を採用  
(既設管路を生かしながら改良する工法)

#### ○ 今切第一配水支管

- ・ 着工準備  
(設計および地質調査 1式)



### ■ 管更生工法 ■



施設の強靱化による安定供給の確保

# 進化する「とくしまゼロ作戦」緊急対策事業

【平成31年度当初予算額 123,000千円】

## 平成30年度の災害を踏まえた対応

### 大阪府北部地震

ブロック塀の倒壊



危険なブロック塀の撤去及び機能回復



### 平成30年7月豪雨

土砂災害等の発生



孤立化対策

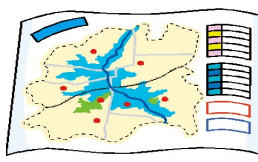


## 市町村の計画策定を支援

- ◇ 安全避難計画策定支援事業
- ◇ 計画策定にアドバイザー派遣



「避難計画」の策定



ハザードマップの作成



検討委員会等へのアドバイザー派遣

## 複合災害対策への支援

- ◇ 津波避難施設等整備事業
- ◇ 避難路・避難施設等機能強化事業
- ◇ 避難所非構造部材耐震化事業
- ◇ 災害時快適トイレ対策促進事業



トイレ対策



避難施設の整備



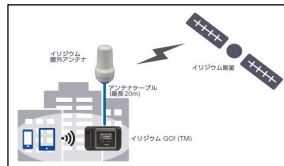
非構造部材対策



ブロック塀対策

## 孤立化対策を支援

- ◇ 孤立化集落通信手段確保対策事業



衛星Wi-Fi



衛星携帯電話

## 先進的な取り組みの推進

- ◇ チャレンジ枠・先進防災事業
  - ・ 地域ならではの先進的な防災・減災対策等を支援
- ◇ 津波避難シミュレーション活用事業
  - ・ AIを活用



例) ドローンの活用

# 震災時における「死者ゼロ」の実現・あらゆる災害の「被害の最小化」

担当：とくしまゼロ作戦課

H26～30年度

「基本戦略」の策定

災害医療推進基金の創設

災害医療力の強化

- ・AMDAとの医療救護活動に関する協定締結
- ・DPATの創設
- ・災害医療コーディネーター養成
- ・災害医療ロジチームの検討

要配慮者支援の強化

- ・妊産婦や乳幼児に配慮した避難所運営訓練
- ・福祉避難所受入れ訓練

避難環境の向上

- ・アマゾン・ジャパンとの災害支援協定
- ・災害時快適トイレ計画策定
- ・トイレパンフレット配布

情報共有基盤の強化

- ・戦略的災害医療“G空間”プロジェクト

実証実験

- ・各圏域での災害医療訓練
- ・ヘリによる夜間救急搬送訓練

## H31年度 プロジェクト基本戦略の展開を加速

- ★ 災害医療体制の連携強化
- ★ 要配慮者支援対策の充実

### ① 災害医療力の強化

- 各圏域の応援・受援体制の強化
  - 応援・受援体制の確立と多様な参加者による災害医療訓練
  - 災害発生時の迅速かつ適切な医薬品供給体制の強化
- 災害医療を担う人材育成
  - ロジスティクス専門チーム、行政コマンダー等の育成と各種研修活動の支援
  - 徳島DMAT、DPAT、とくしま災害栄養チーム、災害薬事研修インストラクター、とくしま災害感染症チーム等の充実



災害時おくすり供給車両



ロジスティクス研修

### ② 要配慮者支援の強化

- 医学的管理を必要とする要配慮者の療養継続支援
  - 在宅酸素療法患者をはじめ、災害時要配慮者に対するネットワークの構築
  - 避難所在宅酸素療法専用スポット整備事業
- 要配慮者の多様な健康支援体制の整備
  - 避難所における災害時口腔ケア体制の整備
  - がん患者等に対する支援体制の整備
  - 助産師の災害支援体制構築を支援
- 福祉避難所での要配慮者対策を支援
  - 福祉避難所の受入れ体制の整備



福祉避難所受入れ訓練

### ③ 避難環境の向上

- 避難所運営体制の整備
  - スフィアプロジェクト研修(避難所運営・支援に国際基準を導入)
  - 避難所における要配慮者スペース運営体制構築支援
  - 災害関連死対策に重点をおいた避難所運営訓練
- 避難所環境の整備
  - 「災害時快適トイレ計画」に基づくトイレの快適化の推進



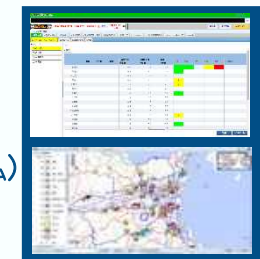
スフィア・ハンドブック



快適トイレの普及啓発

### ④ 情報共有基盤の強化

- 災害時情報共有システムの基盤強化
  - 福祉避難所開設機能強化
  - 備蓄台帳管理機能の追加
  - EMIS(広域災害救急医療情報システム)との情報連携機能強化



災害時情報共有システム

災害関連死をはじめとする「防ぎ得た死者ゼロ」の実現

担当：とくしまゼロ作戦課、防災人材育成センター、保健福祉政策課、医療政策課、健康増進課、業務課、障がい福祉課、南部総合県民局

# 新 創造的復興実装事業

【平成31年当初予算額 9,800千円】

## 【過去の大規模災害における課題】

### 【行政運営】

- ・膨大な業務量に直面し、職員の経験、人手不足による「復興方針」策定の遅れ
- ・関係者との合意形成に時間を要することによる復興事業の遅れ



### 【地域の再生・生活再建】

- ・災害廃棄物の仮置場や仮設住宅等の用地確保が難航
- ・築いてきた人間関係の希薄化による地域コミュニティの崩壊



板倉構法の仮設住宅

### 【産業・経済の再建】

- ・被災した農林水産事業者における営農や操業再開の遅れ
- ・被災した商工業者における操業停止や事業縮小、事業再開の遅れ



出典：気仙沼市

## 速やかな「復旧・復興」が必要

### 【課題解決に向けて】

#### ①「徳島県復興指針」の策定

- ・すまいの再建
- ・暮らしの再建
- ・安全・安心な地域づくり
- ・産業・経済の復興

- ・復旧・復興対策の手順を示すガイドラインとして指針策定（事前復興（事前準備）の視点を盛り込む）

- ・学識経験者や地域における実践者等から構成される外部有識者会議などで検討



(徳島県復興指針検討委員会)

#### ②市町村の取組み支援

事前復興（事前準備）の実装支援

- ・事前に取り組むべき項目を工程表にとりまとめたロードマップ作成のため説明会を開催

#### ③県民意識の醸成

事前復興の啓発

- ・「事前復興」をテーマとしたシンポジウムの開催
- ・4K動画を制作し県民ホール等で上映、ケーブルテレビ放送やYouTubeでも配信

## 事前準備により復興適応力を実装し、創造的復興を実現！



# 新 災害マネジメント力向上事業

【平成31年度当初予算額 9,800千円】

## 現状と課題

- 災害対応する自治体の人手、経験不足
- 市町村における受援体制の整備不足



## 国の動き

- 全国規模の応援職員派遣の仕組みを制度化（H30）
  - ・平成30年7月豪雨にて初運用
- 「地方公共団体のための災害時受援体制に関するガイドライン」を策定（H29）

## 県の動き

- 30名の災害マネジメント総括支援員等を宇和島市に派遣

## タスクフォース

県内の防災関係機関の「顔の見える関係作り」を



災害時の業務がリスト化できないか

## 応援力強化

### 徳島県災害マネジメント総括支援員制度の創設（H30）

- 県・市町村職員を対象に災害マネジメント総括支援員等の養成研修を実施し、名簿に登録
- 訓練や交流を通じた「顔の見える関係」の構築



（宇和島市災害対策本部）

発災後の迅速な派遣

## 受援力強化

### 市町村受援対応研修

- 市町村における受援体制の検討や、BCP等への反映を促進するための研修を実施



人的資源の効果的な活用

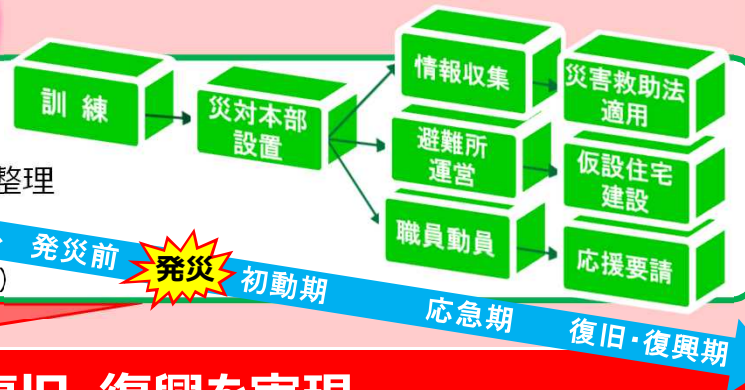
## 災害対応プロセス強化

### 災害対応フローの策定

- 発災前後における処理すべき自治体の業務を時間軸（タイムライン）により整理

効果的な人員配置、災害対応が可能

（災害対応フローのイメージ）



# 大規模災害からの速やかな復旧・復興を実現

# 新 備えよう！「ため池事前復興」推進モデル事業

【平成31年度当初予算額 5,000千円】

## 活断層直上にあるため池の被災



- 熊本地震(H28.4)
- 大阪北部地震(H30.6)

23箇所被災



被災状況(拡大)

## 本県では！

- 中央構造線活断層帯が縦断！
  - 上記、活断層帯上に20箇所のため池が存在
  - M7.7の地震の将来予測
- ⇒**県民の生命・財産の危機**

待ったなしの対策が必要！

## 災害を未然に防止するために

- ため池の移転や廃止が必要となる  
しかしながら・・・
- ・代替水源の確保が困難
- ・災害に関する住民意識の相違
- ・何からすれば良いか判らない

全国に先駆け

- ☑「地域住民」が主体となった「ため池事前復興モデル計画」の策定
- ☑「復興計画」に基づく**対策の実施**
  - ・代替水源の確保とため池統廃合
- ☑事前復興による**地域防災力のUP！**

## 「ため池事前復興モデル計画」

### STEP1(合意形成)

#### ◎「モデル地区」の選定と「ワークショップ」の開催

- モデル地区 **中央構造線上のため池を対象**
- 代替水源の有無、営農状況、地域バランスを考慮し、4地区を選定
- 住民が主体となり地域の「**営農**」や「**防災**」を検討するワークショップの開催  
(構成員) 土地改良区、ため池管理者、JA、農業の担い手、防災組織等  
(検討内容)
  - ・これまでの**活断層地震**の被害状況の周知
  - ・水源転換を踏まえた営農や防災面など地域の「**将来ビジョン**」
  - ・ため池受益者の**意向確認**と**統廃合**や**代替水源**
  - ・地域住民の**合意形成**やため池「**跡地**」の有効活用策

被災地においても、ため池廃止や水源転換は難しい課題



住民ワークショップの開催(地域の将来を自ら決める)

持続可能な地域づくり

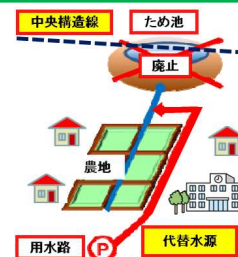


ため池跡地の有効利用(公園利用など)

### STEP2(計画策定)

#### ◎「ため池事前復興モデル計画」の策定

- 計画策定に向けた**スキーム(手法・手順)**の確立
- ワークショップにて検討した内容の具現化
  - ・代替水源の規模・形式、**ため池廃止工法等**の検討
  - ・概略設計の実施及び**概算工事費**の算定



水源転換・ため池廃止のイメージ

- ハード対策は**速やかに!**  
別事業で対応
- ・代替水源の確保
  - ・ため池の統廃合
  - ・ため池の規模縮小

### STEP3(情報発信)

#### ◎「ため池事前復興モデル計画」の情報発信

- プロセスや課題の情報発信(HP・パンフレット)
- 「**ため池移転推進**」セミナーの開催

全てのため池20箇所での計画策定のために

他地区への波及・機運の醸成

事前復興を踏まえた**地域防災力の強化**

# ため池事前復興に取組み「用水確保」と「死者ゼロ」を実現！

担当：生産基盤課

# 保健福祉分野における災害時対応力向上事業

【平成31年度当初予算額 24,280千円】

## 災害時コーディネーター

・平成23年度に設置した、全国初の4分野(医療・薬務・保健衛生・介護福祉)コーディネーター  
 ・医療60名、薬務47名、保健衛生38名、介護福祉62名、計207名を県内に配置  
 ・発災後、刻々と変化する状況を的確に把握し、限られた状況下でも効果的な保健・医療・福祉サービスを確保するため、人材及び資材のマネジメントを適正かつ迅速に行う

《保健・医療・福祉分野「災害時コーディネーター」体制整備事業 5,216千円》  
 ●研修・訓練の実施、活動体制の整備

## 保健福祉分野災害対応専門チーム

### DMAT (災害派遣医療チーム)

医師、看護師等で構成され、災害時に被災者の命を守るため、被災地で救急治療が行えるよう専門的な訓練を受けた医療チーム

《災害派遣医療チーム(DMAT)体制整備事業 15,159千円》  
 ●研修・訓練の実施、資機材の整備

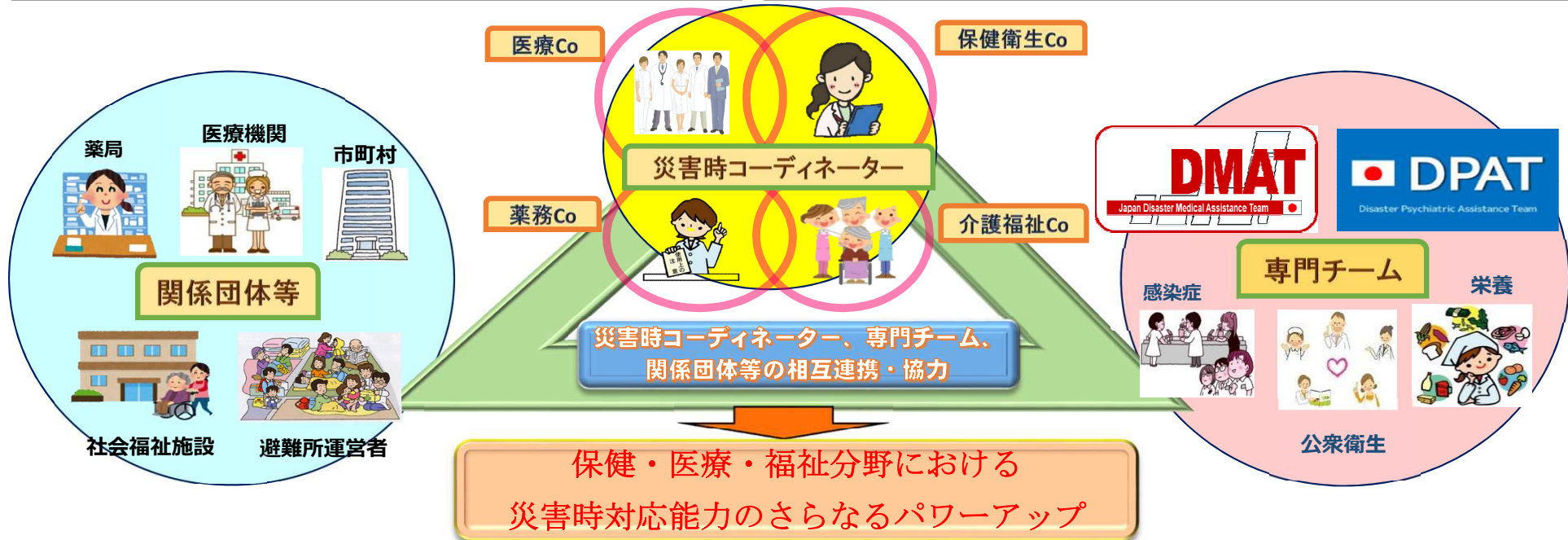
### DPAT (災害派遣精神医療チーム)

精神科医師等で構成され、専門性の高い精神科医療の提供等を行うため、専門的な研修・訓練を受けた精神医療チーム

《災害派遣精神医療チーム(DPAT)体制整備事業 3,905千円》  
 ●研修・訓練の実施、活動体制の整備

### その他のチーム

とくしま災害感染症専門チーム/災害公衆衛生支援チーム/とくしま災害栄養チーム




担当:保健福祉政策課、医療政策課、健康増進課

# 地籍調査事業

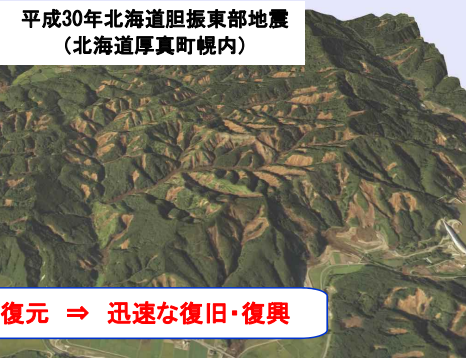
【平成31年度当初予算額 1,000,000千円】

## 大規模自然災害からの早期復旧・復興

平成30年7月豪雨  
(愛媛県宇和島市吉田町)



平成30年北海道胆振東部地震  
(北海道厚真町幌内)



地籍調査の成果を活用し境界復元 ⇒ 迅速な復旧・復興

国土地理院ホームページより

## 取組状況と成果

### 本県と全国の進捗率

	H20年度末	H29年度末	増加率
徳島県 (実施市町村数)	25.7% (12)	37.0% (18)	11.3%
全 国	48.4%	51.9%	3.5%
全国順位	30位	26位	—

### 防災・減災対策関連エリアの進捗率(平成29年度末)

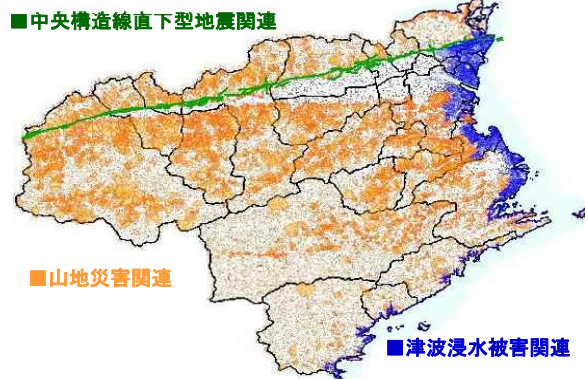
防災・減災対策関連の重点エリア	59.7%
■津波浸水被害関連地域	72.4%
■中央構造線直下型地震関連地域	57.8%
■山地災害関連地域	59.3%

### 県予算の推移



## 調査地域の重点化

### 「防災・減災対策関連の重点エリア」



### ○防災・減災対策関連の重点エリア

- ・津波浸水被害関連  
浸水深2m以上(木造建築の全壊割合が高い)の地域
- ・中央構造線直下型地震関連  
直下型地震において想定震度が高い地域
- ・山地災害関連  
土砂災害が想定される地すべり防止区域等を含む地域

### ○インフラ整備の円滑化に資する地籍調査

- ・社会資本整備総合交付金の活用
- ・公共事業における用地買収の円滑化

### 「インフラ整備の円滑化に資する地籍調査」



地籍の明確化(被災後の復旧・復興の迅速化、公共事業の円滑化) ⇒ 安全安心な地域づくり!

担当：農山漁村振興課

# 新 応急仮設住宅事前復興事業

【平成31年度当初予算額 6,000千円】

## 候補地の確保段階 H30までの取組

## 建設着手・準備段階 H31以降の取組

### 現状

- 候補地の状況
  - 必要数 73,000戸  
(南海トラフ 70,200戸)

**候補地 約12万2千戸相当**

※H29 7万戸 → H30 民地へ拡大

- 優先順位の低い候補地
  - ・津波浸水、土砂災害警戒
  - ・長期利用が課題(学校)
  - ・利便性が低い
 除外 (▲4万1千戸)

- 安全で利便性の高い候補地  
**8万1千戸**

※リスト作業完了

### 課題

- ◇ 仮設住宅の着工準備  
※一歩進んだ事前の備え
- ◇ 南海トラフ津波最大時、東部5市町で独自確保困難
- ◇ タスクフォースの意見  
**利便性を考慮**



原則、**市町村内で建設したい**

**津波浸水した土地や、土砂災害警戒区域にも建設したい**

### 対応

#### ◆ 事前復興の推進

- 管理者との調整(官地)
- より実効性があるリスト作成(民地)

#### 民地調査

- 県 : 登記簿等調査
- 市町村 : 連絡先等調査

#### ○ 配置計画の作成

#### ◆ 候補地の調整と改善

- 地域間連携の促進
- 津波浸水した土地の利用方法の技術的検討
- 土砂災害警戒区域候補地の利用に関する検討

**事前復興の加速**

配置計画により  
快適な住環境へ



**大規模災害の発災に備え、直ちに供給できる  
「仮設住宅の供給可能戸数2.3万戸」以上の用地を準備!**

**応急仮設住宅用地確保により被災者の速やかな生活環境の保全を図る**

担当: 用地対策課

# 地域防災を担う人材の育成と防災教育の充実

【平成31年度当初予算額 8,950千円】

## 「南海トラフ巨大地震」等を迎え撃つ、学校防災力の向上と地域防災の担い手の育成

- 発達段階に応じた実践的な**防災教育の推進**
- 「**防災クラブ**」（高等学校／中学校）の拡大と活動の充実
- 「**中高校生防災士**」の育成、将来の地域の防災リーダーへ
- 「**教員防災士**」を養成、学校防災力の向上

### 全国初！徳島学校防災モデル 「防災クラブ」「中高校生防災士」

□ 「防災クラブ」設置数(平成30年度)

● 高等学校 **35校** / 35校中

● 中学校 **38校** / 82校中

□ 「中高校生防災士」

**累計 514名**(平成30年12月現在)

□ 「教員防災士」(県立学校)

**累計 49名**(平成30年度)

### 新 チャレンジ防災人材育成推進事業【4,950千円】

□ 学校防災人材育成講座(中学生・高校生／教員)

- 「中高校生防災士」の育成を支援
- 「教員防災士」を養成・各県立学校に配置



防災士養成講座

### ふるさと大好き！地域防災推進事業【4,000千円】

□ 「防災クラブ」(中高校生)

- 高等学校・中学校に設置を広げ、**地域と連携**した防災活動等の取組を支援
- 地域に根ざした防災ボランティア活動を通して、防災の担い手としての実践力の向上を図るとともに、**地域の防災リーダー**へ



災害図上訓練

### 防災クラブの活動の様子



幼高合同避難訓練



避難路清掃ボランティア



地域防災訓練



ガラス飛散防止フィルム貼り

担当：体育学校安全課

# 新 発達障がい「つながる・ひろがる・はばたく」充実事業

【平成31年度当初予算額 7,800千円】

これまでの取組

自律型学習教材による「**学習支援**」




e-ラーニングを活用した「**教員の専門性向上**」



「**ポジティブな行動支援**」をモデル小学校で実践



発達障がい教育「**徳島モデル**」を構築



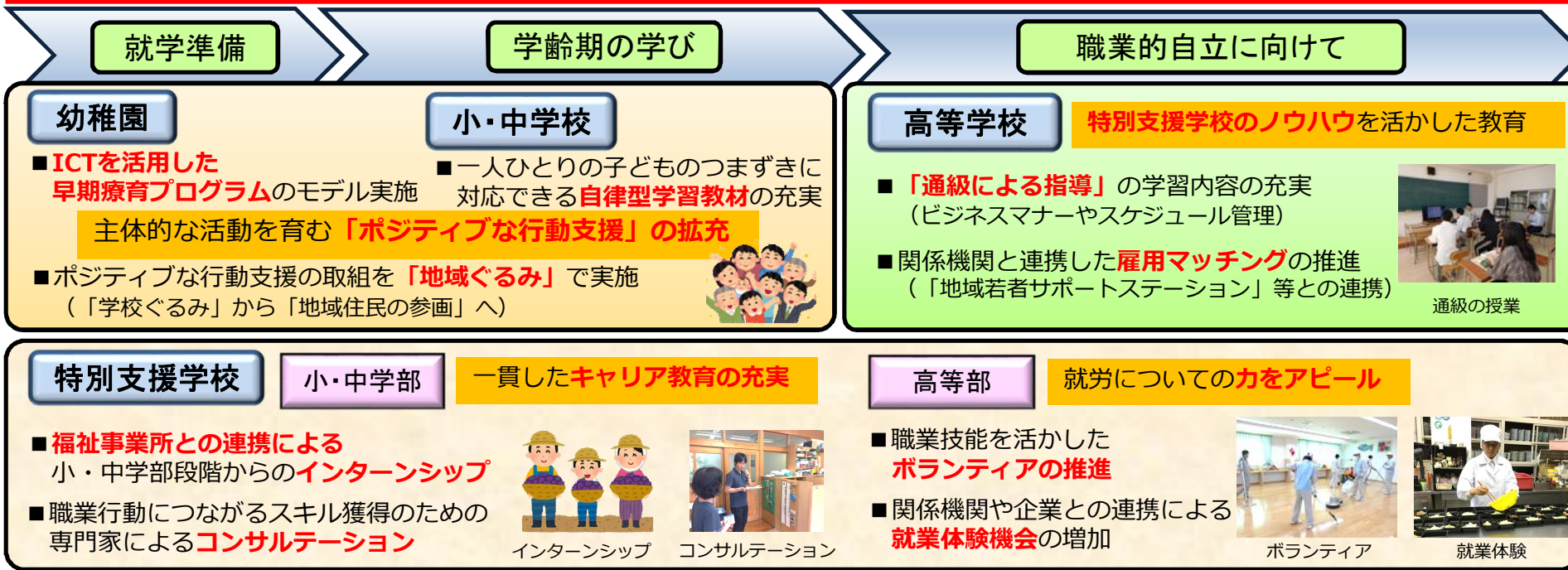
取組の成果を「特別支援まなびの広場」としてホームページに公開中

ポジティブ行動支援で児童の社会性と主体性が向上!

発達障がい教育・自立促進アドバイザーチームとの協働  
ポジティブな行動支援実践校が10校に拡充!

## “発達障がい教育先進県”として、さらなる充実・進化!

## 特別な支援を必要とする子どもへの切れ目ない支援体制を整備



## 発達障がいのある子どもたちの社会的・職業的自立の推進

担当：特別支援教育課

# 障がいのある方の魅力ある就労継続への支援

【平成31年度当初予算額 35,000千円】

## これまでの取組み

- 共同窓口設置による授産製品の県内外への販路拡大
- 藍染製品やスイーツなど授産製品のブランド化
- 「藍」や「竹糖」をはじめとした徳島ならではの農福連携の推進

平均工賃  
全国2位



## 就労支援施設の課題と不安

- 授産製品の品質・作業技術の向上
- 障がい者の更なる意欲の向上
- 農作物の安定的な生産・販売



障がいのある方の  
特性を活かした  
取組みを支援し  
自立と社会参加の促進へ！



障がいのある方が魅力を感じ意欲を持って取り組める就労を目指して

## 障がい者いきいき活躍就労促進事業

### 就労支援施設のボトムアップ

#### 授産製品の販売力強化

- 授産製品ブランド力・技術力向上支援
  - ・「藍染め」・「県産品を使ったスイーツ」を中心に  
ブランド力強化、エシカル消費を踏まえたイメージ戦略
  - ・各事業所のレベルに加え、パン製造や印刷、クリーニング、  
清掃作業等の作業種別に細分化し、専門家による研修会や個別指導
  - ・大都市圏や県内でのイベント参加をはじめ、ハイクオリティマーケット  
における継続的な販売や、県内外での販売会への出展



#### 就労意欲の向上

- 障がい者のさらなる就労意欲・作業技術の向上
  - ・優れた技術・技能を有する方を障がい者マイスターとして認定

#### 見守り支援の充実

- ほっとかない事業 スタートアップ支援
  - ・事業収益で補うことが困難な初期投資(車両・備品等)支援



## 農福連携による障がい者の就農促進事業

### 生産から販売までの一体的な支援の強化

#### 支援体制の強化



#### 生産力強化

- ・「農業の専門家」の派遣による  
施設の農業技術の向上
- ・「農福連携推進検討会」による  
農作業と施設とのマッチング等

#### 認知度向上

- ・「農福マルシェ」の開催による  
農作物や6次化商品の認知度向上



さらに！教育機関と連携

- 特別支援学校小・中学部が施設でインターンシップを実施  
きめ細やかな支援による障がい者の働きたい想いに応える就労の場を充実！  
【特別支援教育課予算】



一体的な取組みによる障がい者の活躍の場の創出・拡大

## 障がいのある方の「自立と社会参加」の実現へ

担当：障がい福祉課



# アクティブ・シニア生涯活躍促進事業 「ゆかりの徳島」 回帰推進事業

【平成31年度当初予算額 30,600千円】

## 背景

- 2025年、団塊の世代が75歳以上に…  
→ 県内では1,409人の介護人材が不足(見込)
- 徳島県版「介護助手」制度を創設・展開(H29～)

介護現場への  
「シニア参入の加速化」が必要

連携

- ・県社会福祉協議会
- ・老人クラブ連合会
- ・介護施設・事業所 など
- ・シルバー大学校
- ・シルバー人材センター

## 新「介護に関する入門的研修」の実施

多様な人材を養成 ⇒ 介護人材の裾野拡大！

- (対象) 介護未経験者 (中高年齢者や学生など)  
(内容) ・介護に関する基本的な知識を身につける  
・介護の業務に携わる上での基本的な技術を学ぶ

2段階で構成(各段階で修了証交付)

基礎講座(3h)  
(介護の基礎知識)

入門講座(18h)  
(仕事の理解・安全性確保等)

介護現場へ！

ステップアップ可能

- ・研修からマッチングまでを「一体的に支援」!  
(福祉人材センターや介護事業者等と連携)
- ・既介護助手の資質向上！(学び直LOK)

「シルバー大学校」との連携

資格取得講座化！

「基礎講座(3h)」は、シルバー大学校全9校の「教養講座」でも実施！

介護分野でのリカレント(学び・就労の循環)の確立へ

## 徳島県版「介護助手」制度の本格普及

### 県版「介護助手」制度

- ・業務の切り分け(シニア向け)
- ・介護助手受入(介護施設)



H29 38人(参加申込み 62人)  
H30 56人(参加申込み 116人)

人材確保に効果あり！

シニアの「活躍の場」の充実へ！

県版「介護助手」制度の普及・定着へ！

- ・介護助手「新規雇用 年間60名」以上へ
- ③施設向け「専門アドバイザー派遣」による制度導入・定着支援  
※「就労マッチング支援」や「OJT研修(3か月)経費の助成」等を実施

介護現場の「働き方改革」を促進

「介護ロボット」の更なる普及促進！

- ・介護ロボット導入支援 (介護助手と組み合わせ、現場の更なる負担軽減が可能)
- ③介護ロボット見本市の開催(ビジネスチャレンジメッセ)

## 「生涯活躍のまち」の推進

- ・戦略会議の開催(H27～)
- ・市町村の生涯活躍のまちづくりを支援
- ・三好市・美馬市で事業が具体化(地域交流拠点の整備など)

③市町村の取組を支援する  
アドバイザーの養成・派遣で更なる普及促進！

「生涯活躍」社会の実現！～シニアが「地域を支える主役」に～

担当：長寿いきがい課

# 特別支援学校「みんなが主役」きらめき事業

【平成31年度当初予算額 10,000千円】

## ＜文化・スポーツで才能開花＞

音楽・美術や障がい者スポーツをとおして、児童生徒の「秘められた力」を発現



### 文化で主役！

「専門家・企業との  
コラボレーション」

- ◆音楽・美術の専門家を迎え、体験的な音楽学習や3Dアート制作
- ◆企業等と連携した作品展の開催

企業等と連携し、  
芸術的才能を開花！



## ＜地域社会で実力発揮＞

職業スキルを生かして、特別支援学校の生徒が「地域の元気力アップ」に貢献



### 仕事で主役！

「ゆめチャレンジ・フェスティバル」

- ◆生徒が運営に参画し、働きたい想いと職業スキルを披露
- ◆企業との個別懇談を体験

生徒の力をアピールし、  
企業とのマッチングを強化！



### スポーツで主役！

「ボッチャにチャレンジ！」

- ◆全ての特別支援学校でボッチャを実践
- ◆マラソンをはじめ、地域でのスポーツ活動への参加を促進

地域の大会参加で  
スポーツの楽しさを共有！



### 地域で主役！

「四国霊場札所でお接待」

- ◆お接待の実施校を増加
- ◆特別支援学校間で連携し、リサイクル作品の配布や展示

特別支援学校ならではの  
エシカル消費をアピール！



児童生徒一人ひとりが「主役」となり、地域に貢献する、地域を元気にする特別支援教育を推進

担当：特別支援教育課



### 浸透・定着

**安全で安心なまちづくりを実感！**  
全県的な相談体制の充実を基礎として

- 消費生活の安心を守る取組みを着実に実施
- 食の安全安心の確保

### 全国展開

**消費者行政といえば徳島！**  
「徳島モデル」を全国に拡大

- 徳島からの情報発信
- 四国・中国・関西等と連携

全国・世界へ！

## 新 消費生活センター「戦略拠点機能」強化事業【153,500千円】

- 消費者被害を防ぐ！消費者相談・全県域ネットワークの充実
  - 県センターを核にセンター間の連携
  - 県消費生活相談員の体制強化→市町村からの相談対応力向上
  - 消費者法務専門員(県非常勤弁護士)との連携体制構築

- 「消費者市民社会の構築に関する条例」の展開
  - 「エシカル消費」をテーマとする消費者まつり開催
  - 県消費者大学校の受講内容にSDGsを新たに追加



## 新 「拳県一致」消費生活安心プロジェクト【52,800千円】

- 新次元の消費者教育
  - 成年年齢引下げに対応したハンドブック等の作成
  - 子どもにも分かりやすい動画等による事故防止啓発資料の作成
- 全国をリードする事業者向け消費者行政の推進
  - 消費者志向経営宣言県内企業の優良事例集の作成
  - 公益通報者保護制度推進員による公益通報窓口設置の推進
- 誰もが安全安心を実感できる社会の構築
  - 見守りネットワークの活動を促進する見守りコーディネーター創設
  - 適格消費者団体設置の機運醸成を図るシンポジウムの開催
  - 外国人向け消費者被害・相談窓口の整備



## 新 エシカル消費パワープロモーション事業【5,000千円】

- 「消費者市民社会推進期間」に集中的に広報
  - タウン誌や市町村広報に一斉に記事を掲載
  - 関連イベントやSNS、動画等での積極的な情報発信



## 新 食の安全安心消費者教育プロジェクト全国展開事業【5,200千円】

- 栄養成分表示の活用に向けた世代別消費者教育の実施
  - ライフステージに応じた教材、指導要領の作成・活用
  - 徳島県栄養士会と連携したセミナーの開催



## 新 新次元の消費者行政・消費者教育実装促進事業【41,500千円】

- 徳島で「消費者政策国際会合」開催
  - プロジェクトの成果を世界に発信
  - 徳島の文化や魅力をPR
- 徳島開催の全国大会との連携
  - エシカル甲子園との連携
  - 食品ロス削減全国大会との連携
- プロジェクト取組成果を全国展開
  - 新オフィス設置2周年記念シンポジウム開催
  - 視察受入、出前での説明会の実施など

### 徳島から全国へ、そして世界へ！

### 消費者行政・消費者教育の進化と地方創生の実現！

浸透・定着

全国展開

# 新 18歳！新成人への学びプログラム事業

【平成31年度当初予算額11,700千円】

## 《 現状 》

- 18歳！
- 選挙権年齢
- 成年年齢引下げへ

## 《 課題 》

- 若者の積極的な社会参画意識の高揚
- 持続可能な社会づくりに挑む若者の育成

## 《 取組 》

- 社会を「自分事」として捉えることのできる**主権者教育**の充実
- 「**エシカル甲子園**（仮称）」により若者の実践を発信

### 新 YONONAKA「自分事」プロジェクト

主権者意識を高める  
教育の充実のための  
出前講座

高校生  
リーダー交流集会  
「サマーセミナー」



大学教員による出前講座や  
選挙管理委員会の協力に  
よる模擬投票



生徒会役員などのリーダーが学校  
や地域の課題をディスカッションし、  
行政に提案

### 新 「エシカル甲子園（仮称）」プロジェクト

全国初!!

「エシカル甲子園（仮称）」  
最終審査会を徳島県で開催



一次審査で全国各地の代表を決定！  
持続可能な社会づくりに挑戦する高校生  
が徳島に集う！



プレゼンテーション等で  
取組や今後の展望等を  
幅広い世代へ発信

成人として自立し協働できる若者の育成

担当：学校教育課

# 徳島から発信!! 全国モデルの消費者教育

【平成31年度当初予算額 12,500千円】

課題

- 成年年齢引下げに伴う若年者の消費者トラブル懸念
- 「エシカル消費」への関心に課題
- 共生社会の実現に向けた消費者教育の拡充

取組

- 多様化・複雑化する課題に対応する先駆的消費者教育の実施
- 人や社会に配慮した「エシカル消費」の普及・啓発
- 一人一人の発達段階・障がいの特性に応じた消費者教育の実施

## 新次元の消費者教育推進事業 [10,000千円]

### 「TOKUSHIMA消費者教育」ステップアップ事業

#### 研究校による先駆的実践

- ・幼稚園から高校までの系統的な取組
- ・地域とのつながり重視



体験的に学ぶ!!

#### 指導者の育成

- ・中核教員育成
- ・消費者庁や大学と連携
- ・3年間で全校種実施

実践的研修

#### 講演・出前授業

- ・多様化・複雑化する課題に対応
- ・とくしま「消費者教育人材バンク」活用

プロから学ぶ!!

多様化・複雑化する課題に対応できる「賢い消費者」の育成

### 「Go!Go!エシカル」わくわく徳島プロジェクト

#### リーディングスクール



「エシカル消費」を牽引!!



#### エシカルクラブ



学校の強みを発揮!!

取組を普及・啓発

#### エシカルフェス



クラブの取組を共有・発信!!

リーダーの育成

「持続可能な社会」の実現に向けた消費者力の育成



## 特別支援学校「エシカルチャレンジ」事業 [2,500千円]

### 特別支援学校 エコステーション化

- ・エコボランティア活動の推進
- ・学校を拠点に資材を有効活用



リサイクル資材の回収

### チャレンジ!! 新たな能力開発

- ・地域や企業との連携による商品開発



和菓子や竹和紙の製作

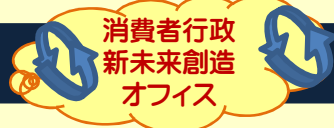
### エシカル消費を地域へ発信!

- ・作品提供を通じた地域交流の促進
- ・啓発作品展開催



作品でのお接待

発達段階・障がいの特性に応じた「自立した消費者」の育成



## 全国をリードする「徳島ならではの」消費者教育の実現



担当：学校教育課、特別支援教育課

# 新 地域力×女性力「エシカル消費」推進事業

【平成31年度当初予算額 1,500千円】

**背景**

- エシカル消費の地域社会におけるさらなる定着の必要性
- 人口減少・少子高齢化等による社会教育力の低下
- 女性・アクティブシニアの潜在力の存在

**施策**

地域において広いネットワークを持ち、消費生活の中心である女性の力を活用し、学校とも連携しながら、地域社会へのエシカル消費の普及啓発を行う

## 「地域力×女性力」活用

地域の女性  
団体と連携

### 学 ぶ

#### エシカルノートの作成・配布

- ・地域で活躍する女性の知恵を活かした普及啓発冊子の作成・配布



#### エシカルパートナー養成

- ・地域ネットワークを活用したエシカル消費の普及啓発リーダー養成



#### 啓発講習会・講演会

- ・「エシカルパートナー」による地域密着型講習会開催
- ・エシカル消費普及講演会開催



### 体験・実践する

#### ワークショップ

- ・エシカルファッション（着物リメイク、藍染等）
- ・「エシカルノート」の活用



#### 料理講習会

- ・地産地消
- ・ジビエ料理
- ・食品ロス
- ・ゼロ料理



大学、高校エシカルクラブと連携した活動

持続可能な社会の実現につながる、地域における「エシカル消費」の定着

# 新 食品表示適正化スピードアップ事業

【平成31年度当初予算額 13,820千円】

## 現状と課題

### ◆健康食品に関する虚偽・誇大広告

・疾病の治癒や痩身効果などの事実と相違する表示が氾濫



### ◆広域・複雑化する産地疑義事案

・製造、流通過程に複数自治体の事業者が関与



### ◆新たな食品表示の完全義務化へカウントダウン

#### ・栄養成分表示

2020年  
4月1日～

※任意から義務へ  
※「ナトリウム」は「食塩相当量」で表示 など

栄養成分表示 食品単位当たり	
熱量	▲ kcal
たんぱく質	▲ g
脂質	▲ g
炭水化物	▲ g
食塩相当量	▲ g

対応済15%

未対応85%

県産品の栄養成分表示状況  
(H30.2 安全衛生課調べ)

#### ・原料原産地表示

2022年  
4月1日～

※漬物など一部の加工食品から全ての加工食品に拡大  
※重量第1位の原料の原産地を表示

名称 ..  
原材料名 ○○(国産、  
アメリカ産)

## 監視指導体制の強化

## 事業内容

### ◆食品表示監視ネットワークの強化

・モバイル端末を活用した食品情報システムによる  
関係者間の情報共有・処理の迅速化



・「食品表示Gメン」による監視強化 (県民局、東京、大阪、名古屋)

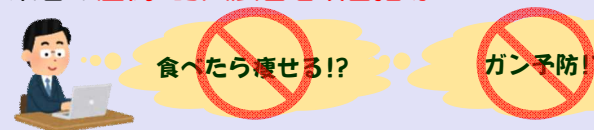
・「食品表示適正化推進員」の活動支援 (研修会等)

・「食品表示ウォッチャー」の幅広い世代への拡充



### ◆健康食品インターネット広告の監視

・県内事業者の虚偽・誇大広告を改善指導



### ◆科学的産地等判別分析の強化

・県外流通品の買上による産地偽装抑止力の向上



### ◆食の安全安心ポータルサイトの充実

・AI活用双方向型FAQシステムによる  
検索の簡略化





## 食品表示適正化・消費者の信頼性向上

担当：安全衛生課





# 新 「新未来の消費者行政・実装フィールドへ！」 本社機能移転促進事業

【平成31年度当初予算額 4,000千円】

## 「これまでの取組み（H29～H30）」

<p>「<b>新たな人の流れ</b>」の創出 「<b>絶好のチャンス</b>」到来！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ H29.7.24 「消費者行政新未来創造オフィス」開設</li> <li>○ 2019夏頃 「消費者庁等」の移転の方向性を明示</li> <li>○ 2019.9月上旬 G20関連「消費者政策国際会合」徳島開催！</li> </ul>	<p>○ H29年度 「<b>新次元の消費者行政</b>」体感ツアー</p> <p>○ H30年度 「<b>一步先の未来・実感</b>」お試しワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「消費者行政・消費者教育」の取組みや「テレワークの実践」など、本県の強みを「体感・実感」し、徳島への理解促進！</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「消費者志向経営」推進企業等が加盟する「(公社)消費者関連専門家会議(ACAP)」との関係性構築</li> <li>・ <b>ACAP会員企業を中心に、延べ36社・83名が参加</b></li> <li>・ 首都圏企業と地元企業の「エシカル商品」共同開発</li> </ul> <p>首都圏企業による地元企業への視察訪問・情報交換など、「企業活動」や「企業間交流」の活性化</p>  <p>ACAPでの知事講演</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

こうした流れを「本社機能移転」に繋げるため、ACAPや首都圏企業との更なるネットワークを強化・拡大！

<h3>“ACAP” との連携強化</h3> <p>▶ 「<b>地元企業との共同研究会</b>」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「消費者志向経営」に先進的に取り組むACAP会員企業と「地元企業との共同研究会」の開催を通じ「消費者志向経営活動」を活性化</li> <li>○ 「共同研究会」等に参加した県外企業の本社機能移転を促進するため、「お試しサテライト勤務」を実施</li> </ul>  <p>県庁10階「県庁版ワークスペース」を活用！</p>	<h3>企業間ネットワーク拡大</h3> <p>▶ 「<b>実装フィールド・ワーク</b>」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 消費者庁と県が実施する「新未来創造プロジェクト」に関する「フィールド・ワーク」を開催</li> <li>「消費者志向経営」に取り組む県内外企業、行政機関、教育機関、団体の連携実施により「交流活性化」や「ネットワーク拡大」へ</li> </ul>  <p>若年者向け消費者教育      子どもの事故防止</p>	<h3>映像コンテンツによる情報発信強化</h3> <p>▶ 「<b>ヴァーチャル・体感ツアー</b>」の配信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県内の「消費者志向自主宣言」企業の先進的な活動等の紹介映像を製作</li> <li>「新未来の消費者行政・消費者教育『徳島モデル』」の紹介映像と併せ、一体的に配信し、「本社機能移転」に向けた機運を醸成</li> </ul>  <p>地産地消の取組</p>  <p>働き方改革の取組</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

企業の「本社機能徳島移転」！

「新たな人の流れ」の創出！

「地方創生」の実現！

担当：地方創生推進課



# 在宅医療推進事業

## 目指す方向

- 多職種連携による患者やその家族に寄り添った在宅医療の提供
- 在宅医療に携わる人材の育成及び在宅医療提供体制の強化

【平成31年度当初予算額 147,427千円】

在宅で安心して  
医療を受けられる体制へ！

## 課題

### 1. 在宅医療・介護連携の推進

- 在宅医療に携わる多職種の連携推進
- 在宅へ移行する患者・家族の不安解消

### 2. 在宅医療をチームで支える人材の育成

- 在宅医療チームのリーダーの育成
- 在宅医療の幅広い知識を持つ人材の育成

### 3. 質の高い在宅医療提供体制の整備

- 24時間訪問看護サービス提供体制の確保
- 在宅復帰を支援する体制の強化

## 平成31年度の実施内容

### 在宅医療・介護連携体制構築事業

【17,761千円】

- ICT地域医療・介護連携推進事業
  - ・在宅療養者を支える医療職や介護職の連携を目的としたバイタルリンクの運用を支援
- 在宅医療・介護連携サポート事業
  - ・在宅療養者の急変時に24時間受け入れ可能な後方支援病院ネットワークの構築を支援



### 在宅医療人材育成事業

【27,350千円】

- 在宅医療支援のためのかかりつけ医研修事業
  - ・地域を支える診療所等において、包括的かつ柔軟に対応できる「かかりつけ医」を育成



### 在宅医療提供体制整備事業

【102,316千円】

- 訪問看護体制支援事業
  - ・訪問看護支援センターを中心に、24時間365日訪問看護が提供できる体制の構築を支援
- 新 リハビリ専門職配置支援事業
  - ・在宅復帰を支援するためリハビリ専門職を配置

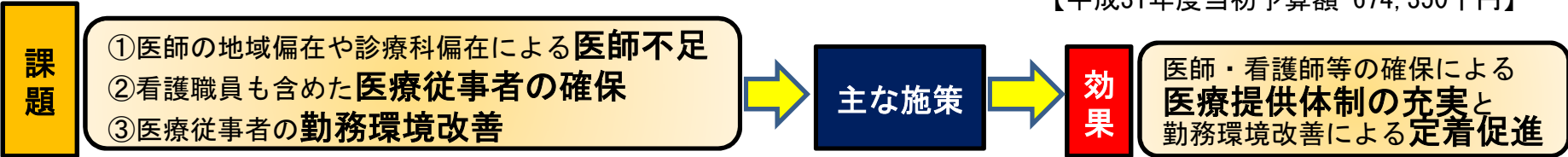


住み慣れた地域で在宅医療を受ける患者・家族のQOLを向上！

担当：医療政策課

# 医療従事者養成確保事業・医療提供体制確保総合対策事業

【平成31年度当初予算額 674,350千円】



### (1) 医療提供体制確保総合対策事業 325,500千円

徳島大学寄附講座設置事業 325,500千円

徳島県 → 寄附講座 (H22~) → 徳島大学

7つの「寄附講座」

- 総合診療医学分野
- 地域産婦人科診療部
- ER・災害医療診療部
- 地域外科診療部
- 地域脳神経外科診療部
- 麻酔科診療部
- 地域小児科診療部

県立3病院等を中核フィールドとして、診療・研究・教育活動を実施

### (3) 若手医師・女性医師等養成確保事業 10,992千円

地域医療従事医師研修支援事業 6,000千円

若手医師の県内でのキャリア形成を支援するため、研修費用を補助

### (2) 地域医療従事者等養成確保事業 79,812千円

医療勤務環境改善支援センター事業 10,000千円

**新** 医師事務作業補助者配置支援事業 55,000千円

医療提供体制構築推進事業（海部・那賀モデル） 1,000千円

働き方改革の推進

医療従事者の相互交流  
総合診療医の育成等

### (4) 歯科医療従事者養成確保事業 6,917千円

復職支援セミナー開催や登録システム構築により再就職環境を整備

### (6) 地域医療総合対策協議費 4,524千円

医師の養成・確保や医療機関の機能分担等について、検討・協議


### (7) 医療従事者勤務環境改善事業 58,535千円

産科・新生児医療担当医の確保に対する医療機関への支援等

### (5) 看護職員養成確保事業 188,070千円

へき地看護職員確保・定着推進事業 25,047千円

へき地における看護人材不足への対策や、訪問看護提供体制の強化に向けた多機関連携を支援



担当：医療政策課

# 小児救急医療総合対策事業

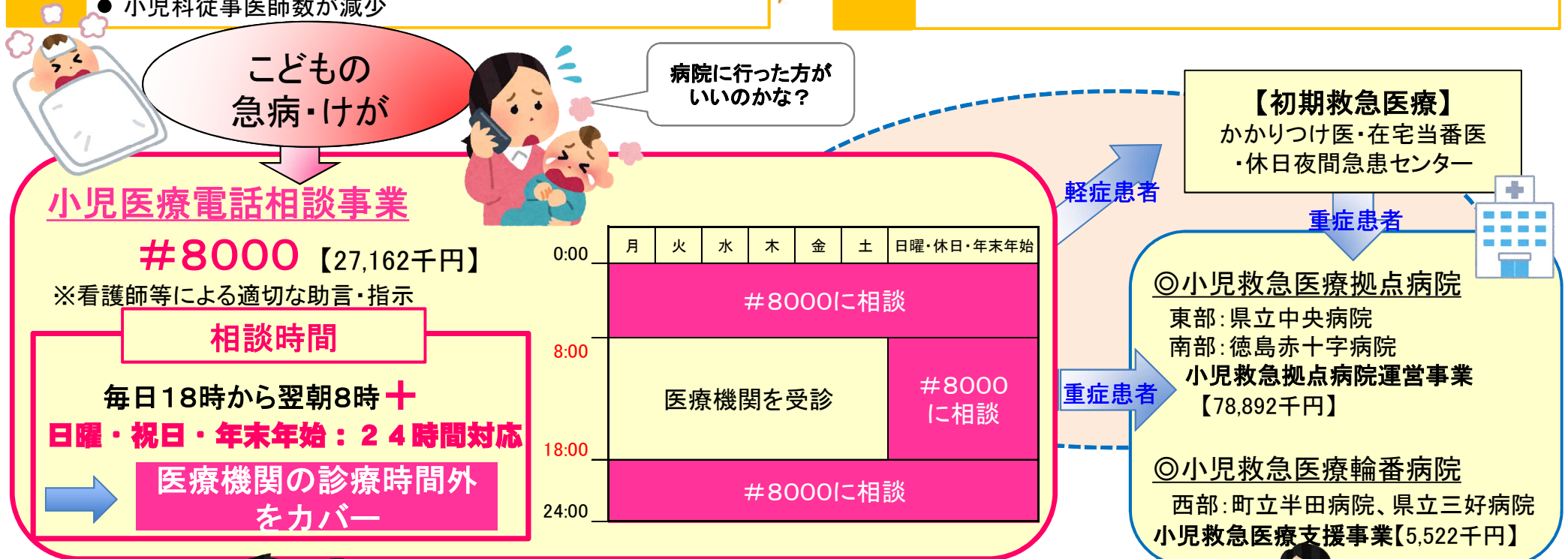
【平成31年度当初予算額 111,576千円】

## 現状

- 小児救急患者は、平日の夕刻から準夜帯、土日など時間外に受診が多い
- 小児救急医療拠点病院において、軽症患者が多数受診
- 小児救急電話相談事業（#8000）への相談件数は年々増加（H29実績：9,990件 うち緊急性の低い相談8,349件）
- 小児科従事医師数が減少

## 課題

- 不要不急の小児救急受診の抑制
- 小児救急医療拠点病院における入院を必要とする中等症及び重症の小児救急患者の医療を確保
- 医療機関の診療時間外における相談体制の確保
- 小児医療に従事する人材の養成・確保



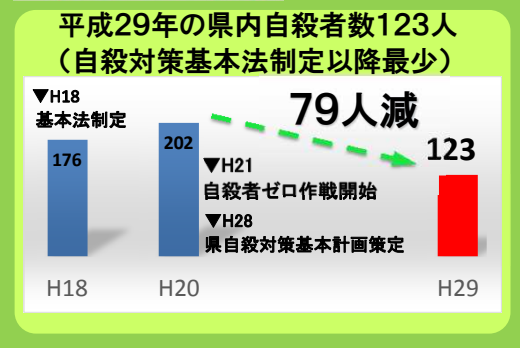
子育て家庭の不安解消  
不要不急の受診抑制→重症小児救急患者の医療の確保

安心して子育てができる環境整備

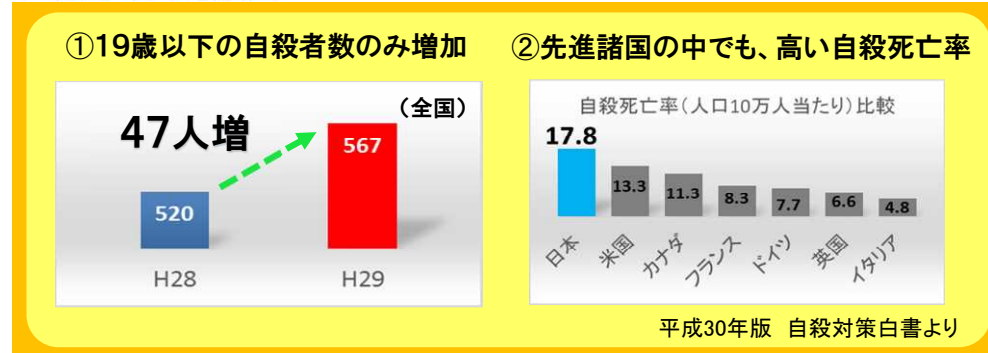
担当：医療政策課

# 「自殺者ゼロ」を目指す取組みの推進

## これまでの成果



## これからの課題



【平成31年度当初予算額41,971千円】

### 【基本目標】

一人でも多くの自殺を防ぎ、  
県内の「自殺者ゼロ」を目指す



徳島県自殺予防  
イメージキャラクター  
『ココロつながる♡すだちくん』

### 【主な取組み】

## ①若年層の自殺対策

## ②地域レベルの実践的な取組の更なる推進

### 若年層対策

#### 新「生きることの悩み・経験」共有事業

- ・大学生等のアンケートを活用し、不安や悩みを共有化することで、「自分だけじゃない」という安心感につなげる

若手職員タスクフォース提案事業

#### ■「阿波っ子の心の健康づくり巡回指導」

- ・児童生徒を対象に、精神科医等の専門家を派遣し、精神疾患に関する知識等の習得を促進

SOSを出しやすい環境づくり

#### ■妊産婦等に対する自殺予防カードの配布

- ・乳児院等との交流がある、みなと高等学園生がデザイン考案



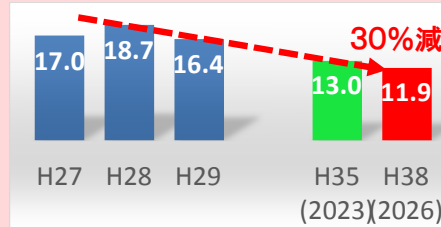
自殺予防カード

ハナミズキゾーンの連携

### 徳島県自殺対策基本計画

#### (第2期) 数値目標

H35(2023)年までの間  
自殺死亡率を13.0以下



H38(2026)年までにH27年比で  
自殺死亡率30%減を目指す。

### 高齢者対策

- ・「生きがい」や「交流の場」の創出等を通じ、高齢者の閉じこもりや孤立等を予防

### ハイリスク者対策

- ・うつ患者や自殺未遂者等、ハイリスク者に対し、必要な支援を実施

### 県民総ぐるみによる取組み

県民と協力・連携

#### ■地域レベルの実践的な取組を更に加速

- ・学生ボランティアや協定締結団体との協働による啓発活動の実施
- ・市町村、関係団体等の職員等支える側のスキルアップ



学生ボランティア等との街頭啓発

## 誰も自殺に追い込まれることのない「暮らしやすい徳島」の実現

# 病床機能分化・連携推進事業

【平成31年度当初予算額 129,710千円】

団塊の世代が75歳以上の  
後期高齢者に！

## 課題

2025年に向け、病床機能の  
分化・連携体制の強化が必要

## 対応

地域医療構想の実現  
医療提供体制の整備

## 成果

行き場のない患者を生み出さず、  
全ての患者の状態に適応した  
医療・介護サービスを提供

地域医療構想実現化  
活動支援事業  
29,710千円

退院支援担当者配置等支援事業

入院患者の円滑な退院を支援することで、  
切れ目のない在宅復帰を推進

病床機能分化・連携  
推進体制整備事業  
100,000千円

地域医療構想実現への取組を加速！

病床機能の分化・連携に向けた  
取組を推進！

新 地域医療構想実現に向けた  
活動支援事業

慢性期機能における医療介護  
連携推進のための研修事業

病床機能分化・連携促進基盤整備事業

「地域医療構想アドバイザー」の活動など  
地域医療構想の達成に向けての取組を推進

医療介護の連携による  
質の高い慢性期医療の提供に向けて、  
多職種の人材を育成

回復期など、地域で不足する病床機能への  
転換等を伴う施設・設備の整備を支援



高度急性期

急性期

回復期

慢性期



担当: 医療政策課

# 地方独立行政法人 徳島県鳴門病院運営事業

【平成31年度当初予算額 1,354,568千円】

## 地方独立行政法人徳島県鳴門病院運営費

平成31年度当初予算額 909,568千円

### 事業概要

- ・ 運営資金に対する貸付 800,000千円
- ・ 共済組合費負担金 108,717千円
- ・ その他経費(評価委員会経費) 415千円
- ・ 長期貸付に係る運営負担金(償還利息1/2) 436千円

県北部・香川東部・南淡路の中核的病院として政策医療を充実

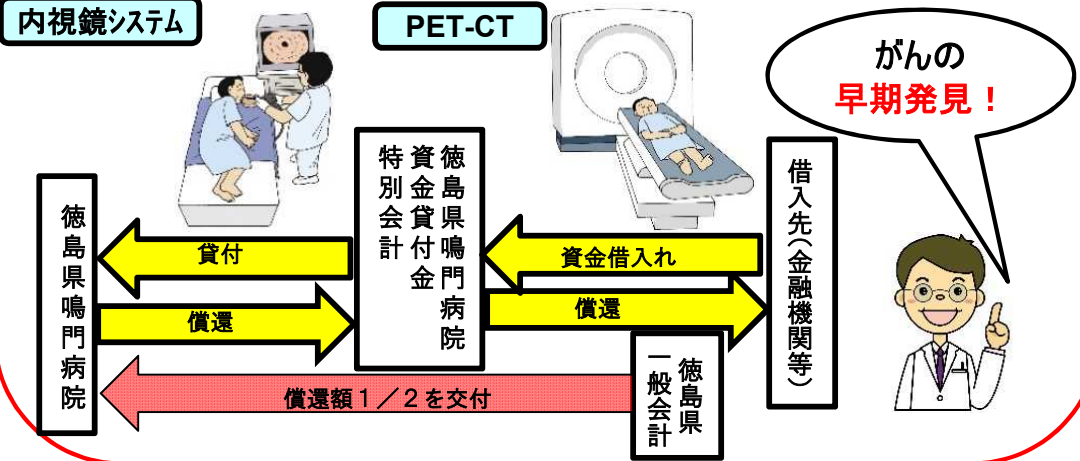


## 地方独立行政法人徳島県鳴門病院資金貸付金

平成31年度当初予算額 445,000千円

### 事業概要

- ・ PET-CT 269,000千円
- ・ 一般診断用装置2台(レントゲン装置) 91,000千円
- ・ 内視鏡システム 35,000千円
- ・ 注射薬自動払出システム 50,000千円



## 医療提供体制の強化

### 救急医療の強化

救急告示病院 (365日24時間救急患者受け入れを実施)

### 地域の医療機関との連携強化

地域の医療機関との連携を一層強化

### 災害医療体制の充実

災害拠点病院 (DMAT 2チーム)



### がん医療の充実

検査機能及び手術・化学療法・放射線治療による集学的治療の充実

### 医師の養成

基幹型の臨床研修プログラムによる初期臨床研修を実施

### 看護専門学校の充実

看護師の養成・確保を促進(看護師国家試験合格率6年連続100%)



地域の医療水準の更なる向上を図り、本県医療提供体制を一層強化 担当:医療政策課

# 「とくしま」から広げよう！「難病支援の輪」推進事業

【平成31年度当初予算額 21,900千円】

従来からの取り組み

S47年  
「難病対策要綱」の制定  
研究事業として  
難病対策がスタート

課題

- ・ 研究対象外の疾病の増
- ・ 自治体の医療費超過負担の増

## H27.1.1 難病法施行

「全国知事会」より提言  
→ 法制化へ！

研究事業から治療を目的とする  
**新たな医療費助成制度への転換！**  
◆国費財源の安定化により自治体の  
医療費超過負担解消！  
→**県独自の事業展開が可能に！**



難病相談支援センターの設置（4つの相談機能）

総合調整型相談  
（県健康増進課）

専門医療特化型相談  
（徳島大学病院・徳島病院）

地域密着型相談  
（県内6保健所）

相互支援型相談  
（とくしま難病支援ネットワーク）

## 2019年の取り組み

## 診断困難な症例に対する早期診断体制の確保！

### 早期診断体制の確保

- ・ 診断困難な症例を、  
難病診療連携拠点病院から  
難病医療支援ネットワーク  
に照会

早期診断の促進



受診

かかりつけ医

難病診療連携拠点病院  
（徳島大学病院）

紹介  
逆紹介

連携  
強化

紹介  
逆紹介

紹介  
逆紹介

難病診療分野別  
拠点病院（徳島病院）

照会  
指導・助言

### 難病医療支援ネットワーク

- ・ 国が新たに開設
- ・ 診断困難な症例の照会に対し、  
指導・助言を行う。

国立高度専門医療研究センター  
国立がん研究センターなど6法人

IRUD拠点病院  
全国37か所にある希少・未診断  
疾患診断の拠点となる病院

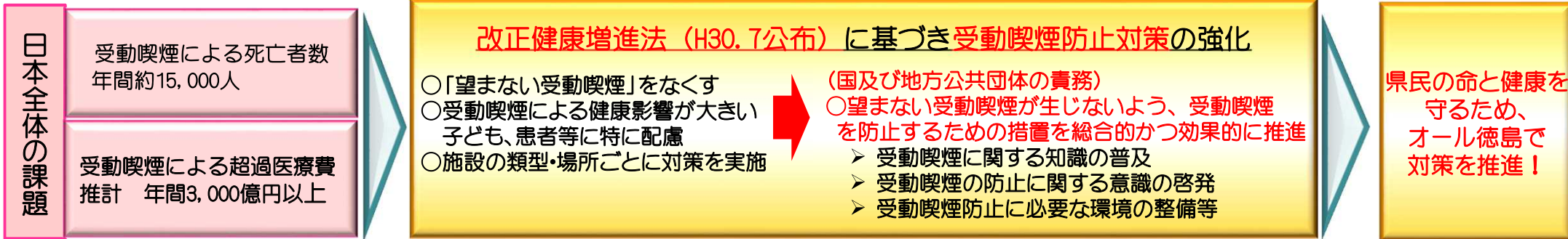
難病研究班  
各分野の学会

**難病患者が地域で安心して暮らせる社会の実現！**

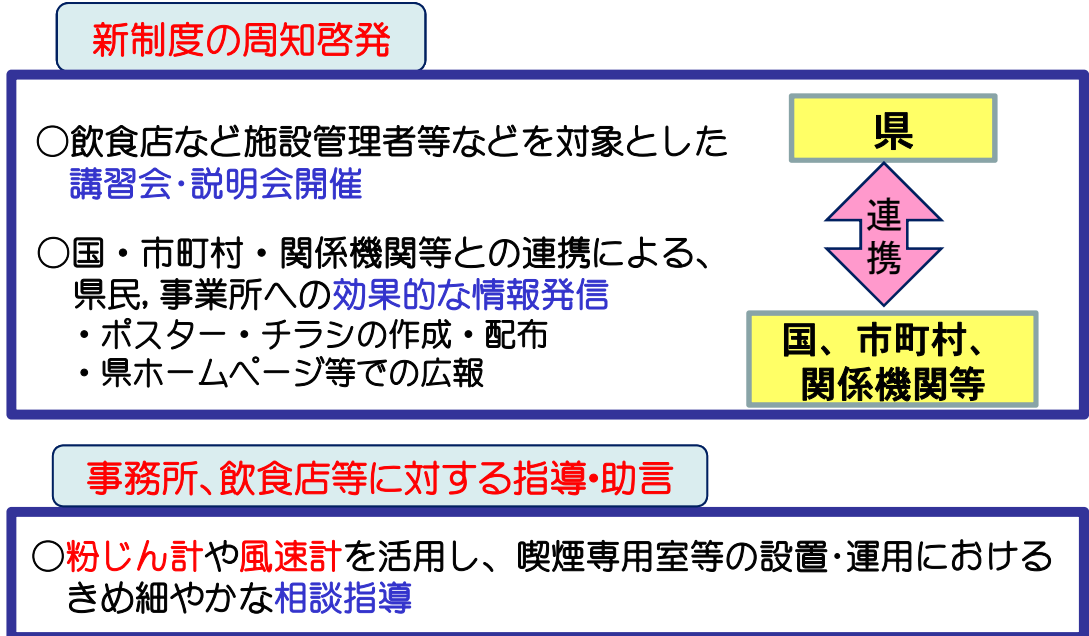
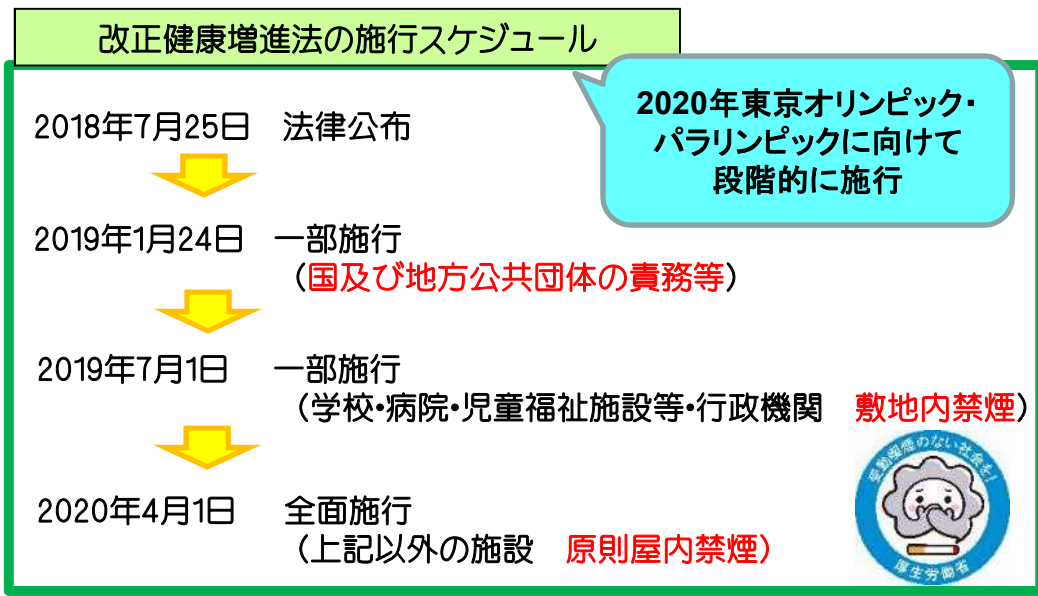
担当：健康増進課

# 新 受動喫煙防止対策強化事業

【平成31年度当初予算額 1,662千円】



## 望まない受動喫煙をなくす → 健康寿命の延伸



# いきいき「生涯健康」とくしまの実現

担当:健康増進課



## 徳島県地域医療介護総合確保基金事業(介護分)

【平成31年度当初予算額 507,300千円】

◇国の交付金を原資として設置した「地域医療介護総合確保基金」(負担割合:国2/3、県1/3)を活用し、地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域密着型サービス等の施設整備や介護従事者の確保を促進!

### 実施予定事業

#### 介護施設等の整備

当初予算額 460,300千円



◇地域密着型介護サービス施設の整備	4施設
・地域密着型特別養護老人ホーム	1施設
・認知症高齢者グループホーム	1施設
・小規模多機能型居宅介護	1施設
・定期巡回・随時対応型訪問介護	1施設
◇施設開設に伴う準備経費	9施設
・上記地域密着型介護サービス施設ほか	8施設
・介護医療院への転換	1施設
◇特別養護老人ホームのプライバシー保護のための改修	1施設

#### 介護従事者の確保

当初予算額 47,000千円



- ◇人材の参入促進<多様な人材の参入促進を図るため、人材のすそ野の拡大を進める>
  - ・学校の生徒に対する介護・福祉出前講座の開催 等

学校の生徒等に対して介護・福祉分野についての理解を深めてもらう出前講座を開催するとともに、介護職に関するイメージ調査を実施。また、地域住民等を対象とした介護体験イベントなどを開催。
- ◇資質の向上<継続的な資質向上を図るため、介護従事者の専門性の高度化等を進める>
  - ・介護支援専門員や看護職員・介護職員の資質向上のための研修実施 等

介護支援専門員を対象とした多職種連携研修の実施や、看護介護職員を対象とした要医療介護高齢者に係る在介護研修などの実施により、介護サービス人材の資質向上を図る。
- ◇労働環境・処遇の改善<介護従事者の定着促進を図るため、労働環境の改善等を進める>
  - ・介護ロボットの導入支援 等

介護施設に対する介護ロボットの試用体験会の実施やロボット貸出により、活用の機会を提供するとともに、その活用状況について調査し、導入における各種効果を検証し、その成果の報告会を実施。

地域包括ケアシステム構築に向けた体制整備の促進

担当:長寿いきがい課

# 地域包括ケアシステム構築支援事業

【平成31年度当初予算額 6,791千円】



主な取組み

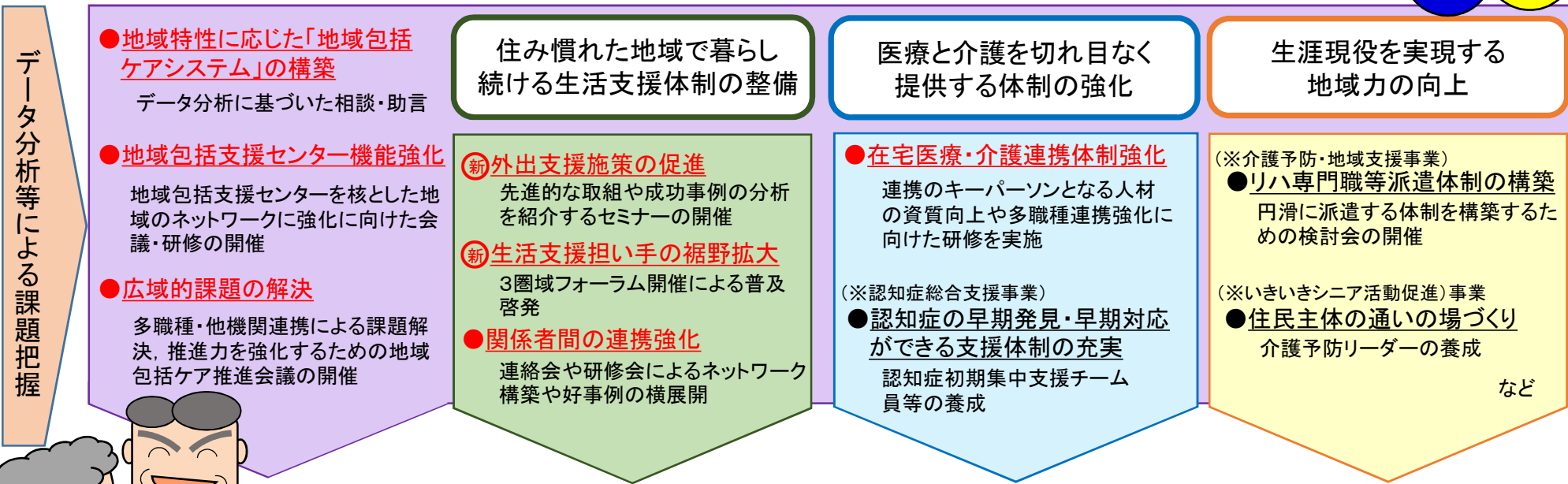
- 2014年: 【西日本初】徳島県地域包括ケア推進会議 設置
- 2015年: 地域包括ケアシステムサポート事業 開始
- 2016年: 若年性認知症対策(コーディネーター配置)
- 2017年: 各市町村を支援する工程表の策定
- 2018年: データ分析により市町村を支援する専門職員の配置

主な成果

- 県内「7市町」で地域の实情に合った地域包括ケアシステムを構築するモデル事業を実施。→他市町村へ波及!
- 全市町村に「認知症初期集中支援チーム」「認知症地域支援推進員」が配置され、早期診断・早期対応の体制が整備!

## 2019年取組方針

### データ分析による地域の特性に応じた「地域包括ケアシステム」の構築・深化



担当:長寿いきがい課

# 障がい者（児）の安心！地域生活支援体制づくり

【平成31年度当初予算額 1,400千円】

## 【これまでの取組み】

医療的ケアが必要な重症心身障がい児等が安心して暮らすために…

- ◆重症心身障がい児等を受け入れる医療型短期入所施設、通所事業所に設備整備費補助を行い**受入れを拡充**
- ◆施設等の職員向けにキャリアアップ研修を実施し**医療的ケアに関する支援に対応できる人材を養成**
- ◆障がい者等の口腔ケアマニュアルを作成し**歯科医療対応力を向上**



## 【課題】

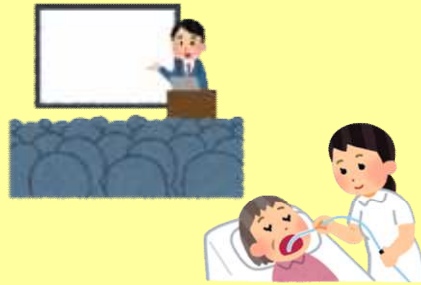
- ◆重症心身障がい児等の**受入可能な施設が偏在**
- ◆障がい者歯科診療の認定医のいる**医療機関が東部圏域に集中**



**重症心身障がい児等が地域で安心して暮らすことのできる支援体制構築を目指す！**

### 重症心身障がい児安心確保事業

- キャリアアップ研修の対象を介護サービス事業所の職員に**拡大し、サービスを利用できる地域の拡大を推進**
- 障がい福祉サービス等事業所や、介護サービス事業所の職員に**実地研修等によるキャリアアップを促進**



**県内全域で重症心身障がい児等の受入体制を強化！**

### 障がい者（児）歯科医療対応力向上事業

- 心身障害者歯科診療所と連携し、障がい者の口腔ケアマニュアルによる**各圏域の開業歯科医・スタッフへの講習会を開催**
- 各圏域の開業歯科医と心身障害児歯科診療所等とのネットワークを強化し、**各圏域の歯科診療体制を面的・層的に充実・強化**



**県内全域で開業歯科医の知識、技術が向上！**

**地域における障がい者（児）とその家族への支援体制が充実**

**障がい者（児）とその家族が安心して生活できる地域共生社会の実現！**



担当：障がい福祉課、障がい者相談支援センター

# [病院局] 県立病院における新たな課題解決に向けた取り組み

【平成31年度当初予算額 49,950千円】

## これまでの取り組み

★県立3病院の改築完了後の更なる機能向上のため、平成30年度には、「総合メディカルゾーンのエリア統一化」と「県立病院の総合情報システムの統合」を実施

患者目線の  
医療提供体制の充実

## 医療機関を取り巻く 新たな課題

- 昨年のお大阪府北部地震で発生した「医療機関の断水問題」
- 「働き方改革」の推進

県立病院として速やかに対応

## 災害対応力の強化

南海トラフ巨大地震発生時のバックアップ機能のみならず、「中央構造線・活断層地震」にも対応

### ■ 三好病院改築等事業 【20,550千円】

- ・ 災害時における水需要を確保する井水設備の整備
- ・ 平常時の活用による水道料金削減により収支改善にも寄与

ライフラインの  
「多重化」

災害拠点病院  
としての更なる  
機能強化



三好病院の1日  
必要水量120m³  
を上回る150m³  
の取水量を確保

## 働き方改革の推進

システム導入により、業務の効率化を推進

### ■ (新) 総務事務システム導入事業 【29,400千円】

- ・ 多職種による交替制勤務の出退勤・休暇・超過勤務管理など、複雑多様な勤務管理に対応する就業管理システムを導入
- ・ 働き方改革を進めるため、RPAの導入などによる業務見直し・効率化を検討

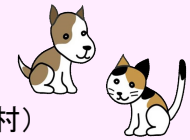
適正な労務管理と  
職員の負担軽減を推進



「県民医療最後の砦」としての使命を確実に果たす体制の整備

## 現 状 課 題

- ◆助けられる犬・猫殺処分ゼロ実現のための取組強化 (H29犬・猫殺処分数:873頭)
- ◆ボランティア等の人材育成と連携、協働の推進 (動物愛護推進員:66名 ボランティア登録:155名)
- ◆災害時における動物救護対策 (市町村防災計画及び避難所運営マニュアルに記載:16市町村)



## 新 動物愛護「きずなの里」プロジェクト事業 【2,400千円】

「きずなの里」を拠点として  
ボランティア、団体等との連携により、  
譲渡・啓発活動・災害対策を強力に推進



ボランティアによる  
譲渡数の増加

動物愛護意識  
のさらなる向上

災害時のペット  
対策の強化

ボランティアリーダー  
の育成

**児童**  
遠足・体験型教室

避難所運営の  
ためのルール作成

人材確保のための  
セミナー等開催

**学生**  
インターンシップ

災害時対応可能な  
ボランティアの育成

マッチングスペース  
利用による譲渡促進

**高齢者**  
ふれあい体験

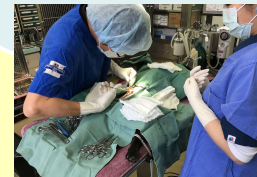
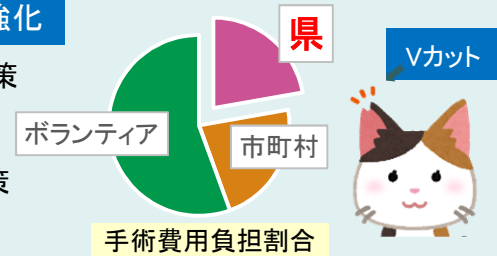
被災動物識別  
のため  
マイクロチップ  
装着推進

ボランティア等が主役となる動物愛護の推進

## 市町村適正管理推進モデル支援事業 【5,050千円】

### 市町村主体の取組みを強化

- ・ 災害時の動物救護対策
- ・ 学校飼育動物対策
- ・ 不妊去勢事業
- ・ 飼い主のいない猫対策



- ・ 飼養動物の安易な繁殖防止
- ・ 地域猫などボランティア活動を推進

## 新 災害救助犬等育成スキルアップ事業 【4,950千円】

- ・ 「災害救助犬」の育成・継続訓練や「セラピー犬」の育成・活動支援
- ・ 「災害救助犬」の「他団体(ジャパンケネルクラブ等)認定」を目指す



訓練・審査



認定



ふれあい活動

命の尊さの啓発・ボランティア活動の拡大

# 県民との協働により「助けられる犬・猫 殺処分ゼロ」を目指す

担当：動物愛護管理センター

# 新 交通管制システム高度化更新事業 ～「四国横断自動車道」等の供用開始に向けた新たな管制システム等による交通安全・円滑化対策～

【平成31年度当初予算額 121,798千円】

## 「交通管制センター」の機能

「道路交通」の情報収集  
～光ビーコン  
交通監視カメラ等  
による交通情報の収集～



車両感知器



交通監視カメラ

### 都道府県管制システム



徳島発「AVENUE-S (交通シミュレーション)」  
による予測型の交通管制

～新システムの整備と  
更なる災害対策の推進～

大規模災害発生時、  
民間事業者が保有する  
プローブ情報を活用した  
広域交通情報の提供



プローブ(車両軌跡)情報

広域交通管制システム(警察庁)

道路交通情報通信センター  
VICSセンター

JARTIC



ラジオ・テレビ情報



交通情報板情報



カーナビ情報

スマホ・タブレット情報

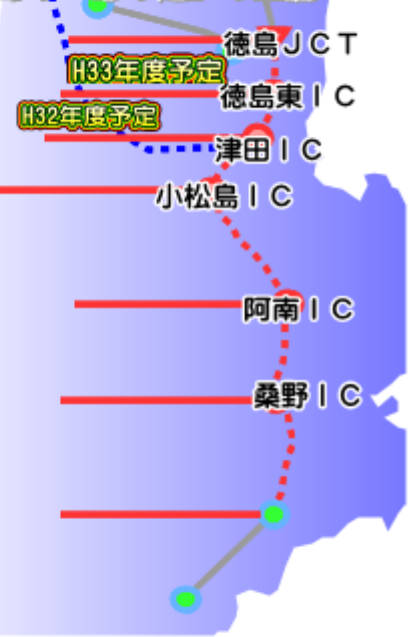
総合的な交通管制の実施

各種メディアを通じて  
交通渋滞情報  
旅行時間  
駐車場情報等を提供

～安全・円滑な  
交通管理を実現～

Photo 2018とくしまマラソン

「四国8の字ネットワーク」の形成  
災害時の「命の道」の整備



## 「四国横断道」等の供用に向けた新たな取組

### Category1

#### 「交通管制システム」の広域化・高度化

○「管制エリア」の拡大(H31年度～)

「四国横断自動車道」  
「徳島外環状道路」等の整備を見据え  
管制エリアの広域化に向けた取組

○「南海トラフ地震」等、各種災害への対応

新システムの構築により、大規模災害発生時等、  
民間事業者から「プローブ情報(車両軌跡)」の提供  
を受け、広範囲の交通情報を把握。

通行可能路線等の広域交通の情報提供を実現  
※平成29年九州北部豪雨時等で効果を発揮

### Category2

#### 「新直轄道路」における安全施設の整備

○「無料区域」における施設整備(H32年度～)

無料区間：約34km  
⇒公安委員会(警察本部)により整備  
※有料区間 ⇒ 道路管理者

可変式速度規制標識の整備  
ICへの接続道路における施設整備  
その他、各種交通規制の実施



日和佐道路における  
可変式速度規制標識

プローブ情報処理システム  
災害発生時、複数のメーカーから提供されるプローブデータ(車両軌跡)から作成  
した車両の通行情報と都道府県警察が保有する通行止め等の交通規制情報を  
融合し、詳細な渋滞や旅行時間情報を提供

担当: 交通規制課

# 新 高齢者交通事故防止推進事業

【平成31年度当初予算額 4,300千円】

## 目標

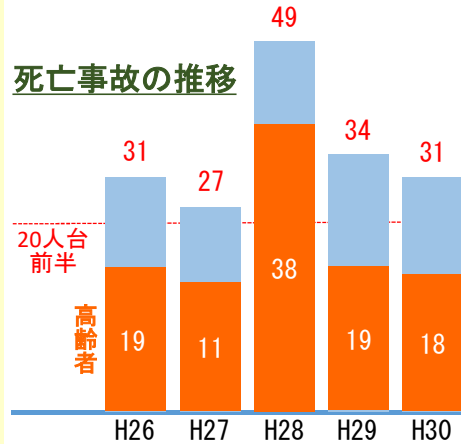
### 第10次 徳島県交通安全計画

交通事故死者数を  
20人台前半  
可能な限りゼロに近づける



## 徳島県内の交通死亡事故の現状

### 死亡事故の推移



【H26～H30・高齢者の割合】  
高齢者105人 / 172人 = **61.0%**

### 夜間道路横断中死亡事故



【H25～H29・高齢者の割合】  
高齢者32人 / 36人 = **88.9%**

## 対策の検討

### 高齢運転者等 交通事故防止対策 プロジェクトチーム

- ① 高齢者の交通安全意識醸成
- ② 夜間事故防止の重点啓発
- ③ 免許返納後のサポート



## 高齢者事故防止に向けて

### 高齢者の交通安全意識の醸成

#### 体験型交通安全教室の開催

- セーフティ・サポートカー  
乗車体験等の講習



#### 自転車ルールやマナーの普及

- 高齢者自転車安全  
競技大会の開催



### 夜間事故防止の重点啓発

#### 運転手への啓発

- 早めのライト点灯
- 歩行用前照灯  
(ハイビーム) の使用



#### 歩行者への啓発

- 反射材着用の徹底



#### 交通安全地域リーダーによる啓発

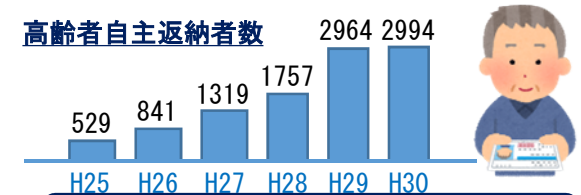
- 高齢者交通安全推進員育成



### 免許返納後のサポート

高齢者が交通事故を起こさない環境を整備するために

#### 高齢者自主返納者数



#### サポート支援事業者の拡大

- 割引等の優遇店拡大
- タクシー等移動交通手段  
確保状況も情報提供



# 交通事故のない安全安心なとくしまの実現！

担当：消費者くらし政策課

## 課題① 人材育成

- ✓ 捕獲の担い手となる「**狩猟者**」の減少と高齢化
- ✓ 狩猟免許取得者の**ペーパーハンター化**

60歳未満  
31.2%

60歳以上  
68.8%

## 課題② 個体数の管理

- ✓ 野生動物の**生息域・生息数の拡大**による**農林業や自然植生への被害の深刻化**

23,990

51,730

38,397

H27

26,493

36,645

42,126

H28

被害金額 (シカ・イノシシ・サル)

99,558千円

22,343

38,207

39,008

H29



## 課題③ 捕獲個体の利活用

- ✓ 捕獲したイノシシやシカの地域資源としての**利活用率の低さ**

2.5%  
(全国 8.2%)

「人材育成・捕獲・利活用」を循環させ、被害低減を目指す仕組みづくり！

### 「とくしま狩猟マスターへの道」プロジェクト事業

【8,000千円】

- ◆ 「とくしまハンティングスクール」開講事業  
「免許取得」から「利活用」までに必要な実猟スキルを身につける「**とくしまハンティングスクール**」の開講
- ◆ 大学との連携による若手狩猟者の育成
  - 県内大学と連携した学生ハンターの育成・確保
  - 「狩猟」を核とした中山間地域の「**地方創生モデル**」の構築
- ◆ 「集まれ！新人狩猟者」JOJT事業
  - 狩猟免許取得者に対するより**実践的な技術の習得**
- ◆ **新** 狩猟者相互で助け合うネットワーク構築事業
  - ベテランハンター、若手ハンターのそれぞれの「強み」を相互活用



ハンティングスクール

基礎を教えてください！

見回りを頼むよ！



① 狩猟者の育成確保

③ 利活用の推進

② 個体数の管理

### 野生鳥獣エシカル消費推進ネットワーク構築事業

【2,400千円】

- ◆ 野生鳥獣エシカル消費推進ネットワーク構築事業
  - HALAL向け**生体捕獲の実装**
  - 一時飼養施設と処理加工施設の**連携強化**
- ◆ 狩猟エコツーリズム事業
  - 「**獣道トレッキングツアー**」の開催
  - ジビエの試食を通じた「**ジビエシカルツアー**」の開催



一時飼養施設



トレッキングツアー

### 狩猟者育成確保対策事業

【1,600千円】

- ベテランハンターの「**狩猟技術安全講習会**」の開催

### 指定管理鳥獣捕獲等事業

【112,678千円】

- 認定鳥獣捕獲等事業者による**ニホンジカ・イノシシの管理捕獲**の強化
- 「狩猟期間中」の捕獲個体の増加とジビエへの利用拡大に誘導するための**狩猟捕獲支援**
- 狩猟捕獲個体の**解体処理経費支援**



認定鳥獣捕獲等事業者

### ニホンザル適正管理事業

【5,700千円】

- 市町村と連携した「**レムリ-調査（行動域調査）**」の実施
- 「**加害群**」の**集中捕獲**による個体数調整



電波発信装置装着

「野生鳥獣との適正な関係の構築」と「利活用」を通じた地域社会の実現！



# 新 野生鳥獣防除「家畜防疫徳島モデル」創出事業

【平成31年度当初予算額 3,000千円】

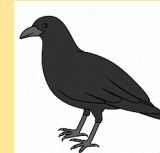
## 事業目的

「安全・安心な本県畜産物」や「ジビエ」を安定的に生産していくため、  
「家畜伝染病に対する野生鳥獣対策」を強化し、家畜衛生対策につなげる。

## 事業背景



- ・「高病原性鳥インフルエンザ」や「豚コレラ」の発生に、野生鳥獣が関与
- ・畜舎内への侵入防止対策は行われているが、依然、野生鳥獣の行動パターンは不明
- ・これらを解明し「野生鳥獣対策」を行うことで、家畜衛生対策につなげる必要あり



## 事業の概要

### 野生鳥獣を巡る家畜伝染病「リスクマネジメント」の実施

## リスク分析・評価

### ① 野外及びモデル農場での実態調査

- ・「野生鳥獣対策モデル農場」設定(各畜種1戸)
- ・農場に侵入する「野生鳥獣種の特定」と「侵入経路の解明」



### ② 野生鳥獣の「病原体浸潤状況」調査

伝染病感染の有無等、サーベイランス検査を実施



## リスクコミュニケーション

野生鳥獣対策「徳島モデル」の実証  
有効な対策を検討し、その効果を検証

関係機関連携強化

農林水産部

市町村

危機管理部

関係団体



## リスク対応

畜産業における「野生鳥獣対策マニュアル」策定  
生産者・民間獣医師を対象とした講習会を開催

マニュアル



## 事業効果

家畜伝染病を「発生させない・持ち込ませない」ための「徳島家畜防疫モデル」の実現！！

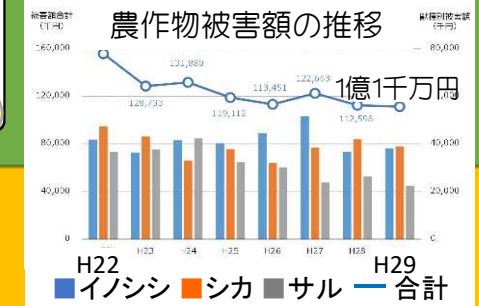
担当：畜産振興課

# 鳥獣害に打ち勝つ「被害防止対策」の展開

【平成31年度当初予算額 211,375千円】

## 課題

- ◆野生鳥獣による農作物被害額は、減少傾向であるものの、1億円を超える高い水準。
- ◆農業者や狩猟者が高齢化し、地域住民は苦慮



## 方針

鳥獣害に打ち勝つためには、4本柱の対策で「地域力の強化」と「最新技術を活用した取組み」が重要！



『地域力』の強化！  
～集落で取り組む被害対策～

最新技術の活用！  
～省力化と新たな取組み～

### 防護対策

- ◆集落ぐるみで取り組む「被害ゼロ」を目指したモデル集落の育成
- ◆カワウの生息状況調査や追い払い等への支援

集落ぐるみで柵整備

### 捕獲対策

- ◆「有害捕獲」の推進・強化
- ◆防護柵と一体的な箱ワナ等の導入促進
- ◆住民(餌付け)とハンター(仕留め)の連携捕獲

### 人材育成

- ◆市町村・JA職員等が担う「鳥獣被害対策指導員」の養成
- ◆指導員用の教材作成

指導員による研修

### 防護対策

- ◆**新**LED光線を利用したシカ追い払い等技術の開発
- ◆「とくしまIoTプラットフォーム」を活用した加害サル群の出没予報システムの構築

位置情報 → とくしまIoTプラットフォーム (データ共通基盤) → 出没予報

大学連携

### 捕獲対策

- ◆移動式大型檻とIoT遠隔監視捕獲装置をコラボさせた効率的な捕獲の実装
- ◆造林地での新たな通信網を活用した捕獲通知によるワナ見回りの省力化

効果的な追い払い

LPWA 基地局⇄子局

山間部でも広範囲の通信が可能！

### ジビエ利活用

- ◆**新**衛生面の付加価値化を目指した、徳島県HACCP認証導入の普及啓発
- ◆ジビエ倍増の実装 (処理頭数1,000頭以上)

「地域力」を発揮！安心して生産できる農林水産業の実現

担当: 農山漁村振興課、林業戦略課、水産振興課

# 進化する・とくしまブランド戦略の展開



【平成31年度当初予算額 123,065千円】

## 30年度 トピックス 進化する とくしまブランド戦略 元年


- ◆ 渋谷の大手百貨店で「徳島物産展」を開催 
- ◆ 都心ホテルでの「徳島料理フェア」開催 
- ◆ 豊洲市場への「シラス干し」航空輸送開始 
- ◆ 大阪で徳島の食と文化の「まるごと」体験イベントを開催 
- ◆ ウェイクボード世界大会等でのPR車両による「阿波ふうど」発信 

## 31年度 2020年「飛躍」に向けたステップアップ


### ターンテーブル魅力発信事業 【52,200千円】

- ◆ 県産食材の価値を引き出す趣向を凝らした料理の提供「阿波ふうど」の魅力発信 
- ◆ 食はもとより、文化、観光、移住交流など、多彩なテーマのイベント展開 

### とくしまブランド推進機構展開事業 【27,750千円】

- ◆ ターンテーブルを活動拠点とした首都圏での戦略的な営業活動
- ◆ 新たな国内物流モデルの構築に向けた支援 

### 阿波ふうど機動力発揮ブランディング事業 【24,500千円】

- ◆ 「でり・ぱりキッチン 阿波ふうど号」本格的な調理機能を活用、県産食材のPR
- ◆ 「新鮮 なっ！とくしま」号ステージを活用した大型イベント展開 

### 進化する・とくしまブランド戦略事業 【18,615千円】

- 首都圏展開**
  - ◆ 話題の「こだわりショップ」などに販売コーナー設置
  - ◆ 都内大手百貨店や大規模イベントでのPR

エア輸送による鮮度感や物語を付加価値としてアピール！
- 関西展開**
  - ◆ 卸売市場やバイヤーによる産地研修ツアー
  - ◆ 大規模複合商業施設での「阿波ふうど」PR

グランフロント大阪、ららぽーと名古屋など注目スポットで！
- 県内展開**
  - ◆ 県民参加型、収穫体験と調理体験で理解促進
  - ◆ 消費者 兼 発信の担い手ママさん達が、県産食材を学び、買って、発信

県民の皆さまが「広報マン」！国内外へ「徳島の食」魅力発信

# 「阿波ふうど」の戦略的PRによる「もうかる農林水産業」の実現！

担当：もうかるブランド推進課

# 新物流（航空貨物など）の利用促進と有利販売対策

## 取組経過

◆28年度  
徳島県×JAL  
包括連携協定の締結

◆30年度  
・新型「保冷コンテナ」開発・完成（JAL）  
・シラス干しの輸送を開始  
・アジなど「鮮魚」の輸送を開始  
・JAL最終便に搭載，毎週5回輸送中

◆29年度  
・コウノトリおもてなしレンコン（JA徳島北）  
・生シイタケ（JA徳島市）の輸送開始  
・シラス干しの可能性調査に着手



【平成31年度当初予算額 10,000千円】



飛べ！  
シラス



◆多くのメリットを発揮！  
・輸送時間短縮，高い鮮度で有利販売  
・出荷調整作業に時間的な余裕  
・市場ニーズの高い「鮮魚」が高値取引

さらに

・「鮮魚」魚種の拡大（イサキなど）  
・「活魚」輸送の本格化（ハモ・アワビなど）  
・羽田経由，海外輸出への挑戦

## 新展開 “空飛ぶ・阿波ふうど”



①ラッピング  
コンテナ



③新ロゴマーク（シール）



②ラッピング  
トラック

## 平成31年度

### ◆(新) 阿波ふうど新物流ブランド創出モデル事業 (8,000千円)



物流モデルのイメージ

- 【視点1】 県内物流モデルの構築
  - ・県西，県南から松茂まで「定期便・混載便」
  - ・「産直市・道の駅」を集荷拠点とするスキーム
  - ・県内物流の「新たな担い手」づくり
- 【視点2】 国内物流モデルの構築
  - ・羽田から関東複数の市場への配送システム
  - ・ターナーテーブルと周辺店舗向け輸送モデル
  - ・羽田経由，東北・北海道・海外への輸送モデル
- 【視点3】 モーダルシフトの検討
  - ・東京行きフェリーでの大型コンテナ輸送モデル
  - ・JR貨物による大ロット物流モデルの検討
  - ・東京行き高速バスのトランクルーム利用

### 【再掲】 ◆進化する・とくしまブランド戦略事業 (2,000千円)

- 【視点4】 「空飛ぶ・阿波ふうど」の有利販売
  - ・「高い鮮度」「飛んで来たストーリー」で訴求
  - ・「ターナーテーブル」の発信力を活かしたPR
  - ・「地域商社・阿波ふうど」による販路開拓

“空飛ぶ・シラス干し”  
に続く「成功モデル」の  
創出・定着・拡大！

## 生産者が「もうかる物流システム」の構築

担当：もうかるブランド推進課

# 新「世界農業遺産」を核とした地域経済ジャンプアップ事業

【平成31年度当初予算額6,000千円】

## 事業の目的

「世界農業遺産」認定を契機に、持続力のある地域経済を実現するため、「徳島剣山世界農業遺産推進協議会」と連携し、**戦略的な情報発信、もうかる「にし阿波」の確立**をすすめる。

## 事業の概要【平成30年度事業】

### 戦略的な情報発信

- ・プレスツアーの実施
- ・大企業との交流
- ・ターンテーブルでの首都圏インフルエンサーとの交流



- ・古くて新しい！
- ・今だからこそカッコいい！
- ・そば米のパエリアがおいしい！
- ・固有の価値を伝えるため丁寧な説明が必要

### 受入れ体制の整備

- ・ワンストップ窓口の設置
- ・傾斜地体験スポットの整備

視察者急増  
H29年度 103人  
H30年度 312人(12月末)



### もうかる「にし阿波」

- ・世界農業遺産ブランド認証制度の発足
- ・魅力あるパッケージの開発

## 事業の概要【平成31年度予算】

**Jump!**

### 戦略的な情報発信

#### ◆価値を伝える

- ・認定11地域で共同事業
- ・地域団体と連携しイベントを開催
- ・HP・ブログ等での海外への動画配信



#### ◆戦略的なプロモーション

- ・ターンテーブルを活用し、感度の高い消費者やバイヤー向けフェアの開催

#### ◆世界に広がる人材交流

- ・交流活動や研修生等の受け入れを実施
- ・ボランティア等関係人口の確保



#### ◆次世代へつなぐ伝統

- ・小中高校生を対象に体系的なエシカル教育の実施

### もうかる「にし阿波」

#### ◆売れる商品づくり

- ・世界農業遺産ブランド認証商品の充実
- ・飲食店と連携した食事メニュー開発や販売
- ・道の駅や産直市合同フェア等において野菜ソムリエによるレシピ提案や新パッケージ商品の販売



#### ◆農泊の推進

- ・傾斜地農業を伝えるガイドの育成
- ・ワンストップ窓口の機能強化
- ・にし阿波の伝統的な食文化を伝える食事・体験メニューの提供



## 徳島の宝(傾斜地農業)を未来へつなぐ

担当: 農林水産部、観光振興部、地域創生部

# 農林水産業未来創造基金積立金・活用事業

【平成31年度当初予算額：農林水産業未来創造基金積立金 500,000千円，農山漁村未来創造事業 200,000千円，活用事業 52,000千円(再掲)】

TPP11や日EU・EPAの発効など進展するグローバル化に迅速かつ戦略的に対応し、「守り」と「攻め」の対策による本県農林水産業の体質強化・競争力強化を図るため、**「農林水産業未来創造基金」を活用し、農山漁村未来創造事業をはじめ経済グローバル化対策を重点的に展開**

## 農林水産業未来創造基金

- ◆ 国際環境の変化を「迎え撃つ」ための対策予算として、平成28年4月に県単独で創設
- ◆ 財源を「見える化」し、「長期的」で「きめ細やか」な支援を行うことで、農林漁業者の不安を払拭し、**意欲的な取組を後押し**

### 農山漁村未来創造事業

【基金200,000千円】

#### 事業実施主体

市町村，農林漁業者の組織する団体，認定農業者等

#### 補助対象

農林漁業用機械・施設の導入整備(ハード)等

#### 政策推進型

農林水産基本計画の「推進エンジン」  
となる取組を重点的に支援

#### ○ハード補助率<上限>

3/10以内<10,000千円>

#### ○事業期間

単年度

#### 企画提案型

地域のニーズに応じた  
創意工夫のある取組を  
ハードとソフトの両面から支援

#### ○ハード補助率<上限>

1/2以内<20,000千円>

#### ○事業期間

最大3か年

#### ○ソフト補助率<上限>

定額<2,000千円> (ハード事業の効果を増進する取組)

#### これまでの主な成果



哺乳ロボット

スマート農林水産業による  
省力化・高品質化の実現



ドローン

森林資源状況の把握による  
県産材生産の促進



地元産品を活用した  
6次産業化の推進

### 新規

### 経済グローバル化対策の重点展開

【基金52,000千円】

「海外市場開拓」など「攻め」の農林水産業を重点的に推進！

#### 県内産業の競争力強化

- ◆ マーケットイン型産地の育成と、だいこんやほうれんそうなどの「園芸産地リノベーション」の推進
- ◆ 即戦力人材に加え、障がい者、アクティブシニア、外国人など「多様な人材」の育成・確保の促進 など



だいこん収穫機

#### 輸出促進による海外展開の推進

- ◆ 更なる輸出拡大が見込まれるEU向けかんきつ類の「販路拡大」
- ◆ GAP実践から、「GLOBALG.A.P」等の上位GAP取得へのステップアップを支援 など



「木頭ゆず」のPR

#### インバウンド誘客の促進

- ◆ 外国人観光客等への接客スキル向上や体験メニューの充実による「受入体制の強化」
- ◆ 食文化や農村景観など地域資源を活用したツーリズムによる「農山漁村の魅力発信」 など



インバウンドリピーターの獲得

## 経済グローバル化に打ち勝つ「本県農林水産業の成長産業化」を実現！

担当：農林水産政策課

# 徳島水産ブランドの更なる進化に向けて！ ～「はも」「鳴門わかめ」～

【平成31年度当初予算額 4,750千円】

<b>背景</b> ○はも ・「はもと言えば京都」のイメージ ・首都圏での消費は少ない ○鳴門わかめ ・産地偽装によるブランドイメージの毀損 ・養殖現場では多量のわかめ残渣が発生	<b>現状</b> ○はも ・徳島の活鱧料理味わいキャンペーンの開催(10周年) ・関西圏だけでなく、首都圏をターゲットとしたPR ○鳴門わかめ ・「徳島県鳴門わかめ認証制度」を創設 ・わかめ残渣は事業系一般廃棄物として処分	<b>課題</b> ○はも ・消費者の産地に対する認知度が低い ・若い世代での消費が少ない ○鳴門わかめ ・認定加工業者数の伸び悩み ・わかめ残渣の有効活用
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------

## 徳島を代表する水産物「はも」「鳴門わかめ」の更なるブランド力の強化・向上！！

とくしまの活鱧ブランド力向上事業	(新) 鳴門わかめブランド力強化事業
<p style="text-align: right;">事業費2,500千円</p> <p><b>徳島の活鱧料理味わいキャンペーン2019</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 県内・関西圏・首都圏の料理店、量販店で「徳島の活鱧」を発信</li> </ul> <p><b>県外学生を対象とした産地見学ツアーのプロデュース</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「徳島の活鱧」の魅力発信を担う若者を養成し、 若年層の消費者をメインターゲットとした SNS等による情報発信・拡散</li> </ul> <p><b>料理学校等における「徳島の活鱧講座」の開催</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 料理人を目指す若者等に「徳島の活鱧」の魅力を発信</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; background-color: #fff9c4; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「はも産地・徳島」の定着強化！ 若者世代に向けた「徳島の活鱧」のPR による販路・消費拡大！！</p> </div>	<p style="text-align: right;">事業費2,250千円</p> <p><b>徳島県鳴門わかめ認証制度の運用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 書類審査や立入検査等を通じた「安全・安心」の確保</li> </ul> <p><b>科学的産地判別検査の実施</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 県による認証商品の検査を強化し、 取引先や消費者に「安全・安心」を担保することで 認証取得のメリットを向上</li> </ul> <p><b>わかめ残渣の有効活用試験の実施</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● わかめ残渣を磯焼け漁場等で活用するための モデルケースを作成し、鳴門わかめブランドに 「環境への配慮」をプラス</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; background-color: #fff9c4; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「安全・安心」+「環境への配慮」で 「鳴門わかめ」のブランド力を強化！！</p> </div>



全国の消費者から選ばれるトップブランドへ！！

担当：水産振興課

# 新 6次産業化総合支援事業

【平成31年度当初予算額 104,680千円】

## 現状

- 6次産業化への取組みは、製造技術習得、販路獲得、資金調達など、ハードルが高い
- 事業者の課題は多様であり、課題解決には個別具体的な対応が中心
- 「東京オリ・パラ」を1年後に控え、藍の情報発信の最大のチャンス

## 課題

- 事業者育成のため、相談窓口の設置に加え、関係機関が連携した積極的な支援が必要
- 6次産業化商品の認知度の向上を図るため、県を代表する「イチ推し商品」が必要
- 藍、食用藍等の効果的な情報発信と付加価値の創出が必要

## 対応策

- |        |                             |
|--------|-----------------------------|
| 人材等の育成 | ○タスクフォース設置による事業者への重点指導      |
| 販路開拓   | ○展示商談会等を通じた販路の積極的獲得         |
| 環境の整備  | ○ネットワークの構築や機械・施設の整備等推進体制の強化 |
| 藍の推進   | ○藍の発信力強化と機能性等の調査研究          |

## 6次産業化を担う人材の育成と商品開発

- 「タスクフォース」設置による優良事例育成と新規参入者の支援
- 「六次産業化研究施設」活用による商品開発を推進
- 「求評会」開催などマーケット・インによる商品開発を支援
- 「6次産業化プランナー」の派遣による事業者への個別サポート  
⇒ 「6次産業化を担うモデル事業者の育成」



## 「産・学・官・金」による販路開拓

- 海外展開も視野に入れた展示商談会への出展
- 「産地商談会」等の開催による販路の開拓
- 「GI登録」推進による付加価値の創出  
⇒ 6次産業化商品の「バリューチェーンの構築」



事業者を強力にサポート

## 6次産業化を促進する環境の整備

- 「異業種交流会」等を通じたネットワークの構築
- 「市町村戦略」の策定による推進体制の強化
- 新商品の生産に必要な機械・施設等の整備  
⇒ 6次産業化の「推進体制の強化」



## 藍の情報発信と利用拡大

- H30年度開催「藍サミット」をレガシーとし、進化させた「サミット」開催による海外への情報発信
- 「産・学・官」が連携した「藍に関する研究開発プラットフォーム」で藍の機能性等の調査研究を推進  
⇒ ジャパン・ブルーの「情報発信力強化」と食用藍への「利用拡大」



## 6次産業化による事業者の所得向上と地域の活性化

担当：もうかるブランド推進課



# 新 とくしま「新たな森林管理システム」推進事業

【平成31年度当初予算額 25,000千円】

## 森林環境譲与税の導入を踏まえた取組の展開

- 国
- 県
- 市町村
- 課題

◆平成29年12月【平成30年度税制改正大綱】  
森林環境税・森林環境譲与税 導入明示！  
◆平成30年5月【森林経営管理法】制定  
「新たな森林管理システム」平成31年4月～

■林業・森林管理の担い手育成・確保 **積極的な市町村支援**  
■最新森林資源情報のGISデータ化・提供  
■税を活用した市町村単独事業の指導・取組支援

●条件不利で所有者が管理困難な森林について **専門人材・データ等不足**  
**意向調査を基に市町村が主体となり森林の経営管理を実施**

◎県内の状況（課題） **早急なマッチングの必要**  
※所有者の高齢化  
※不在村所有者増加  
・所有者の声：委託・売る・寄附  
・事業者の声：取得したい

## 森林環境譲与税で取り組む森林経営の現状と目標



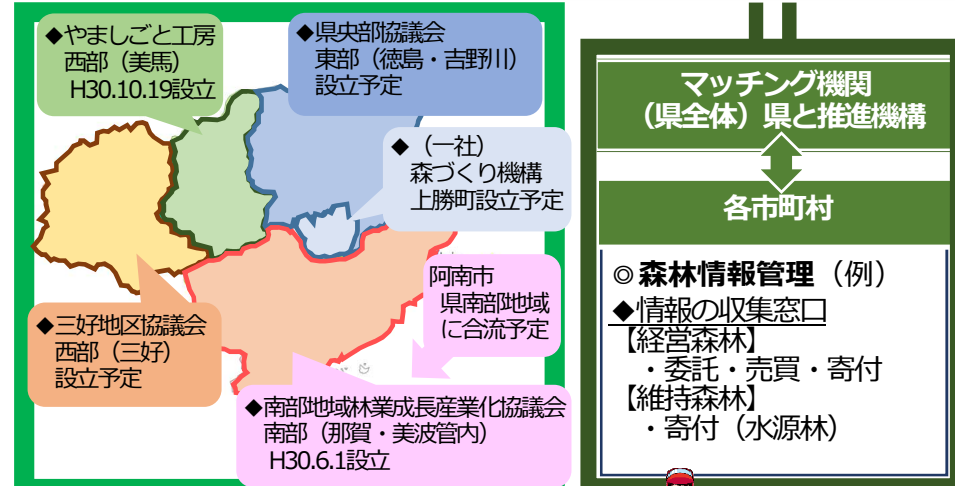
## とくしま「新たな森林管理システム」推進事業（25,000千円）

- 森林環境譲与税で整備する森林（私有林人工林）の抽出  
**森林資源データ（施業履歴等）のGIS整備等による市町村の支援**
- 森林の「委託・売買・寄附等」情報の収集・一元化等  
**県下全体の森林の流動化情報管理による市町村の支援**

その他 H31からの森林環境譲与税での対応事業【人材育成等】  
・林業の新たな担い手総合対策（アカデミー）  
・林業人材育成研修（センター）  
**教育委員会とも連携（研修等）**

## ※県内の「新たな森林管理システム」への対応状況

**とくしま森林経営管理協議会** 各地域の指導や全体方針決定等  
各地域協議会＝域課題の検討や意向調査の準備や協力体制の構築  
市町村＝所有者の意向（委託・売買・寄付）とりまとめ等



森林の適正管理と林業成長産業化の両立！ 担当：林業戦略課

# 林業の新たな担い手総合対策

【平成31年度当初予算額 85,500千円】

H31

森林環境譲与税の創設

H31

森林経営管理法の施行

市町村が未整備森林を新たに管理

〈事業のポイント〉 ライフステージに合わせた林業イベントでの体験・研修や  
とくしま林業アカデミーによる即戦力の人材育成で、新たな担い手を確保し森林整備を推進します

## 体験・研修

小中高校生・大学生

**新** 集まれ！山の学舎  
**フォレストキャンパス事業**  
フォレストキャンパスを核に、  
職業としての林業を体験する  
イベントを実施

林業版キッズニアで  
シミュレーターを体感



働き手世代

とくしま林業アカデミー  
**オープンキャンパス事業**  
アカデミーへの入学を後押し



入学

参加者1名がH30入学

・**森林女子就業推進モデル事業**  
機械化された新しい林業を体験し、  
イメージを一新



## とくしま林業アカデミー事業

### ・新たな林業担い手確保事業

アカデミーへの入学や林業事業体への就業に繋げるため  
県外でのガイダンスやタウン誌での広報活動を実施

クール林業  
をPR



就労  
相談

### ・とくしま林業アカデミー運営支援事業

職業紹介  
許可取得 現場の即戦力となる人材を1年間で養成  
1、2期生24名、3期生13名(うち女性2名)

就業マッチングや **アフターアカデミー**を実施  
卒業生を就職後もバックアップする体制を整備

技術  
習得



卒業後もメンタル  
面で支援



### ・緑の青年就業準備給付金事業

林業経営を担い得る有望な人材を育成するため、  
安心してアカデミーに専念できるよう給付金を給付

新たな人材を確保

担い手  
増加

意欲と能力のある林業経営体



次世代へ繋げる森林の保全と林業の成長産業化を実現

担当: 林業戦略課

# 「阿波とん豚」増産・流通システム確立事業

【平成31年度当初予算額 7,800千円】

## 事業目的

本県養豚産業の産出額を現状維持するため、ブランド豚「阿波とん豚」の種豚の効率的増殖技術の確立、増産に対応した流通体制の整備に取り組む。

## これまでの取り組み成果

### 1. 種豚の効率的増殖技術の確立

- ①DNAマーカーを利用した高繁殖能力豚の選抜
- ②ET技術の開発とET技術を活用した種豚の生産
- ③高繁殖能力システムの作出開始
- ④飼養マニュアルの改訂

分娩頭数：7頭→10頭



### 2. 流通体制整備

- ①トレーサビリティシステムの確立と検証
- ②オンライン流通システムの構築
- ③「阿波とん豚」専用格付けの実施
- ④オンライン流通システムへのトレサ情報及び格付け情報の付与

偽装防止

## 新たな課題

「種豚の効率的増産技術の確立」に加え、

・生産農場：異常産、育成豚の疾病による子豚の損耗

・流通面：厚い脂肪が原因である「格落ち」や「低需要部位の発生」

ウデ・バラ肉など



枝肉の  
コース断面



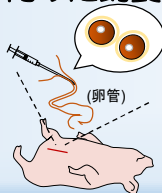
厚い脂肪（白い部分）

## 事業の内容

### 種豚の効率的増産技術の確立

- DNAを利用した高繁殖能力豚の選抜
- 体外受精卵移植技術を活用した種豚の増産
- 繁殖能力に優れる新たなシステムの造成
- 増頭に向けた飼養試験

一般豚に  
受精卵移植



種豚候補豚の誕生



### 生産農場における子豚の損耗防止

- 異常産ワクチン、肥育豚等へのワクチン・駆虫薬の適正な投与時期・量をプログラム化



### 飼養技術の改善 と 低需要部位の利用促進

- オンライン流通システムを活用し、指定販売店からの肉質評価を集約するなど、格落ちの発生原因を突き止め、飼養技術を改善

- 徳島大学と連携し、低需要部位を利用した加工品の開発

ハム・ソーセージなど



## 事業効果

「阿波とん豚」の増産によって「もうかる養豚経営」が実現し、本県養豚産業が活性化！！

担当：畜産振興課

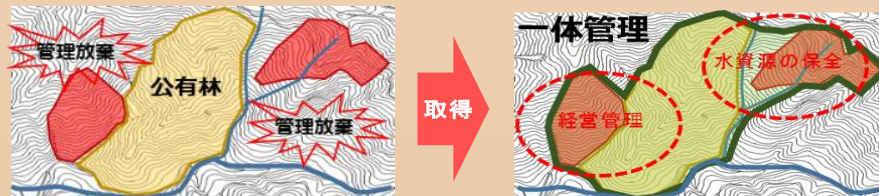
# 「徳島グリーンスタイル」推進事業

【平成31年度当初予算額 357,276千円】

## ■ 条例施行 『徳島県豊かな森林を守る条例』

### 公有林化＜森林の取得・管理＞

- 1 未来へつなぐ森林づくり事業 H31 24,798千円
  - ・ 県有林化の推進（山林調査、買取：45ha）
- 2 とくしま豊かな森づくり推進事業 H31 4,500千円
  - ・ 市町村有林化等の支援（山林買取：30haへの補助）



管理放棄森林を一体的管理で、森林機能の高度発揮

- 3 「徳島県版保安林」整備管理事業 H31 4,000千円（再掲）
  - ・ 県版保安林の指定（山林調査）

#### 県有林・県行造林事業（特別会計）

H31 301,978千円

県営林で先導的モデルを展開



県営林の増産(H29～H38)

13千m³(H27)→18千m³(H31)→25千m³(H38)

10年間で  
倍増！

#### 公有林化推進事業

H31 22,000千円  
(公有林化推進基金積立)

既存の基金 0.8億円  
+  
基金造成計画 3.4億円  
(H29～H38)

合計 4.2億円

- ▶ 管理不十分な森林の解消
- ▶ 水資源や県土保全機能等の維持増進
- ▶ 目的不明確な森林買取への対応
- ▶ 県産材の増産
- ▶ 雇用の創出と地域林業の振興



豊かな森林を  
次代へ継承!!

担当：林業戦略課

### ■ 現状・課題

- ・ 森林面積の8割超が私有林
- ・ 私有林の管理放棄森林増加
- ・ 森林吸収源対策の世界的な強化

### ■ 公有林化目標

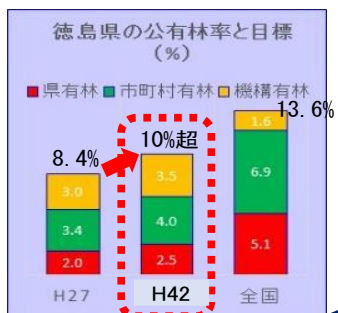
徳島県の公有林率

現在 目標

8.4% ⇒ 10%超

(26,490ha) (33,300ha)

※H29実績 27,232ha 8.7%



# 次代につなげる林業プロジェクトの推進

## 戦略目標

県産材の生産量 H27年度 32万m³ ⇒ H36年度 60万m³

【平成31年度当初予算額 827,900千円】

達成するために

主伐から造林、保育までの「森林サイクル」を整え、森林資源を循環利用  
川上から川下まで、需要に応じた安定的・効率的な県産材の供給体制を構築

### 素材生産

主伐時の全木集材と再造林の一貫施業、  
列状間伐等による素材生産を支援



### 木材加工流通施設

製材機械や高次加工用機械などの  
加工機械の整備への支援

高速化  
高度化



大ロット対応で  
国際競争力強化

### 路網整備

林業専用道、作業道等の路網を適切に  
組み合わせた路網ネットワークを整備

### 効率的施業

### コスト低減

路網配置に航空  
レーザ測量を活用



### 生産性向上

#### 高性能林業機械導入

タワーヤーダ等の主伐にも対応した  
高性能林業機械の購入・リース支援



徳島型搬出用  
機械の開発

主伐対応  
大型化

### 「新たな森林管理システム」 による施業区域の拡大

### 丸ごと利用

#### 木造公共・木質バイオマス

公共施設の木造・木質化、木質バイオ  
マスエネルギー利用の施設整備支援



### 需要拡大

#### 海外輸出

東アジアを中心に  
県産材の新たな需要を開拓



「県産材+大工技術」  
まるごと輸出



**県産材の安定供給体制を構築し、丸ごと利用することで林業の成長産業化実現へ！**

担当：林業戦略課

## 需要に応じた「徳島新たな米づくり対策」の展開

【平成31年度当初予算額 3,610千円】

- ・農業者の主体的な判断による生産へ移行  
(国による生産数量目標配分が廃止)
- ・担い手不足や高齢化の進行

- ・産地間競争の激化
- ・水田の不作付け地の増加



- ・地域の特色を生かした米づくりの推進
- ・規模拡大(農地集積)や超省力化技術の導入促進
- ・輸出用米や飼料用米等の本作化による水田の有効活用



### 競争に打ち勝つ！新たな米づくり展開事業

(1,710千円)

#### 新品種育成・「特A米」取得対策事業

#### 「阿波十割」魅力拡大加速化事業

#### 未来の農村を守る水稻大規模農家育成事業

##### 地域の特色を生かした米づくりの推進

- ①県産米オリジナル品種の育成
  - ・大粒で歯ごたえがあり、高温耐性をもつ新品種の開発
  - ・地域や用途に適応した有望品種の栽培実証
- ②「あきさかり」による「特A米」取得へ
  - ・プロジェクトチームによる産地毎の最適な栽培技術の検証、栽培技術のマニュアル化と普及



高温耐性品種「あきさかり」

H30年度の実績：11月に複数地域の食味評価を実施、(一財)日本穀物検定協会によるサンプル採取(3月結果発表)

- ①地酒ブランド「阿波十割」のPR展開
  - ・外国人を対象に「酒蔵巡り」
  - ・「阿波十割で乾杯」運動の展開
- ②農業者と酒蔵の連携強化
  - ・「一つの産地、一つの阿波十割」



##### H30年度の実績

- ・8事業者 22銘柄認定(H29~H30)
- ・ターンテーブル等首都圏での消費者交流などによるPR活動
- ・消費者対象の「酒蔵巡り」によるファン獲得(県内酒蔵:3カ所)



阿波十割ラインナップ

##### 規模拡大や超省力化技術の導入促進

- ①自動給水システムやドローンなどを活用した革新技術等のモデル実証
- ②導入メリットを農業者とともに実感してもらうための「実演研修会」の開催や、「経営モデル」の策定



自動給水システムWATARAS



ドローンによる防除

### 戦略作物(輸出用米, 飼料用米等)生産拡大支援事業

(1,900千円)

#### 輸出用米や飼料用米等の本作化による水田の有効

多収品種の特徴を活かせる「多肥栽培技術」等の実証・技術支援



多収による低コスト化の実現  
コシヒカリ(480kg/10a)に比べ200kg以上の収量増。輸出価格で比較すると当たり収益はコシヒカリを上回る!



輸出用米, 飼料用米の本作化  
・輸出用米の産地化  
・飼料用米の安定供給による地域内流通の定着



水田の有効活用



輸出用・業務用として期待される多収品種「ほしじるし」

**水田農業を軸に農家所得を向上!**

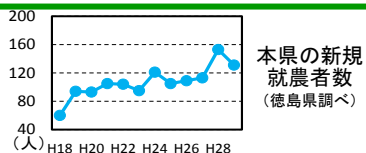
担当: 農林水産総合技術支援センター経営推進課

# 【新】次代を担う多様な農業人材の活躍を推進！

【平成31年度当初予算額 670,885千円】

## ■ 農業をとりまく環境の変化

- 新規就農者数の増加 ⇒ 定着に向けた支援が必要
- 担い手の減少と高齢化 ⇒ 労働力不足が顕著
- グローバル化の進展 ⇒ 経営力の強化が必要



## ■ 目指すべき姿

- 新規就農者やアクティブシニアが新たな担い手として活躍
- 外国人や障がい者等を雇用する経営体が増加
- 経営力の高い担い手が増加

## 「新規就農者」の確保・定着支援

### 次代を担う農業人材・経営体育成事業

事業費23,360千円

#### とくしま就農スタート研修

- ◆ 農業法人等が就農希望者を受け入れて実施する**技術習得研修**を支援

163名が研修し、134名(82%)が就農(H27~H29)

技術習得で  
円滑な就農を促進



農業法人での研修

#### 農業の魅力PR



- ◆ 本県農業や施策、青年農業者の取組等を就農支援サイトで紹介

就農情報を発信

← HP「農の宝島!とくしま」(経営推進課)

### 農業人材力強化総合支援事業

事業費453,525千円

- ◆ 就農前の研修期間の生活安定と就農後の経営確立に資する**農業次世代人材投資資金**を交付し、経営安定を支援

資金交付者383名(H24~H29)、H30.3末現在95%が定着

就農から定着  
までを一貫サポート

## 「意欲ある担い手」の経営力強化

### 規模拡大による「もうかる農業」サポート事業

事業費190,000千円

- ◆ 農地中間管理機構による担い手への農地集積の支援や、農地の貸し手への機構集積協力金の交付により、農地集積を推進

農地集積を加速

## 裾野を広げる「多様な人材」の育成

### 【新】徳島の農業人拡大応援事業

事業費4,000千円

#### 担い手の育成・強化

- ◆ あらゆる担い手と技術が交流する**徳島県農業担い手サミット**の開催
- ・指導農業者、認定農業者、新規就農者、女性グループ等、担い手自らの経営改善や地域農業の活性化を目指す



#### 外国人材の活用促進

- ◆ **外国人雇用**についてのセミナー開催
- ・農業者、団体の取組事例の紹介
- ・共に働く上での留意事項、法制度の紹介 など
- ◆ ニーズ、課題、先進地の取組みを調査 ⇒ **ギブ&テイク**の関係を!
- ◆ 多言語対応**FAQ**の作成

外国語はわからない！  
なじんでもらえるかな？  
費用、宿舎、トイレは？



農作業の  
動画も活用!

#### 農福連携の推進

- ◆ 障がい者と農業者の**マッチング促進**
- ・農業者等へ障がい者雇用の意向把握
- ・研修会により、障がいに対する理解促進



ほうれんそうの出荷調整作業研修会

#### アクティブシニアの参入促進

- ◆ **アクティブシニアのリカレント教育**の推進
- ・生産現場でのインターンシップ
- ・農業大学校アグリビジネススクールの活用促進



現地研修会の開催

多様な担い手が活躍する「発展性と魅力に満ちた地域農業」の実現!

担当：農林水産総合技術支援センター経営推進課

# 新 海部の“地から”魅力ある農業展開支援事業 ～「きゅうりタウン構想」から広がる海部農業セカンドステージの展開～

[平成31年度当初予算額 1,700千円]

## これまでの取り組み成果 (H27～H30年度)

- ◆ JA・町・県による推進体制「海部次世代園芸産地創生推進協議会」構築
- ◆ 特産品キュウリを核とした地域活性化策「きゅうりタウン構想」を推進

### ファーストステージの成果

### 見えてきた課題

**学ぶ場** **試す場** **伝える場**





24名の塾生受入れ    養液栽培の技術開発    SNSによる情報発信




塾修了生16名が  
営農を開始

全国初！1ha規模養液栽培  
キュウリ団地が完成

- 地域全体の活性化  
(他品目への横展開)
- 新規就農者の定着  
(栽培・経営のサポート)

## H31年度の取り組み内容

### セカンドステージ 展開

#### 1 キュウリに続く新たな海部活性化戦略の展開

- オクラ・ナノハナプロジェクトの推進
  - ・「オクラ・ナノハナ塾」の展開  
⇒農業が初めての方でも学べる座学を中心としたカリキュラム
  - ・新規就農者を対象とした「トレーニングファーム(実践ほ場)」の設置  
⇒ベテラン農家の隣接ほ場を確保した効率的な新規就農者育成

メインターゲットは  
「定年帰農者」



もうかる  
農業の実現！

- ・農業基礎知識の習得
- ・栽培体系を学ぶ
- ・レンタル資材による初期費用の軽減
- ・記帳に基づく管理の徹底及び技術指導
- ・自己資金での資材導入
- ・自立経営化

- ブロッコリー・ニンジン等の土地利用型農業の担い手を対象とした「海部農業リーディング塾」の開講
  - ・法人化に向けた講習会の開催



快適な作業環境

省力化技術

- 海部地域における農業版働き方改革の推進
  - ・女性目線での働き方の提案

#### 2 「きゅうりタウン構想」のさらなる進化

- IoT技術導入による先進農業モデルの構築
  - ・IoT技術に対応した技術確立と新規生産者ネットワークの実装
- 新規就農者の定着にむけたさらなるサポート体制の強化
  - ・「きゅうりヘルパー育成」のための「海部きゅうり塾」の体制強化

国補事業を  
活用！

栽培管理！

収穫！

出荷！



きゅうりヘルパー

繁忙期の労力補完体制の確立

- 「構想」を実現するための新たな情報発信
  - ・新技術情報収集・情報発信  
⇒全国野菜技術研究会への新規就農者の派遣
  - ・新拠点「Turn Table」を活用した「構想」のPR



## 海部総活躍による地域活性化



# 新 勝利を掴め！花まちプロジェクト2021

【平成31年度当初予算額 600千円】

## 【ケイトウ産地の現状】

- 全国第3位の生産量
- 担い手の高齢化や減少  
→ 生産量は最盛時の6割に減少
- 盆・彼岸の仏花需要で安定販売  
→ 需要が集中し、生産拡大に限界
- 取り組みやすいケイトウ栽培  
→ Uターンや新規就農者が増加



需要  
創出

## 花まちプロジェクト

～新たな需要の創出によるブランド産地強化～

産地  
強化

### 新たな需要の創出

2020東京オリパラや関西WM G2021などの国際スポーツ大会の開催を控え、盛り上がる花き業界と高まる産地への期待

この機会を捉え、スポーツにおける「完全燃焼」、「勝利の花」のイメージを発信し、**ビクトリーブーケ**として提案！

### ケイトウのアピールポイント！

- 希少な夏の花
- 和のイメージが強い
- 学名「セロシヤ」は燃焼を意味するギリシャ語に由来



### ① 新たなマッチアップの提案

- ケイトウの**イメージアップ戦略**の展開  
イメージアップに向けたプロモーション動画等の制作



ビクトリーブーケ

- 産地や花き業界と連携した**プロモーション活動**の展開  
トレードフェア(花の見本市)



- スポーツイベントにおける**ビクトリーブーケ**等の提供により「勝利の花」のイメージを発信



先行  
取組み

- ・カナードイツ代表キャンプ
- ・宍喰オープンウォータースイム

### ② 供給能力を高める産地の取組み

- 産地をリードする**フロントランナー**の育成  
⇒若手生産者グループ  
**「相花夢(あいかむ)」**の活動支援
- 移住就農フェア等での**セカンドキャリア**を求める人材の取り込み
- 産地の経営資源の再編、合理化  
第三者継承のマッチング、**共同選花機**の導入



「販路拡大と生産効率の向上」  
「花き産地の活性化」

担当：農林水産部

# ① 人を育み、稔りを生む 阿南・那賀モデル「農の里」づくり事業

## これまでの実績

- 住民主体の就農誘致モデルの育成  
⇒「加茂谷」の地域ぐるみの就農誘致
- 新規就農者確保の推進
- 「木頭ゆず」の6次産業化・輸出促進



武蔵野大学からの  
インターンシップ(加茂谷)



木頭ゆず  
GI登録

## 今後の方向性

【平成31年度当初予算額 1,800千円】

「加茂谷」や「丹生谷」の先駆的取組みの横展開

担い手確保

もうかる農業



「農の里」づくりで  
産地強化!



「農の里」先行モデル  
(チンゲンサイの里)  
加茂谷

ユズの里    ケイトウの里  
ミニトマトの里    ハウスダチの里

拡大

「農の里」とは…産地や地域住民が主体となり「担い手確保」と「もうかる農業」を実践する地域

## 平成31年度の取組み内容

### 「農の里」づくりの広域展開

阿南市、那賀町、JA、農地中間管理機構  
広域的な支援組織の構築

#### ① 「農の里」を目指す各産地のプラン策定支援

- ・各部会等の実態把握・課題抽出
- ・課題解決の具体的戦略検討



「農の里」の候補

H31:「ユズの里」    H32:「ケイトウの里」  
H33:「ミニトマトの里」    H34:「ハウスダチの里」

#### ② 「農の里」を担う人材の育成

- ・地域の「核」となる人材育成
- ・「農の里」へ人を呼び込むPR活動支援
- ・短期農業体験ツアー開催



#### ③ 「農の里」の新規就農者定着の支援

- ・「けんなんニューファーマー育成講座」の充実
- ・JA研修ハウス等を活用した実践研修
- ・複合経営モデルの実証



### 「担い手確保」プラスワン! もうかる「農の里」のモデル育成

#### ④ 新たな人を呼び込むビジネスモデルの創出

- ・起業化に向けた研修、個別相談会の開催
- ・事業計画作成のサポート



「丹生谷型農業」のビジネスモデル

- ☆ユズ栽培+花き栽培または晩茶製造+6次化商品製造販売
- ☆ユズ栽培+農家民宿(民泊)で起業

若手生産者グループを  
地域の核に!

#### ⑤ 「ユズの里」の核となる人材の販売力強化

- ・「木頭ゆず」GIマークを活用した販売促進活動
- ・都市部での食品見本市や商談会などPR実施
- ・既存商品のブラッシュアップ



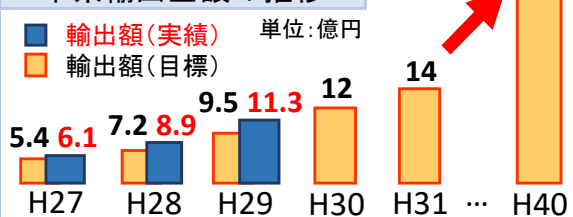
「売る力」と「呼び込む力」のスキルアップ!

## 阿南・那賀総活躍による地域活性化

# 新 「とくしま農林水産物等海外輸出戦略」 推進事業

【平成31年度当初予算額 69,000千円】

## 本県輸出金額の推移



## 目標達成に向けた取組

1. 販売ルートを「より太い幹」へ！
2. 大胆な発想と知恵で「新たな市場」にチャレンジ！
3. 新たな「物流ルート」を構築！
4. 海外市場の開拓に取り組む「多様な主体」を育む！
5. 相手国の輸入規制をクリアする「輸出型園地」を育成！

## 刻々と変化する世界情勢への対応

- TPP11及び日EU・EPA等経済のグローバル化
- 拡大を続けるハラル市場
- 国際スポーツ大会等の機会を捉えた日本食文化の発信
- 拡大するインバウンド需要



## 重点市場における取引量の拡大

### 輸出に取り組む生産者のサポート

- 農畜水産物海外輸出ネットワーク構築事業 (1,500千円)  
生産者や事業者からの相談にワンストップで対応！
- とくしま輸出バリューチェーン構築強化事業 (6,000千円)  
きめ細やかな支援で生産者や事業者のニーズに対応！



### 海外マーケティングの実施

- とくしまブランド海外プロモーション事業 (6,100千円)  
東南アジア向け「なると金時」等の輸出拡大！
- とくしまの花満開！花き輸出拡大事業 (3,335千円)  
アメリカ(切花)、香港(シンビジウム鉢物)で市場開拓！



### ミドル層・業務需要の獲得

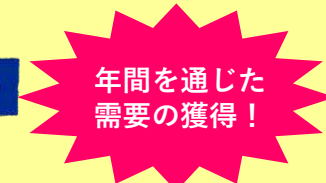
- 成長するASIAを拓け！「輸出ハイウェイ」展開事業 (13,000千円)  
成長市場で富裕層に次ぐ購買層や業務需要を獲得！
- 「食」がおりなす6次化産品海外展開事業 (2,380千円)  
「とくしまブランド海外協力店」における県産食材の活用を提案！



## 新たな市場の開拓

### <EU市場> 「とくしま三大香酸かんきつ」の需要拡大

- GIを活用！EU「とくしま三大香酸かんきつ」需要拡大事業 (20,000千円)
- (1) GI「木頭ゆず」「徳島すだち(申請予定)」と、「ゆこう」をリーディングブランドに育成！
- (2) インポーターとカスタマーを同時招へいした「産地ツアー＆商談会」で売り込み！
- (3) EU向け小口輸送システム「YUSAN(ユサン)」の実証！

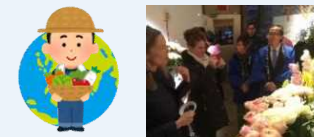


- “稼ぎ頭”海外展開事業 (2,200千円)  
ターゲット市場での「コメ、酒類」の輸出拡大！
- 「欧米」攻略・輸出チャレンジ事業 (1,555千円)  
新規有望市場(イギリス・カナダ)でのマーケットリサーチとテスト輸出！



## 輸出に取り組む人材の育成

- 世界の荒波「武者修行」事業 (3,300千円)  
海外展開を目指す意欲ある事業者を発掘・支援！



## 物流上の技術的課題の解決

- 徳島県産海外コールドチェーン構築事業 (2,850千円)  
CAコンテナ等によるEU向け海上輸送・鮮度保持技術等の確立！



## 輸出型園地の育成

- 検疫クリア！輸出型園地「倍増」事業 (6,780千円)  
「植物検疫」、「残留農薬基準」を突破！輸出型産地の拡大！



戦略的な事業展開で県産農林水産物等の輸出をさらに促進！

担当：もうかるブランド推進課

# 「安全・安心な本県畜産物」の海外展開を加速

【平成31年度当初予算額 7,600千円】

## 事業目的

「TPP」など「経済のグローバル化」が加速する中、本県畜産物が海外畜産物との競争に打ち勝つため、「海外輸出に向けた取組み」や「家畜衛生対策」を強化することにより、海外展開を加速。

## 事業背景

- ・ TPP:平成30年12月30日発効、日EU・EPA:平成31年2月1日発効予定
- ・ 本県畜産物への影響⇒TPP(5.6億円～12.1億円)、日EU・EPA(2.6億円～5.3億円)
- ・ 「とくしま畜産成長戦略」改訂(平成30年3月):推進目標「畜産物の輸出量 54トン(2017)⇒108トン(2020)」



## 事業の概要

### 新「とくしま畜産」海外展開促進事業

#### ○輸出相手国に照準を合わせた「県産畜産物」提供支援

- ・ 輸出促進研修会開催(生産者、畜産関係者対象)
- ・ 輸出用「阿波尾鶏」の品質保持技術の開発



冷凍・解凍技術の向上

香港、台湾  
そしてEUへ!

#### ○衛生対策等の強化

- ・ 輸出の障壁となる「牛白血病」等伝染病の発生リスク低減
- ・ 「生産性阻害疾病」(肺炎等)の制御による肉質向上
- ・ 全国に先駆けた「ハラール専用施設」の活用促進

マレーシア

和牛輸出において、本県が  
全国をリード!



タイ

インドネシア

台湾

マカオ

### “一歩先行く阿波の畜産”GAP&HACCPチャレンジ加速事業

#### ○「GAP&HACCP」認証取得支援

- ・ 生産者への指導の強化
- ・ 海外市場で認められる供給体制の整備



GAP & HACCP 認証取得農場で生産

- ハラール & HACCP 認証食鳥処理場で加工
- GI登録で阿波尾鶏をアピール

推進事例

#### ○「海外展開チャレンジャー」支援

- ・ 食材提供業者や外資系企業等へPR
- ・ ホストタウン対象国へのPR



「阿波ふうどおもてなし協議会」と連携し効果的に支援

「2020東京オリ・パラ」以降につながる海外展開を加速

## 事業効果

海外市場を視野に入れた「足腰の強い『もうかる畜産業』」の確立

担当:畜産振興課

# 大都市圏・海外に向けた「徳島すぎ」需要拡大戦略

【平成31年度当初予算額 24,700千円】

現 状

大都市圏・海外を中心に木材需要が本格化

展 開

新たな需要創出に向け  
さらなる県産材需要拡大のチャンスをつる活用

2015  
新次元林業  
プロジェクト

2019  
ラグビー  
ワールドカップ

2020  
東京2020  
オリ・パラ

2021  
関西ワールドマ  
スターズゲーム

2025  
大阪・関西万博

信頼性

## 認証取得支援

JAS認証取得を支援  
(製品の品質・性能保証)



公共物件・非住宅物件へ幅広い県産材利用を推進

連携

## 大消費地販売促進

大都市(東京・名古屋など)における  
展示会出展・「徳島すぎ」のPR活動の実施



大消費地の自治体や企業との連携推進

販売促進

## エージェント活動

エージェントによる大都市圏での  
県産材販売促進活動の展開・マッチング



新たな県産材需要拡大／「徳島すぎ」販売営業力のスキルアップ

魅せる

## オリ・パラ利用

「選手村ビレッジプラザ」への県産材製品供給  
2018 丸太調達・製材  
2019 プレカット・運搬  
2020 本番利用



2019  
県産材いよいよ  
オリ・パラ会場へ

東京2020オリ・パラのレガシー創出

海外開拓

## 海外輸出促進

- 韓国・台湾はじめ東アジアに向けて
- 県産材ショールームを活用した人材・技術交流
- 各国ニーズに応じた輸出支援
- エージェント活動による販売ネットワークの拡大
- 輸出体制構築に向けたビジネスマッチングの実施



徳島ならではの  
県産材+大工技術  
まるごと輸出

海外との継続した人材・技術交流／県産材輸出の着実な推進

### 東京2020オリ・パラ「後」を見据えた「徳島すぎ」需要拡大戦略の展開

担当: 林業戦略課

# 新 次世代“光”産業創生事業

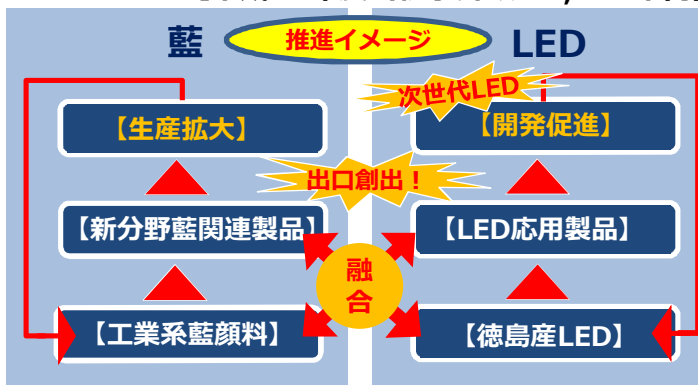
【平成31年度当初予算額 44,000千円】

## 目的

県内LED・藍関連産業の振興と次世代“光”産業の創出を図るため、本県が誇る2つのブルー「藍」や「LED」を活用した製品開発と首都圏、世界に向けた販路開拓の支援等に取り組み、「藍・LEDと言えば徳島！」を広く発信する。

## 課題

- 「藍・LED」応用製品の国内外市場の販路開拓
- 次世代LED応用製品の開発
- 「藍・LED発祥の地＝徳島」の認知度向上



## 開発

### ■ デザイナー等を活用した製品開発

・海外市場に向け、藍・LEDなどを活用したデザイン性の高い徳島ならではの製品開発を加速

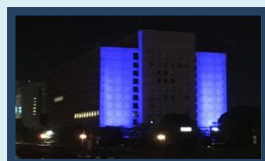


デザイナーと共同開発した製品

## 発信

### ■ 「藍・LEDと言えば徳島！」を発信

・2つのブルー「藍」と「LED」のポータルサイトなどによる魅力発信



## 販路開拓

### ◆◆ 首都圏向け販路開拓 ◆◆

#### ■ 東京常設展示場(新宿)の運営

- ・首都圏の販路開拓拠点として、県内企業の営業力強化、新事業展開を支援
- ・次世代LEDに関する研究成果のPR、応用製品など展示内容を充実



東京常設展示場

#### ■ マッチングツアーの開催

- ・常設展示場の来場者など首都圏の企業担当者を本県に招待
- ・関連企業訪問、交流会の実施等による新たな販路の開拓



### ◆◆ 海外向け販路開拓 ◆◆

#### ■ 海外大規模展示会への出展

- ・工業製品・生活用品分野で世界的な情報発信地である欧州エリアの展示会に藍やLEDの関連製品等を出展
- ・県内企業の海外での販路拡大を支援し、藍・LED関連製品を世界に発信



徳島県ブース (メゾン・エ・オブジェ・パリ)

連続出展!

## 事業効果

- 国内外企業との商談・ビジネスマッチングの創出による売上げの増加
- 東京オリパラ以降を見据えたLEDや藍のブランディング

## 次世代“光”産業の創出

- 地場産業の活性化及び雇用の創出

担当：新未来産業課、工業技術センター

# 地方大学・地域産業創生事業

【平成31年度当初予算額 1,370,000千円】

## 国交付金事業 【1,170,000千円】

### 光応用専門人材の育成

★魅力あふれる大学づくりで徳島に若者を呼び込む！

#### 「ポストLEDフォトニクス」研究の推進

- ▶ 「**ポストLEDフォトニクス研究所**」において光科学に関する**トップレベル研究者**を招へいし、**光源開発・応用研究**を実施



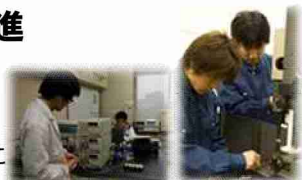
【ポストLEDフォトニクス研究所】

【ポストLEDの種類と応用例】

- 深紫外 （各種殺菌や医療応用等が期待される）
- テラヘルツ （非破壊検査への応用等が期待される）
- 赤外光コム （物質計測・分析への応用等が期待される）

#### 「光応用専門人材育成プログラム」の推進

- ▶ 医学と光科学の両方の知識と技術を有する**「医光融合プロフェッショナル人材」**の育成
- ▶ LED製造技術教育や企業のニーズを踏まえた**リカレント教育**等を実施



【光応用専門人材の育成】

企業が求める  
即戦力人材

### 光関連産業の振興

★次世代LED応用製品の開発！

#### 産学官連携による「社会実装支援」の推進

- ▶ 徳島大学の「**地域協働技術センター**」及び県立工業技術センター内の研究機器を**民間企業に開放**し、**産学官が連携した共同研究・製品開発**を実施
- ▶ 新たな光応用製品・技術を**社会実装・市場拡大**



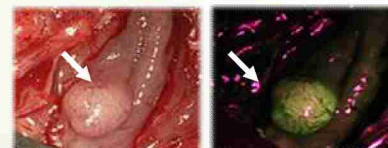
【光応用製品の共同研究・製品開発】



【製品展示会への出展】

#### 「光応用研究」の推進

- ▶ 特殊光を用いた**癌の新しい内視鏡診断**と**光治療法**を開発



【特殊光により患部を特定する光治療へ応用】

産業活性化による  
雇用創出

## 県独自補助制度 【200,000千円】

- ▶ 国交付金事業の**効果をより一層高める**ため、光を軸とした人材育成や産業振興に関して、**先進的な取組みについて支援**

★LEDの新たな可能性にチャレンジ！



「しごと」が「ひと」を呼び

「ひと」が「しごと」を呼び込む

**好循環を確立！！**

# 次世代の光が導く若者の「とくしま回帰」を実現

担当：広域行政課

# 徳島県中小企業向け融資制度

【平成31年度当初予算額 17,831,000千円】

経営基盤の安定化と成長力の強化を図り、持続可能な経済成長を牽引！

## 「消費税増税対策」の支援

### ● 融資限度額の引き上げ

「短期事業資金」の融資限度額を  
1,500万円に拡大

融資限度額	③⑩ 1,000万円
	↓
	③⑪ 1,500万円

一時的な資金の  
必要な方へ！

### ● 保証料率の引き下げ

「小口資金」の保証料率を  
最大0.1%引き下げ

保証料率	③⑩ 0.30%~1.25%
	↓
	③⑪ 0.30%~1.15%

小規模企業者の  
方へ！

## 企業のライフステージに応じたきめ細やかな金融支援

## 「起業・創業」の推進

### ● 市町村との連携拡大

「創業者無担保資金」利用者への  
保証料補助実施市町村を拡大

鳴門市・小松島市・阿波市・  
美馬市・三好市に加え、  
阿南市との連携開始！

保証料  
0%

起業・創業を  
行う方へ！

## 「徳島の強み」を活かした地域経済の発展

### 新「地域資源産業応援資金」の創設

とくしま経済飛躍ファンド  
(地域資源産業応援枠) 採択  
企業を対象に保証料0%

融資限度額	2,000万円
融資期間	運転7年,設備10年
融資利率	1.70%以内
保証料率	0.00%

保証料  
0%

地域に根ざす  
取組みを行う  
方へ！

進化する「力強い徳島経済」の実現！

担当：商工政策課



# 「多様な人材」の還流・発掘による本県経済の活性化

○プロフェッショナル人材戦略拠点事業【平成31年度当初予算額30,000千円】 ○プロフェッショナル人材確保支援費【平成31年度当初予算額9,000千円】  
○おかえり！とくしま支援事業【平成31年度当初予算額9,000千円】 ○すだちくんハローワーク運営事業【平成31年度当初予算額15,800千円】

## 現状と課題

加速する東京一極集中、地方の人手不足対策

## 2019年度の取組み

還流と発掘による新たな人材の確保に向けた取組みの強化

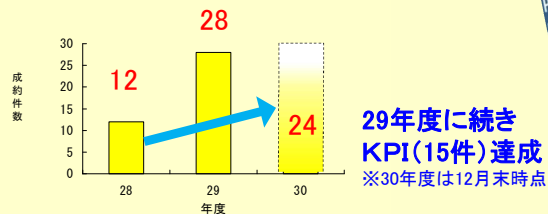
### プロフェッショナル人材

#### プロフェッショナル人材戦略拠点事業

- 企業の成長戦略を具現化する「プロフェッショナル人材」のコーディネート拠点の運営

#### プロフェッショナル人材確保支援費

- 県内中小企業等が「プロフェッショナル人材」を新規雇用する際に負担する給与等の一部を補助



首都圏等からのプロフェッショナル人材の獲得

企業の経営革新と働き方改革を促進

### 若年者・新規学卒者

#### おかえり！とくしま支援事業

- 県外大学との連携強化
- 「就職情報ハンドブック」による県内企業情報提供
- 県内企業のPR力アップセミナーの開催

UIターン就職の促進



### 技能・技術者

#### すだちくんハローワーク運営事業

- 「製造業」を中心とした人材の確保
- 「提案型マッチング」「伴走型支援」による就職・定着支援
- 県立テクノスクール、県立農業大学校、定時制高校等での就職相談会の開催

受付時間延長

平成30年度から  
毎週火曜日・金曜日に開庁時間を  
2時間延長(午後7時まで)

「働きながら」の就職活動を支援

県版ハローワーク「ならでは」の  
支援による地元就職・定着促進

## 「多様な人材」が活躍する活力ある徳島の実現

# 徳島県PPP/PFIプラットフォーム事業

【平成31年度当初予算額 1,000千円】

## 現状

・ 県内企業はPPP/PFI参画に消極的

県外大手だけが対象なのかな...

「PFIって難しそう」

## 課題

- ① ノウハウ・人材の不足
- ② 他業種との交流の不足
- ③ 情報交換の不足

## 課題解決への方向

- ① ノウハウ習得・案件形成能力向上による人材育成
- ② 異業種間ネットワークの構築
- ③ 情報発信・官民対話



県内企業の参画促進に向けた戦略的取組み！

### H30年度

内閣府の支援を受け

#### プラットフォームの設立

#### 普及・啓発／参画意欲の醸成

- ◆ 基礎的勉強会
- ◆ 企画提案力向上のためのセミナー
- ◆ 異業種間ネットワークの構築
- ◆ 市場調査の試行

※H30年度 セミナーを3回実施



2018.10.31 第1回セミナー(徳島会場)

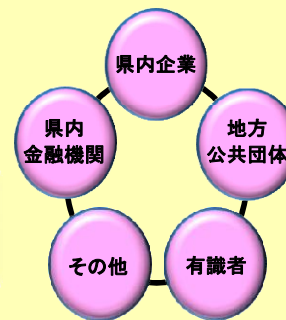
### H31年度

ステップアップ！

#### さらなる理解の深化と競争力の強化

#### 競争力の強化／具体の案件形成

- ◆ 実務知識の習得
- ◆ 成功事例研究
- ◆ 具体案件の官民対話
- ◆ 民間提案の試行
- ◆ 情報交換や相談



プレゼンで勝ちたい！

行政にない発想で街づくりに貢献したい！

独自のアイデアを活用してほしい！

誰に相談すれば？

地域の実態に応じたPPP/PFIの推進と定着

県内企業  
積極的な参画  
競争力の強化  
他県での事業展開  
事業機会の創出

守りから攻めの企業へ

#### 徳島県版PPPの実現へ！

- 民間提案の既存ストック活用
- 官民複合施設の整備 など

#### 効果

- ・ にぎわい創出
- ・ 地区整備



県内企業によるPPP/PFI事業で地域経済好循環の拡大！！！！

担当：管財課施設最適化室

# 戦略的企業誘致による「しごと」と「人材」の創出

○企業立地促進事業費補助金 【平成31年度当初予算額1,301,000千円】

○情報通信関連事業立地促進費補助金 【平成31年度当初予算額 150,000千円】

○戦略的企業誘致強化事業 【平成31年度当初予算額10,100千円】

## 目的

地方創生に向けたとくしま回帰を実現するため、戦略的な企業誘致による「しごと」の創出や、都市部のUIターン希望者等と企業のマッチングを通じた「人材」の創出を促し、地域経済の活性化及び雇用の確保を図る。

## 背景

### 地方創生の本格化

#### 東京一極集中の是正

・徳島ならではの企業の集積促進

#### 地域未来投資促進法の運用

・県内経済の活性化に寄与する企業(地域未来牽引企業)の支援

#### 第4次産業革命の加速

・AI、ビッグデータ等最先端技術を活用した事業を展開する企業の立地

### 立地に向けたニーズ

#### 人手不足の深刻化

・地方における人材確保への期待  
・第4次産業革命への対応による優秀なIT人材の確保

#### 働き方改革への対応

・生活スタイルの多様化による移住希望の増加

## 事業概要

### 本県の強みを活かした成長産業と人材の更なる集積促進

#### 企業ニーズに応じた全国トップクラスの支援制度の展開

##### ■情報通信関連事業立地促進費補助金

##### ■企業立地促進事業費補助金

○コールセンター、データセンター、IT企業向けに

・雇用助成**70万円**(AI関連技術者は**100万円**) ・賃料、回線料など立地後**5年間**助成

○**サテライトオフィス等小規模事業所**向けに、賃料、リース、回線料、雇用に対する助成

○製造業(ものづくり産業)に対し、**最大15億円**助成 ・企業の**新設、増設**に応じて適切に支援



柔軟に制度を見直す**オーダーメイド型企業立地優遇制度**を活用し、県内外企業の立地を促進!

#### 本県の魅力や強みの更なる情報発信

##### ■戦略的企業誘致強化事業

##### 全国企業立地フェア2019への出展

・本県の立地支援制度、企業用地、サテライトオフィスプロジェクトのPR

東京ビッグサイトに**民間企業の担当者約3,000名**が来場予定

参加企業への**積極的な会社訪問によるフォローアップ活動**を展開!

### 最先端人材の呼び込みによる企業と人材の好循環

##### ■戦略的企業誘致強化事業

##### IT人材と企業とのマッチング促進

・**詳細かつ最新の企業・求人情報**の発信

・地元人材会社による**きめ細やかな就職サポート**



「徳島 IT企業」でのWeb検索で**トップ表示**

## 効果

企業立地の促進、雇用創出、移住者の増、地域経済の活性化

とくしま回帰「地方創生」の実現!

担当:企業支援課



# 新 とくしま「健幸」イノベーション創出促進事業

【平成31年度当初予算額 53,000千円】

## とくしま「健幸」イノベーション構想

「徳島 健康・医療クラスター構想」の成果を踏まえ、26年度から推進

産学金官  
連携

- 糖尿病の予防・診断・治療に係る研究開発
- 研究成果の事業化
- 健康増進施策の推進

- 糖尿病克服による「健康長寿社会の実現」
- 健康・医療関連産業の創出による「地域経済の活性化」

世界レベルの  
糖尿病臨床研究開発  
拠点の形成



事業の  
概要

- ・ 本県独自の「コホート研究」による糖尿病発症の機序解明を引き続き進めるとともに、これまでの成果を県民へ普及
- ・ 糖尿病研究開発成果の事業化・社会実装を推進し、健康・医療関連産業の創出・集積を促進

更なる構想の推進

1,400人  
規模

## 「コホート研究」の推進

取組内容

- ◇ 糖尿病克服の基盤研究
  - ・ 発症メカニズムの解明 (食習慣・生活習慣等の解析)

これまでの成果

- ◇ メタボ発症項目の「人間ドック検診メニュー化」
- ◇ 食事パターンスコアの構築

平成31年度取組み

- 徳島大学病院・糖尿病対策センターへ研究支援
- ◆ 蓄積データ解析の高度化
- ◆ メタボ予防検診実施機関の拡大
- ◆ 研究成果の活用
  - ・ セミナー等による県民への普及啓発
  - ・ 健康増進施策への反映



## 糖尿病研究開発成果の社会実装の推進

研究開発成果

- ◇ 「糖尿病検診サービス」開発
- ◇ 県産香酸柑橘類(すだち・ゆこう等)の機能性発見
- ◇ 魚油由来脂肪酸の機能性発見
- ◇ 食事療法・運動療法の開発 等

平成31年度取組み

次世代ヘルスケア産業の創出

- 成果の事業化・社会実装を促進
- ◆ 生活習慣改善サービスの事業化
- ◆ 県内企業の機能性表示食品事業への参入 等

とくしま健康寿命延伸  
産業創出プラットフォーム



医療観光の推進

- ◆ 医療関係者を含めた推進体制の構築
- ◆ 受入医療機関の拡大とサービス環境の向上



## 糖尿病研究開発イノベーションの創出による地域経済の活性化

担当: 新未来産業課

# 新 徳島版マイスター制度ステップアップ事業

## 現状と課題

- ◆ 少子化、若い世代のものづくり離れによる**技能者の不足**
- ◆ 技能者の高齢化の進行による**技能の維持・継承の危惧**
- ◆ **高度化・複雑化する技能への対応**

## 事業の概要

【平成31年度当初予算額 15,000千円】

年代に応じて技能に触れる機会を提供することで、**技能尊重機運の醸成**を図り、**産業界のニーズに対応した職業能力の開発**や**高度な技能の習得を支援**

## 段階的な能力開発・リカレント訓練による「マイスター」の育成

### 技能の魅力「情報発信」

- 新** ① 名工の技に触れる見学ツアー  
小中学生が**阿波の名工等の工房を見学**し、  
技能の素晴らしさや面白さを体験
- ② 技能フェアの拡充、技能士派遣  
**職業能力開発協会等との連携**により実施
- ③ テクノスクールでの職業体験、  
親子ものづくり体験教室



気づき

### 未来を担うものづくり人材の「育成」

- 新** ① ヤングマイスター育成実践事業  
工業系高校生を対象に、**優れた民間技能者と教師が連携したチームティーチング**や、**生産現場体験**を実施
- 拡** ② ドイツ相互交流強化事業  
**新たに企業での職業訓練を導入**、**相互交流の充実によるプログラムの強化**を図り  
国際感覚を持った技能者を育成
- ③ 若年者技能競技大会



新たな学び



### 技能者の「能力向上」

- 拡** ① ものづくり人材技能向上支援事業  
優秀な技能士の**新技術や上位の資格の習得**にむけた**在職者訓練**や**全国的な大会を目指す実践的な研修や訓練**を支援
- ② 技能五輪等出場選手育成強化事業  
「**技能五輪全国大会**」出場選手の**参加や選手訓練**等を支援
- ③ 各種表彰事業  
・阿波の名工  
・阿波のヤングマイスター

技能強化  
普及啓発

## 求職者(子育て中の女性、移住者、高齢者、障がい者、外国人等)を対象としたリカレント訓練

【民間を活用した委託訓練事業】※県が民間教育訓練機関に委託して職業能力の開発機会を提供

- ① **子育て中の女性、移住者、高齢者**を対象に**ITや医療事務等の技能取得訓練**を実施
- ② **介護福祉士やドクターズクラーク**等の**資格取得に向けた訓練**を実施
- ③ 障がいのある通所困難な方には**eラーニングによる職業訓練**を実施
- ④ **定住外国人向け**に**日本語能力や就業スキル等の技能習得訓練**を実施

学び直し



## 徳島の産業を支える技能人材を育成・確保

担 当：産業人材育成センター

# 柔軟な働き方「テレワークするんじょ！」事業

【平成31年度当初予算額 23,000千円】

## 現状・課題

- ◆ 少子高齢化による労働力人口の減少
- ◆ 子育て、介護や病気療養を理由とする離職によるキャリアの中断



### 働き方改革の切り札「テレワーク」

## 「テレワーク活用ネットワーク会議」委員の意見

- ◆ ICT人材が不足している
- ◆ 企業の意識改革が重要である
- ◆ 効率的な雇用型を持続すべき



さらなる加速

## テレワーク導入促進事業

### テレワーク実装化に向けた企業のチャレンジ支援

- ・ 企業訪問相談による雇用型テレワークの促進（導入支援、アウトソーシング紹介）
- ・ テレワーク導入企業マッチングイベントの開催
- ・ 企業向けセミナー（出前講座）の実施

サテライトオフィス

在宅勤務



県内企業の「働き方改革」を後押し



### テレワークの普及啓発

- ・ テレワーク体験コーナーの拡充
- ・ テレワークの場（コワーキングスペース）の提供
- ・ 県内地域団体との普及啓発の連携



「テレワークセンター徳島」の運営強化

## ICTウーマン養成事業

### 分野別・レベル別スキルアップ研修会の開催

専門的、実践的なICT人材を養成

- ・ レポートリング
- ・ デザイン・イラスト制作 等

企業からの参加も受入



### テレワークコーディネーターの養成

ICTウーマンのフォローアップ  
ガイドラインに準拠した「自営型テレワーク」をサポート



### 実践事例発表・ワークショップの開催

多様な人材交流の場を創出  
多様な人材交流による自律的なキャリア形成を応援

とくしまフューチャーアカデミーと連携



## とくしま発「テレワーク」で「多様で柔軟な働き方」を実現！

担当：労働雇用戦略課

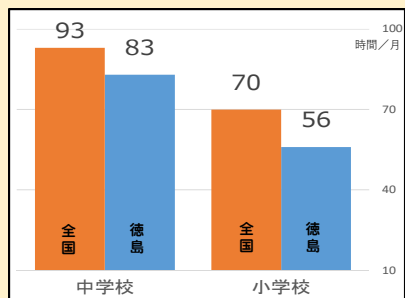
# 新 学校業務支援システム構築・運営事業

【平成31年度当初予算額 86,460千円】

## ◆現状と課題

- 校務や保護者対応など、**教員の多忙化**が表面化
- 月80時間を超える時間外勤務**を行う教員が多数存在

⇒学校現場における業務改善が求められる中、**早急な対応としてICTの活用が不可欠**  
(県立高校では、H26からシステム導入済み)



(H29徳島県公立小中教員時間外勤務状況調査との比較)

## ◆県・市町村の連携（全市町村参加のもと合意形成）

- 県・市町村教育委員会情報化推進連絡協議会の設置
  - ・**県下統一した小中学校「統合型校務支援システム」**、電子メール等の機能を有する**「グループウェア」**の導入を決定
- 統合型校務支援システムワーキンググループの設置
  - ・**全市町村の公立小中学校教員が参画**
  - ・仕様等の決定に当たり、**現場の声を反映**

## ◆学校業務支援システムの概要

### 統合型校務支援システム

#### 「主な機能」

- ・学籍管理
- ・成績管理
- ・指導要録管理
- ・出欠管理
- ・通知表管理
- ・保健管理 など

◎児童生徒情報を一元的に集約・管理  
⇒**ワンソース・ワンマスタ**で業務改善を推進！

### グループウェア

#### 「主な機能」

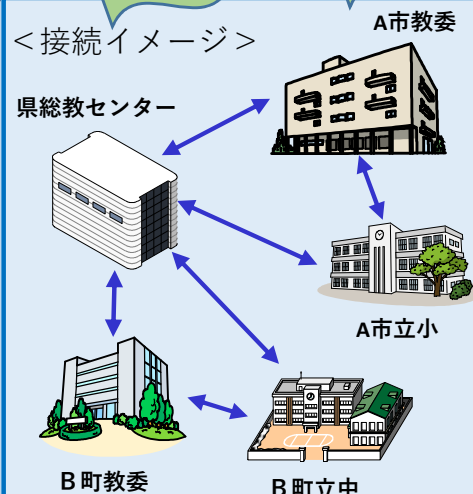
- ・電子メール
- ・掲示板
- ・出退勤記録
- ・スケジューラー
- ・緊急連絡システム
- ・回覧板 など

◎県・市町村・学校単位で情報共有  
⇒**全県下の情報共有体制構築**で校務効率化を実現！  
保護者に対し、各種情報を**リアルタイム発信**！

県立システムの  
カスタマイズで  
調達コストの  
大幅な圧縮！

県サーバでの  
データ一元管理  
で**強固なセキュリティ体制**！

**教員1人あたり  
年間224時間**  
の削減効果も！  
(文科省)



2019年度から2カ年で構築  
**2021年度本稼働**（予定）

教育力の向上と持続可能な学校づくりを目指して

## 教育力の更なる向上

- 県下統一のシステムで**異動後直ちに業務継続**
- 教材研究や児童生徒と向き合う時間の確保**



## 保護者との連携強化

- 臨時休校情報の発信**
- P T Aや地域行事の日程周知・出欠確認
- 災害発生時の安否確認**



## 蓄積データの活用

- 教育課題の可視化**  
⇒**全公立小中高を通じたデータ分析**による徳島ならではの教育の実践！
- 学習履歴等の分析**  
⇒個に応じたきめ細やかな指導



担当：教育政策課、総合教育センター



# 新 シームレスなスマート会計実装事業

【平成31年度当初予算額 12,250千円】

## これまでの取組み(～30年度)

### ◆ RPAを活用した会計事務の自動化実証

資金安定供給・会計事務効率化検討チーム(タスクフォース)



各部局と連携

(第1回)RPA概要説明会



(第4回)RPA操作研修

目標:PC作業時間の9割減

4業務21シナリオで  
RPA効果測定  
(昨年末中間報告)

パソコン作業時間の  
92.2%を削減

### ◆ 大規模災害時における資金の安定供給

- ・「大規模災害時資金安定供給連携協議会」の設置
- ・総合防災訓練において資金安定供給訓練を実施
- ・相談の手引きを作成し、訓練で活用
- ・AIによる資金コンシェルジュ(FAQ)の構築



市町村・関係団体・各部局と連携

資金安定供給連携協議会



資金安定供給訓練



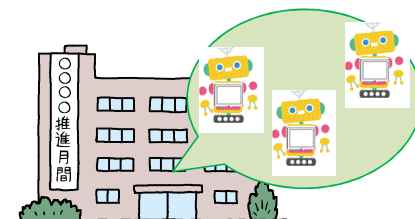
相談窓口

災害時における円滑な  
資金供給体制

## 最新技術を活用し、シームレスな会計事務を展開

### ◆ RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)の本格実装

- ・実証事業において作成したシナリオを**全庁へ展開**
- ・会計事務はもとより密接不可分な総務事務等への波及効果が期待
- ・**災害時の支出事務**にもRPAを活用することで迅速な対応が可能
- ・RPAを効果的に活用するため、**シナリオ作成専門研修の実施**



パソコン作業をロボットが代行

実証事業の成果を  
全庁へ波及

### ◆ AIコンシェルジュ(FAQ)の本格実装

- ・発災時においても、**WEB上でいつでもどこでも**被災者の資金面での相談に対応
- ・資金の給付、融資、減免、債務整理など豊富な支援メニュー
- ・協議会や訓練での成果を踏まえて、**回答精度の更なる向上**



AIコンシェルジュが  
24時間対応

被災者の円滑な生活再建を側面的に支援  
AI・RPAの活用による「働き方改革」の実現

# 新にし阿波型ワーケーション強化発信事業

## 事業の目的

【平成31年度当初予算額7,000千円】

全国的なSO誘致合戦が激化する中、「トップランナー」としての地位を守り地方創生を実現していくため、『ワーケーション (work+vacation) を核としたプロモーション活動』と『国内外の人・モノ・情報を呼び込む魅力的な地域づくり』を推進し、「海外企業等」のSO誘致を目指す。

## にし阿波の武器(強み・魅力)

- I 日本で唯一の「食・農・観光」のトリプル認定地域
- II SOをはじめ、国内外から多様で多才な人材が来訪し、地域と交流
- III 2市2町や関係団体、地元企業等と連携した広域的・重層的な受入れ環境

プラットフォーム にし阿波SO推進プロジェクトチーム (構成: 県民局、4市町、その郷、SO進出企業、地元企業等)



海外をターゲットに「にし阿波ならではの！の強みと魅力」を強化・発信

## 事業の概要

### 「Workation」を核としたプロモーション活動

- 「WORK+VACATION」関連情報の発信力強化
  - ⇒テレワーク拠点等の最新情報を多言語化し、地域内外に向けて「にし阿波の進化」を訴求
  - ⇒外国人材を活用したSNSツール (facebook、youtubeなど) の多言語化推進
- 海外向けプロモーション活動の強化
  - ⇒これまで積み上げてきたネットワークの拡大強化 (ドイツ・台湾)
  - ⇒海外「にし阿波ファン」を新規開拓する 現地在住プロモーターの配置 (欧米・アジア)
  - ⇒関係機関と連携したPR活動 (JNTO、JETROなど)



### 外国人・企業等を惹き付ける環境づくりの推進

- コワーキングスペース等の集客力強化
  - ⇒地域事業者向けセミナーの開催 (多言語対応、サービス向上支援 等)
- 魅力的なビジネスフィールドづくりの推進
  - ⇒地元事業者と外国人事業者とのマッチング促進 (例) 地域特産品パッケージの多言語化など
  - ⇒地域の特色を活かした新ビジネス創出支援
- 「住んで良し！にし阿波」の環境整備
  - ⇒生活環境やしごとに関する情報の多言語化
  - ⇒地元事業者等と連携した外国人の起業・就労支援
  - ⇒「外国人材」を活用した相談・視察ツアー等 受入れ体制の充実強化



「世界からの新しい人の流れ」を創出し、「一歩先の地域の未来」を県民に実感

担当: 地域創生部

# 二地域居住を加速する「デュアルスクール」実証事業

【平成31年度当初予算額 6,335千円】

## これまでの実績



「区域外就学制度」を活用したモデル試行  
美波町 6事例、海陽町 5事例、計 11事例



## 文部科学省通知 (H29年7月26日付)

本県の政策提言を反映し、「一時的な移住」や「二地域居住」が区域外就学の理由として明示され、適用がスムーズに！

## モデル試行により得られた効果

### 保護者・子供の視点から

### 学校・地域の視点から



都会では味わえない  
自然・文化・人との交流



「新たな働き方」  
の実践



転入生の保護者が  
プログラミングの授業



家族で過ごす時間  
の拡大



徳島が  
第2のふるさとに



地域の活性化  
子供神輿の復活

少子化の中  
一人の子供を  
地方と都市で  
「共育」

地方創生や働き方改革  
の観点から高く評価

H29年度  
全国知事会「先進政策大賞」受賞

全国からの  
注目度アップ！

他県自治体、大学関係者、マスコミ等  
からの問合せ多数！！

## 平成31年度の取組み

### 多様な事例での実証

- ・SO勤務やリモートワーク(県南・県央・県西)
- ・移住に向けたお試し居住
- ・徳島の実家と都市部の二地域居住(子育て、介護等)
- ・単身赴任者のための家族の短期居住 等



### 様々な観点によるプロモーション

- 1 移住促進の観点から**
  - ・市町村SO・移住担当者説明会、個別相談会、移住コーディネーター研修等の場を活用
- 2 働き方改革の観点から**
  - ・SO関係者、本県進出機関・企業への周知  
→ 単身赴任者に家族で過ごせる時間を提供
  - ・ワーケーション(仕事&休暇)に合わせた実施の提案
- 3 多彩な手法によるPR**
  - ・HP、SNS等による発信、移住雑誌への広告掲載
  - ・首都圏、関西圏、中京圏等でのPRイベントの開催
  - ・モニター体験(市町村の移住施策との連携)

多様な働き方やライフスタイルに応じたモデル事例の拡大

本県の交流人口増加

全国への広がり(制度の創設)

# 新 留学生県内定着促進事業

【平成31年度当初予算額 5,750千円】

## 現状・課題

- ・県内大学等への**留学生受入れ数の増加**  
(2014年 311人 → 2017年 399人 (+28.3%))
- ・県内大学等を卒業した留学生の**県内定着率の減少**
- ・高度専門人材として留学生の活用に対する**期待の高まり**

## 施策の方向性

- ・効果的な魅力発信による**留学生の更なる確保**
- ・産業界と連携した県内定着率向上に繋がる取組みの**更なる充実**
- ・入学から就職まで**一体的な支援体制を構築**

## 外国人留学生への入学から就職までの一体的な支援体制構築

### 留学生の受入れ拡大

○県内大学等の情報発信

- ⇒ 東京や大阪で開催される「日本留学フェア」への参加支援



○留学生向けオープンキャンパスの開催

- ⇒ 県内大学等が実施する日本語学校留学生への**オープンキャンパスバスツアーの実施**



### 留学生の生活支援等

○留学生共同サポートセンター設置

- ⇒ 留学生居住確保支援 (**住宅供給公社と連携**)

公社賃貸住宅を留学生宿舎として活用



- ⇒ **総合相談窓口の設置**

留学生の生活支援

- ・各国際交流団体の協力  
生活用品の無償提供
- ・学習・生活などの相談
- ・卒業後の進路相談など



### 留学生の県内定着支援

○インターンシップ情報の発信

- ⇒ 産業界と連携し、インターンシップ情報を留学生に対して発信

○就職セミナーや説明会への参加サポート

- ・日本企業への**理解の促進**
- ・企業が求める知識・技術・人物像
- ・就職活動の方法など



○企業見学バスツアー

- ⇒ 県内企業への就職を促進するため、留学生の受入れを希望する企業見学バスツアーを実施

県内高等教育機関へ進学する「留学生の増加」と高度専門人材として「県内定着率の向上」

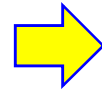
担当：県立総合大学校本部

# 新 外国人材による地域おこし活動推進事業

【平成31年度当初予算額 39,500千円】

## 【目的】

インバウンド増加や地域産品の輸出拡大等で  
外国人材の活用ニーズが高まる



外国人材を積極的に活用し、  
地域活性化を推進

## 「外国人版地域おこし協力隊」の創設

- ◇JETプログラム修了者（ALT「外国語指導助手」、CIR「国際交流員」等）
- ◇国際交流経験のある「留学生」や「在留外国人」などの人材を、  
県が「地域おこし協力隊」として任用し、「東部・南部・西部」圏域で地域貢献活動に従事

全国から「地域おこし」に意欲  
ある優れた外国人を募集！

## 【活動内容】

- ◆外国人視点により「地域の魅力発掘」や国内外向け「誘客プロデュース」
- ◆SNSやネットワークを通じた海外向けの「効果的な情報発信」
- ◆外国人の興味を引く「魅力的なツアーの企画」
- ◆外国人ニーズにマッチした「受入環境の整備」
- ◆地域特産品の「ブランドカアップ」や「海外販路拡大」の推進 などに従事

市町村や地域住民・団体と連携し、事業展開！

「公・共・私」相互協力による  
自治体運営に貢献！



地域活性化をサポート



地域文化体験ツアー企画



受入環境の整備



海外に向けた販路開拓

就労・定着に向けて

商工団体など関係団体と連携し

- ◆インターンシップを通じ県内企業への「就労促進」
- ◆地域資源活用や地域と一体となった「起業・創業」の支援



- ・企業の「グローバル化」や「労働力不足解消」に貢献！
- ・多文化共生のロールモデルを創出！

外国人材を活用した「地方創生」と「多文化共生社会」の実現！！

担当：地域振興課

# 住むなら徳島！外国人とともに輝く地域づくり

⑧ 地域とつなぐ！在住外国人支援事業【平成31年度当初予算額10,000千円】

⑧ 働くなら徳島で！外国人就労支援事業【平成31年度当初予算額2,500千円】

## 背景

- 平成29年末の日本の在留外国人の人数は、約256万人で過去最高を更新し、県内においても、5,639人と増加傾向
- 三大国際スポーツ大会や大阪・関西万博が開催されることから、**外国人は大幅増の見込み**
- 平成31年4月から「**新たな在留資格の創設**」が決定

↓  
外国人の円滑な受入れ、共生社会の実現に向けて、国において「**外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策**」が示されたところ

## 「総合的対応策」で示される地方公共団体に求める対応策

- 行政・生活全般の情報提供・相談を多言語で行う一元的窓口となる「**多文化共生総合相談ワンストップセンター（仮）**」の設置
- 外国人の受入れ環境整備、地域住民と外国人材の交流事業
- 日本語教育の充実 ●地域での安定した就労の支援 等

## 国の動きに呼応した外国人支援が必要！

### 多文化共生総合相談ワンストップセンター（仮）の設置

- とくしま国際戦略センターに英語・中国語・**ベトナム語**に対応した「**多言語相談窓口**」を設置
- 多言語翻訳システムの利用による相談体制の拡充
- 市町村、労働局、入国在留管理庁（新設）等とのネットワークを強化し、シームレスな連携を図る



### 日本語教育の充実

- 空白地域の解消に向け、「**日本語教室**」を拡充し、日本語指導・地域の外国人の生活支援を実施
- 幅広い世代が日本語を学べる環境の整備**（託児サービスの提供、子ども向けサマースクール）
- 日本語指導者の養成**（初心者対象の養成講座、中級者向けスキルアップ講座等の開催）



### 外国人受入れ環境の整備、地域住民との交流促進

- 「**地域外国人コーディネーター**」をセンターに配置外国人の実態把握及び受入体制の整備
- 外国人の地域活動への参加促進**（交流会、地域での文化体験等）
- 防災訓練等の開催による**災害時外国人支援体制の整備**



### 就労の支援

- 県内企業を対象とした外国人採用に係る留意点を学ぶ**ノウハウセミナーの開催**
- 外国人留学生、JET参加者等を対象とした**企業説明会・マッチングフェアの開催**
- 自動車免許取得、ビジネスマナー習得講座等による就労に向けた**スキルアップ支援**



# 多文化共生を促進し、多くの外国人に選ばれる徳島に！

# 福祉・介護人材確保緊急支援事業

【平成31年度当初予算額 57,916千円】

- 本県の高齢者人口は、ピークとなる2020年に、24万5千人（高齢化率33.9%）に達すると推計されている。
- 一方、介護人材は2020年に543人、2025年に1,409人がそれぞれ不足すると予想され、人材確保が喫緊の課題となっている。
- 「地域医療介護総合確保基金」を活用し、「福祉・介護職場のイメージアップ」や「福祉・介護人材の確保」、「福祉・介護職員のスキルアップ」等、福祉・介護人材確保を推進するための事業を総合的に実施する。

## 福祉・介護職場のイメージアップ

### ○福祉・介護人材参入促進事業

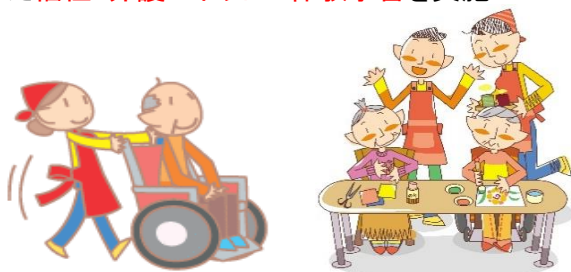
【10,700千円】

学生や主婦等を対象に、**福祉・介護の仕事の大切さや魅力を伝えるための介護体験やセミナー開催**等に係る経費を補助

### ○福祉・介護職場等体験事業

【4,500千円】

求職者等を対象とした**福祉・介護職場の体験事業や福祉施設見学バスツアー**、小中高生を対象とした**福祉・介護ロボットの体験学習**を実施



## 福祉・介護人材の確保

### ○福祉・介護人材マッチング機能強化事業

【20,000千円】

県内事業者と求職者による職業相談及び情報提供を行うため、**福祉就職ガイダンス、ハローワーク出張就職相談会**等を実施

### ○潜在的有資格者等再就業促進事業

【1,450千円】

子育て等のため離職した**潜在的有資格者**や**他分野からの離職者**が知識や技術を取得するための研修経費、就業支援のための職場体験等に係る経費を補助

### ⑨外国人介護人材受入補助事業

【3,000千円】

外国人介護人材について、「受入検討会」での協議を踏まえ、関係機関と連携し、確保・定着のための支援や「介護福祉士資格」取得のための**日本語等の学習支援**に係る経費を補助

## 福祉・介護職員のスキルアップ

### ○福祉・介護人材キャリアパス支援事業

【14,266千円】

福祉・介護職員の**キャリアパス、スキルアップ**等を目的とした研修実施に係る経費を補助。併せて、県福祉人材センターによる**講師派遣や人材育成計画の策定支援**等を実施

### ○介護福祉士試験実務者研修代替要員支援事業

【4,000千円】

介護従事者が介護福祉士試験を受験する資格要件となる**実務者研修**を受講する際に、代替要員を雇用するための経費を補助



総合的・効果的な福祉・介護人材確保及び定着の推進

担当：保健福祉政策課、長寿いきがい課

# 世界とつながる 3大国際スポーツ大会・キックオフプロジェクト

【平成31年度当初予算額 419,460千円】

## 新 ラグビーワールドカップ ジョージア代表事前チームキャンプ受入事業



ラグビー強豪国   
ジョージア

◇5大会連続 本大会出場！  
◇2018欧州インターナショナル  
チャンピオンシップ優勝！

2019年9月8日-16日 鳴門・大塚スポーツパーク球技場  
ジョージア代表事前チームキャンプを実施！



- キャンプ受入態勢整備
- 県民との交流イベント
- 機運醸成イベント など



## 新 東京オリンピックキャンプ地誘致等推進事業




世界トップアスリートとの交流 H30.6ドイツハンドボール男子代表(世界ランク1位)

### 世界トップアスリートの招聘・交流を実施！

- 海外代表チームキャンプ受入れ
- ドイツNDS州とのスポーツ交流 など

本県のホスタウン対象国

 H28.1 ドイツ  
第一次登録

 H29.12 カンボジア  
第五次登録

### 聖火リレーに向けた準備を推進！

徳島県聖火リレー実施日

大阪府

▶ 2020年4月16日-17日 ▶

香川県

## ワールドマスターズゲームズ2021関西 開催準備事業

H30年度  
調査



海外モニター選手等  
から客観的視点で  
大会開催に向けた  
諸課題等を把握



WMG開催1000日前  
記念イベント

### 競技運営態勢を整備！

- 競技運営を担う専門人材の育成
- 国際競技連盟との調整 など

### 国内外における広報活動を実施！

- 海外マスターズスポーツ大会
- 国内スポーツ大会 など

徳島県: 11競技種目実施



## 東京オリンピック・パラリンピック 徳島未来創造基金積立金

【平成31年度当初予算額 500,725千円】

3年連続の国際スポーツ大会を契機に、  
スポーツ・文化の振興を加速！！

柔軟かつ機動的な  
事業展開

数年先を見据えた  
事業展開

- キャンプ地の誘致実現・受入態勢の整備
- 徳島からの日本代表選手の輩出
- 国体順位向上に向けた競技力の向上
- 障がい者スポーツの振興
- あわ文化の魅力を発信
- 県民の文化活動を支援

スポーツ・文化を通じて  
世界とつながる徳島！

レガシー創出



# 障がい者の能力と個性を発揮するスポーツ・芸術文化施策の展開

【平成31年度当初予算額 18,525千円】

## 【これまでの取組みと成果】

- ◆障がい者スポーツ協会を設立・連携し、障がい者スポーツの振興を促進
- ◆障がい者芸術・文化活動支援センターを障がい者交流プラザに開設・連携し、芸術文化活動を支援



障がい者交流プラザ

## 【課題】

- ◆東京パラリンピック後を見据えた  
〔障がい者スポーツ  
障がい者芸術文化活動〕  
の一層の振興

障がいの有無を  
超えた幅広い  
交流の促進！

## 地域における障がい者の社会参加の機会・場を創出！

### 障がい者スポーツ

#### 障がい者スポーツ振興事業

- パラリンピック等選手の育成・強化を図るため、競技力向上に関する経費を助成
- 教育委員会と連携し、特別支援学校の特性に応じた運動プログラムを作成
- 地域で障がい者スポーツが楽しめる環境づくりを支援するため、障がい者スポーツ協会の実施事業を助成



- ・障がい者アスリートの活動を支援
- ・幼少期から障がい者スポーツに親しむ環境づくりを支援
- ・スポーツを通じた、障がいの有無を超えた交流を促進

### 障がい者芸術文化

#### チャレンジド・アート・プロジェクト推進事業

- 障がい者芸術・文化活動支援センターを核に、相談支援、支援者育成、支援等ネットワーク構築
- 教育委員会と連携し、特別支援学校の芸術文化活動を支援
- 「全国障害者芸術・文化祭(新潟)」のサテライトイベントとして「障がい者アーティストの卵発掘展」や、「アール・ブリュット展」を開催



【第3回発掘展受賞作品】

- ・障がい者の芸術文化活動の支援体制を充実
- ・幼少期から芸術文化に親しむ環境づくりを支援
- ・芸術文化を通じた、障がいの有無を超えた交流を促進

## 障がい者アスリート・アーティストのさらなる活躍！

# 障がい者スポーツ・アートを通じ、障がいに関係なく交流が広がる共生社会の実現へ

担当：障がい福祉課

# 競技カジャンプアッププロジェクト



【平成31年度当初予算額 243,088千円】

- 競技者・指導者・団体の取組を積極的に支援
- 一貫指導体制のさらなる充実
- 医科学サポート体制の整備

- ◆ **トップレベルの競技者・指導者を育成**
- ◆ **ハイパフォーマンスを引き出すサポート環境を提供**

## オリンピック選手輩出・国体飛躍プロジェクト

(132,645千円)

### ■ オリンピック・国体チャレンジ事業(39,000千円)

- (1) 強化練習・強化遠征による競技力アップ
- (2) 医科学サポートスタッフの帯同
- (3) ふるさと選手の活用促進



### ■ 企業・大学スポーツ支援事業(6,000千円)

県内企業・大学の運動部の活動を積極的に支援



### ■ 競技スポーツ重点強化対策事業(45,845千円)

- (1) 四国ブロック大会を突破した団体等の直前強化を支援
- (2) メンタル面の強化支援
- (3) スポーツ医科学講演会の開催

### ■ オリンピック・国体選手育成事業(7,000千円)

オリンピック・国体有望選手に対し強化費を助成



### ■ スポーツコーディネーター活用事業(14,800千円)

スポーツコーディネーターを国体選手・指導者及びアスレチックトレーナーとして幅広く活用

### ■ 国体バックアップ事業(20,000千円)

国体順位向上に寄与する備品整備を促進

## 徳島育ち競技力向上プロジェクト

(20,481千円)

- (1) 一貫指導体制の構築
- (2) スポーツ指導者の養成
- (3) スポーツ拠点づくり
- (4) ジュニア選手育成



## 国民体育大会派遣事業

(63,286千円)

第74回国民体育大会  
「いきいき茨城ゆめ国体」  
等への派遣



## 新 あわスポーツ・医科学強化プロジェクト

(再掲 26,676千円)

### ■ あわ女アスリート医科学サポートアシスト事業

成長期の女子選手への実態調査・サポート体制構築



### ■ 日独女性スポーツリーダーサミットの開催

ドイツNDS州と連携した人材育成



### ■ あわハイパフォーマンスサポート事業

- (1) リカバリー対策等の最新医科学情報を提供
- (2) スポーツ医科学推進検討委員会(仮称)を設置



# 徳島からトップアスリートの輩出を加速!

# 新 あわスポーツ・医科学強化プロジェクト

【平成31年度当初予算額 26,676千円】



ラグビーW杯、東京オリ・パラに向け、世界トップレベルのスポーツ医科学情報や先進事例が国内に集積



本県が先進的に導入

## 最新医科学による戦略的強化

- 女性アスリート特有の課題への対応
- トップレベルのスポーツ人材育成
- 最新の医科学導入・活用を推進



リハビリ

トレーニング

フィットネス  
チェック

映像分析



### あわ女アスリート医科学サポートアシスト事業

- あわ女アスリート医科学サポート委員会を開催
- 運動部活動へサポート講師を派遣
- 成長期の女子選手の実態調査
- 新たに「女性アスリート医科学セルフケアブック」を作成



### 日独女性スポーツリーダーサミット

- ドイツ・ニーダーザクセン州のトップリーダーを招聘しシンポジウムを開催
- 日独の女性スポーツリーダーによる人材育成セミナーを実施



### あわハイパフォーマンスサポート事業

- 暑熱対策やリハビリ対策など、最新の医科学サポートに関するセミナーを開催
- 新たに「スポーツ医科学推進検討委員会」(仮称)を設置

リハビリ対策の例



全身クライオセラピー



冷水浴

## 最新医科学による競技力・指導力の強化

# 「あわ文化」のレガシー創出と未来への挑戦

【平成31年度当初予算額 112,979千円】

2019年 ラグビーWC

2020年 東京オリ・パラ

2021年 WMG関西

2025年 大阪関西万博

- 「3大国際スポーツ大会」の開催さらに大阪関西万博を絶好の機会と捉え「あわ文化」の魅力を国内外に強力に発信
- 地域の魅力の向上を図り「インバウンド」の拡大をはじめとして「地方創生」を実現

みんなで築く  
「あわ文化」

根付き、育てる  
「人材・才能」

文化の力で  
「まちづくり」

文化と経済との  
「好循環」

「あわ文化」ブランドの  
創出・発信

## あわ文化魅力向上事業

(62,979千円)

### 新 あわ文化未来魅力発信事業

- ・ 阿波藍の伝統を核に広がる豊かな「藍文化」の魅力を発信する展示会等を開催



### 新 「あわ三大音楽」継承・発展事業

- ・ 「あわ三大音楽」が一堂に集まる「夏の音楽祭」を開催
- ・ クラシック等の活性化へ県出身音楽家を迎えオーケストラキャンプを開催
- ・ はぐくみコンサートを全県展開



### ◆ジャズが流れる街・徳島推進事業

- ・ 地域の商工団体等と連携して「街角ジャズイベント」を実施
- ・ 県民に演奏発表の機会を提供する「ワークショップ」を開催



## あわ文化創造事業

(50,000千円)

### 新 あわ文化交流促進事業

「人形座」の国内外への派遣等を通じ交流を促進



### ◆あわ文化創造支援費補助金

- ・ 障がい者芸術に光を当てた新たな才能の発掘
- ・ 地域で受け継がれる文化資源の再生と活用
- ・ 「第九・百周年」の成果の継承・発展など地域の魅力に磨きをかける県民の文化活動を支援



### ◆あわ文化可能性創造事業

アドバイザー派遣により文化団体等の可能性を創出

### ◆あわ文化巡回展実施事業

地域資源等を掘り起こし組立て式の移動ギャラリーで県内を巡回展示

「東京オリ・パラ徳島未来創造基金」を活用

県民主役の「あわ文化」を創造し、文化と経済の好循環を実現！

# 「自転車でひろがる人・まち」づくりプロジェクト



【平成31年度当初予算額 13,250千円】

- 「自転車王国とくしま」をブラッシュアップ！
- 新たなコンテンツで情報発信強化！
- 徳島の魅力を国内外に積極的にアピール！

3大国際スポーツ大会を通じた  
誘客促進・認知度アップ

「自転車王国とくしま」  
さらなる魅力アップへ！

## サイクリングアプリ作製

観光アプリを活用

- ・スポット検索
- ・ナビゲーション
- ・コース自動作成



新たに  
自転車の観光  
を提案！

アプリ機能充実



立ち寄りスポット等  
サイクリスト向け情報  
の充実！

快適なサイクリング  
をサポート

## コンテンツ作製・PR

Go aroundコース  
PRムービー作製

自転車王国とくしま  
スマホ対応HP構築

Go aroundコース  
モニターツアーの実施



インフルエンサー  
による魅力拡散

サイクルイベント等  
国内におけるPR

台湾・香港等  
国外へPR



## サイクリングの魅力向上

観光サイクリング



+ アクティビティ



+ XX

サイクリング

+ ぐるめ



新たな「王国ファン」の  
拡大に向けて！

サイクルトレイン本格展開  
に向けた試験運行実施



ミニガイドツアー

健康サイクリング

子ども向けイベント

ブログ・HPによる情報発信

サイクリングリーダーの養成・活用

「自転車王国とくしま」 新たなサイクルツーリズムの創出

連携

四国サイクリングのブランド化

受入環境の整備

サイクリングアイランド四国の推進

おもてなし態勢の整備

シェア・ザ・ロードの啓発

# 鳴門総合運動公園整備事業

【平成31年度当初予算額 342,500千円】

## ■事業目的

- ◆ 3大国際スポーツ大会のキャンプ地・競技会場の誘致等を見据え、施設の環境改善を最優先で推進  
(○ソイジョイ武道館：2020東京オリンピック 柔道「キャンプ地」 ○アミノバリューホール：ワールドマスターズゲームズ2021関西「重量挙げ会場」等)
- ◆ 安全で快適な公園利用を図るため、長寿命化計画に基づき老朽化した公園施設を適切に整備

## ■事業概要



## 都市公園の整備による「スポーツレガシーの創出」

担当：都市計画課

# 蔵本公園整備事業

【平成31年度当初予算額 138,500千円】

## ■事業目的

- ◆ 「円滑な大会運営」と「競技力の向上」を目指し、スポーツ施設の改修を推進
- ◆ 利用者の安全・安心を確保するため、施設の利用環境の向上を推進
- ◆ 大規模災害に備え、蔵本公園の防災機能を強化  
(蔵本公園：ちよきんぎょプールを「広域避難場所」、体育ホールを「避難所」として機能強化)

## ■事業概要

### ■ J Aバンク徳島スタジアム

○ 野球場防球ネット改修(新規)

**場外飛球・ファールボール対策**

- ・ 1,3塁側に防球ネット設置
- ・ バックネット張替

○ 体育ホール改修(H30～)

**利用環境改善・被災者のQOL改善**

- ・ 空調新設
- ・ 更衣室等諸室改修

### ■ J Aバンクちよきんぎょプール

○ 観客席スタンド改築(新規)

**競技・観戦環境の改善**

- ・ 熱中症対策として屋根設置の設計
- ・ スタンドのバリアフリー化の設計

○ プール改修(H31完成)

**公認規則に即した施設の改修**

- ・ 安全な水深の確保(1.60m)
- ・ 最新のスタート台や計測器に対応



## 都市公園の整備による「スポーツレガシーの創出」

担当：都市計画課

# 南部健康運動公園整備事業

【平成31年度当初予算額 436,500千円】

## ■事業目的

- ◆ 東京オリンピック・パラリンピックを見据えオールインワンの「競技スポーツ拠点」を整備
- ◆ 子供からお年寄りまで、気軽に健康づくりができる「生涯スポーツ拠点」を整備
- ◆ 南海トラフ巨大地震を迎え撃つ、南部健康運動公園の防災機能を強化  
(南部健康運動公園：自衛隊や警察など広域応援部隊の「救助活動拠点候補地」)

## ■事業概要

### 南部健康運動公園

県南地域の「スポーツ拠点」

陸上競技場 (イメージ図)  
将来の灯具増設に対応 (100ルクス)

運営棟 (スタンド：1,000人収容)  
・競技運営室、更衣室、器具庫等  
・自家発電機  
平成30年度完成

陸上競技場の仕様【第3種】  
・100m直走路：9レーン  
・400m曲走路：8レーン  
・障害物競走路：あり  
・トラック舗装：全天候型舗装  
・フィールド芝：天然芝

○防災機能の強化  
災害時に広域応援部隊の活動を支援する  
夜間照明 (4基)・自家発電機を整備

少年サッカー2面

障害物競走(水濠)

救助活動拠点としての暫定利用が可能に！

陸上競技場の整備  
○トラック・フィールド部の配管設備、路盤工  
○夜間照明施設(基礎)、園路の整備  
○陸上競技用設備(備品)の設置

## 都市公園の整備による「スポーツレガシーの創出」

担当：都市計画課

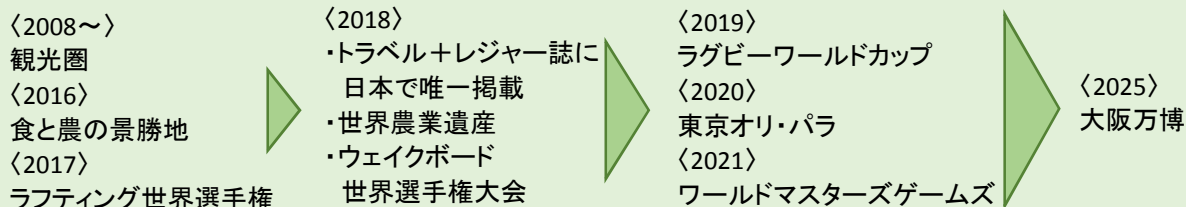


# 新「桃源郷にし阿波」魅力発信事業

【平成31年度当初予算額24,830千円】

## 事業目的

- 観光を通じ、外国人と地域が活発に交流
- 宿泊者数、旅行消費額の増加



にし阿波が世界から選ばれる訪問先に

## 事業内容

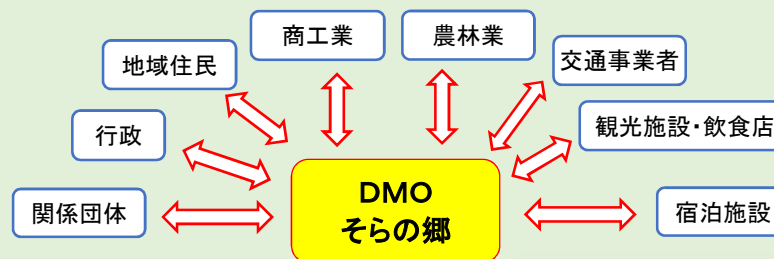
### 1 世界水準DMOに向けた体制強化

- ・地域一体となったマーケティングやブランディング力の強化
- ・官民連携のプロモーションによりインバウンド誘客を促進
- ・インバウンド向け魅力発信、誘客促進につなげる「専門人材」の活用
- ・観光地域づくりを担う「地域人材」の発掘、育成

### 2 戦略的なプロモーションの展開

- ・国内商談会への出展、国内ランドオペレーター等への営業
- ・競争が激化する「香港、台湾」からのリピーター獲得
- ・新たなターゲットとして「欧米豪」、「シンガポール、マレーシア、タイ」へのプロモーション強化
- ・旅行会社やメディアを招聘したファムツアーの実施

観光地域づくりのプラットフォーム、舵取り役  
「日本版DMOそらの郷」を「世界水準DMO」へ



世界に通用する観光地域づくり魅力発信



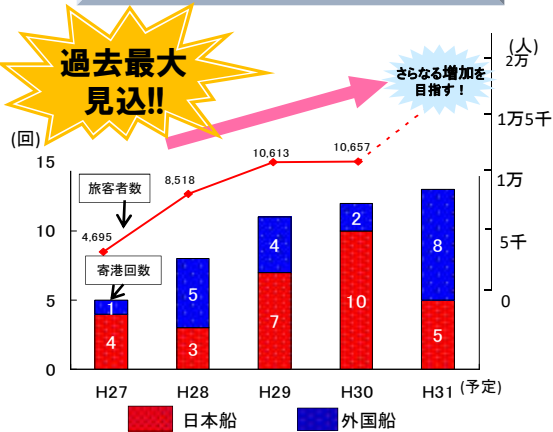
DMOを核とした観光地域づくりで「にし阿波」を創生！

担当: 観光振興部

# 新 クルーズ客船誘致促進事業

【平成31年度当初予算額 70,000千円】

本県のクルーズ客船  
寄港回数と旅客者数



外国船

**MSCスプランデダ** 初寄港  
年間合計6回寄港!! (5月~6月・9月~10月)  
3,274人

**ダイヤモンド・プリンセス** 初寄港から5年連続寄港!!  
8月寄港  
2,706人

**ル・ラペルーズ** 初寄港  
写真提供・ポナン  
10月寄港  
184人

日本船

**飛鳥II**  
初寄港から26年連続寄港  
4・8月寄港  
872人

**にっぽん丸**  
8月2回寄港  
524人

**ぱしふいっくびいなす**  
8月寄港  
620人

クルーズ来県者数  
2万人突破見込!

## さらなるクルーズ客船の寄港・来県者数増加に向けて

### 来県者に満足いただける「おもてなし」の充実

- 外国船内で徳島の魅力発信  
・前港より船内で徳島の観光地、特産品をPR。スムーズな観光をサポート
- 大型エアテントを活用したおもてなし  
・特産品販売やCIQにも活用
- 乗客の利便性向上に向けた二次交通対策の強化  
・シャトルバスとJRの連携強化、タクシー事前予約の充実
- 外国人乗客への案内サービス  
・多言語表記による案内看板の設置やチラシの配布  
・通訳ボランティア・高校生ジュニア観光ガイドの活用
- 「徳島ならではの」おもてなし  
・阿波おどり演舞や着付け体験など各種歓迎イベントの実施

港での  
にぎわい創出!!



### 「寄港拡大」に向けた取り組みを強化

- ツアー造成に影響力のある船社・旅行会社の招致
- 官民一体となった瀬戸内海クルーズの推進  
・新たに設置された「瀬戸内海クルーズ推進会議」の活用
- 国内外ポートセールスの展開、各種商談会への参加

徳島の魅力を  
強烈アピール!!



### 乗客等の「保安・安全」の確保

- 外国クルーズ客船の保安対策や乗客の安全確保
- 港へのアクセス道路における円滑な通行を確保
- CIQとの連携強化



## クルーズ客船の寄港効果を拡大

担当：運輸政策課

# 歓迎徳島！インバウンド誘客推進戦略

● 「Visit Tokushima」千客万来事業【平成31年度当初予算額70,000千円】  
● とくしま周遊観光促進事業【平成31年度当初予算額6,000千円】

○ 歓迎徳島！外国人誘客促進事業【平成31年度当初予算額108,000千円】

## 取り組むべき課題

- ・ 香港、台湾からの更なる観光誘客、リピーターの獲得
- ・ 関係機関との連携によるプロモーションの展開
- ・ 「乗り継ぎ便」の積極的な活用

## 継続した取り組み

- ・ 「徳島阿波おどり空港」を核とした積極的な誘客営業
- ・ 現地旅行会社や航空会社との連携強化
- ・ FIT向けSNSを活用した情報発信



強かに

## 「誘客プロモーション」の展開



### 香港、台湾からの誘客

#### ■香港を核に、周辺地域からも誘客拡大

○香港へのアクセス向上、「広州・深圳」も対象に！

- ・ 「オール徳島」による訪日プロモーション
- ・ 現地旅行会社と連携した「徳島セミナー」の展開
- ・ 広州・深圳等、香港周辺地域における広告展開

#### ■台湾「台北・台中・高雄」からの誘客強化

○「徳島ファン」との連携による誘客

- ・ 徳島ゆかりの「元プロ野球選手」を活用した「魅力発信セミナー」開催
- ・ 台湾阿波おどり愛好団体との連携によるプロモーション
- ・ 台湾大手百貨店における「徳島PR」



### 「国際大会開催」の好機を活かす

#### ■「国内主要空港」から徳島へ呼び込む！

- ・ 国、隣接県との連携による欧米プロモーション
- ・ 欧米FIT向けファムツアーの開催
- ・ 東京都と連携した「プッシュ型」広告展開 (Google検索エンジンの活用)

#### ■徳島ならではの「おもてなし」態勢・周遊促進

- ・ 3大国際スポーツ大会や大阪・関西万博の開催、空港でのおもてなし、クルーズ船寄港に合わせた「実践型」通訳人材の育成
- ・ 「決済システム」「Wi-Fi」等の導入促進
- ・ 二次交通対策(レンタカー)の充実強化
- ・ NEXCO西日本、山陰・瀬戸内・四国の10県連携による高速道路周遊割引のPR

### 多様な誘客コンテンツの活用

#### ■「徳島オリジナル」誘客プロモーション

- ・ 阿波おどり、阿波人形浄瑠璃、藍染めなど「徳島オリジナル」コンテンツを活かしたプロモーションの展開
- ・ 教育、スポーツ、医療、農業などの「観光コンテンツ」を組み合わせ、ニューツーリズムの創造(DMOと連携)



阿波おどり



教育旅行

これらの取り組みを進め

## 本県への外国人観光客の増加！！

# 新 新未来航空ネットワーク形成事業

## これまでの成果

- 徳島阿波おどり空港**新ターミナルオープン**
- 港・台・露・ハワイとの**国際チャーター便就航**
- 香港との**季節定期便就航**

## 施策の方向性

- 空港機能強化の効果を最大限に発揮
- 利用促進策の発展・強化
- 継続的な機運醸成の推進

## 目標

【平成31年度当初予算額 115,800千円】

- 航空ネットワークの維持、拡充、新設
- 訪日外国人旅行者「2030年 6000万人」の一翼に
- イン・アウト双方向の効果を直接県内に波及

## 平成31年度の取組み

### ①インバウンド対策 (世界の人々が徳島とつながる)



#### 路線開設促進と受入環境整備 【77,800千円】

- ・国と連携し、国際線の**着陸料等運航経費を助成**。
- ・国際線対応力を充実させるため、**空港への通訳配置等を支援**。



#### 戦略的な路線誘致の推進と 旅客向けキャンペーンを実施 【10,200千円】

- ・**香港をはじめ、東アジア**重点地域を照準に頻度の高い**エアポートセールスを実施**。
- ・インバウンド向けに**空港バウチャー等**による、**期間限定キャンペーン等を実施し**、利用を促進。
- ・現地での情報収集、セールスを補助する**現地エージェントを配置**。



### ②アウトバウンド対策 (徳島県民が世界とつながる)

ANA	323	香港	HONG KONG 香港	16:30
ANA	462	東京(羽田)	TOKYO(HANEDA) 東京(羽田)	17:30
ANA	286	東京(羽田)	TOKYO(HANEDA) 東京(羽田)	18:55

#### 多様な手法で、国際線利用促進 【18,200千円】

- ・**個人、団体旅行に対するインセンティブ付き助成制度を創設し**、利用しやすい旅行商品の提供を支援
- ・**教育旅行等に係る経費を助成し**、人材のグローバル化をサポート。
- ・送迎バス・駐車場料金などの経費を助成し、**空港へのアクセスを充実**。



#### 香港線のメリットを強力に発信 【3,000千円】

- ・香港の魅力・可能性を発信する**プロモーション動画**を作成し、観光・ビジネスでの利用を拡大。



### ③国内路線対策 (全国各地とつながる)

#### 路線拡充・利活用を支援 【2,150千円】

- ・**地方間路線、乗継路線を利用する旅行商品造成を支援し**、路線の維持、拡大を推進。
- ・航空貨物の更なる需要を促進するため、**航空貨物モデルを支援**。
- ・国内新規路線等の立ち上がりを支援する**運航経費を助成**。



#### 新規路線誘致、既存路線の利用促進 【4,450千円】

- ・**乗継就航先との共同キャンペーン等乗継割引制度の周知**により、航空路線の利用を促進。
- ・中部・東北での**徳島知名度向上PRを実施し**、新規路線開設に向けた機運を醸成。



空港を核とした「ひと・もの」の交流拡大により、「地方創生」を加速

担当:次世代交通課



# アニメを活用したにぎわい創出

○「アニメの聖地とくしま」にぎわい創出事業【平成31年度当初予算額 22,300千円】 ○「マチ★アソビ」来場者満足度向上事業【平成31年度当初予算額 13,700千円】

## 現状

- 「マチ★アソビ」は県内を代表するイベントに成長・定着
- 累計来場者は100万人を突破！
- 2019年秋には記念すべき10周年

## 課題

- アニメイベントの地域間競争の激化
- イベントのマンネリ化への懸念
- 拡大するeスポーツ市場への対応

## 方針

- イベント内容の進化，聖地化の促進
- 「eスポーツ」など新たな集客コンテンツの確立
- 来場者の満足度向上による「マチ★アソビ リピーター」の獲得

## 事業概要

### 「アニメの聖地とくしま」にぎわい創出事業

#### 進化を続ける！ マチ★アソビ

春：マチ★アソビvol.22

- ★「マチ」×「アニメ」のコラボレーション
  - ・河川と橋，その背景を使った橋の下美術館
  - ・痛車展示
  - ・人気週刊少年漫画誌との連携
  - ・人気声優を起用した眉山ロープウェイガイダンス
  - ・中心市街地の商店街や公園を使ったイベントの実施



- ★eスポーツなど新たなコンテンツとの融合

- ★企業との連携
  - ・人気商品とのコラボレーション企画の実施



### 「マチ★アソビ」来場者満足度向上事業

#### 世界から訪れる！ マチ★アソビ

- ★アニメ聖地88プロジェクト(アニメツーリズム協会)との連携による香港・台湾等へのプロモーション展開
- ★SNSを利用した海外への情報発信・拡散
- ★多言語案内等による受入体制整備



訪れてみたい日本のアニメ聖地88！に選定

#### 何度も訪れたい！ マチ★アソビ

- ★来場者満足度の向上  
警備体制の強化や雨天対策
- ★「マチ★アソビCAFE眉山」の活用による通年型観光誘客の促進
- ★本県の既存ハードとアニメをコラボさせた魅力発信



# 世界遺産登録に向けた推進プロジェクト

【平成31年度当初予算額 24,900千円】

## 「四国八十八箇所霊場と遍路道」を世界遺産に！ 推進プロジェクト

【予算額 21,200千円】

### これまでの取組み(H27～H30)

#### 資産の保護措置

- ・阿波遍路道の国史跡指定距離  
H26末 7.3km + **8.6km** を追加指定(総延長:5市町 15.9km)

さらに**2札所寺院**を国史跡指定

#### 文化的価値の魅力発信

- ・四国遍路が**日本遺産(文化庁)**、**広域観光周遊ルート(観光庁)**に認定
- ・世界遺産を有する**スペイン・ガリシア州**との**協力協定締結**
- ・四国4県知事による文化庁長官への提言

国際シンポに招へい

## 「一步先の未来」を見据え、着実な成果！

## 四国遍路文化資産の「保護と活用」を推進

### 世界遺産登録に必要な**文化財の保護**

- ・測量調査(国史跡の範囲確定)  
2札所寺院/3.2ha
- ・文化財総合調査(建造物・石造物調査など)  
2札所寺院、遍路道/約9km



遍路道の測量

保護と活用  
を両立

### 市町・民間と連携した**文化財の活用**

- ・クラウドファンディング(CF)による遍路道の保全
- ・国史跡を活用したガイドウォーキングの実施
- ・若者・外国人向け講演会による魅力発信



遍路道保全CF



総合的な保護・活用により

## 四国遍路の「新たな魅力発信」と「新たな人の流れ」を！

## 「鳴門の渦潮」世界遺産登録推進事業

【予算額 3,700千円】

### これまでの学術調査(H27～H30)

#### ■「文化」、「生業」、「往来・メディア」、「類似資産比較」の側面から調査

- ①古典文学、絵画、古地図・絵図における表現
- ②蜂須賀家の鳴門海峡支配、撫養湊の発展
- ③「鳴門鯛」「わかめ」漁、塩業、製菓業の歴史
- ④国内類似資産との比較研究
- ⑤海外類似資産との比較研究 など

「報告書」とりまとめ

文学・芸術作品



阿波鳴門之風波

生業



福永家住宅

類似資産比較



世界の渦潮

## H31年度に「世界遺産暫定一覧表」記載に向けた 「提出文書素案」を作成し、文化庁へ提出

## 学術調査で得られた渦潮の歴史的・文化的価値を発信

#### ■渦潮の価値を**多面的**に発信！世界遺産登録に向けた更なる気運醸成

学術調査結果報告会



渦潮ワークショップ



パンフレット作成



## 地元の「盛り上がり」と国内外への「広がり」を！

# 徳島県が誇る宝を世界遺産に！

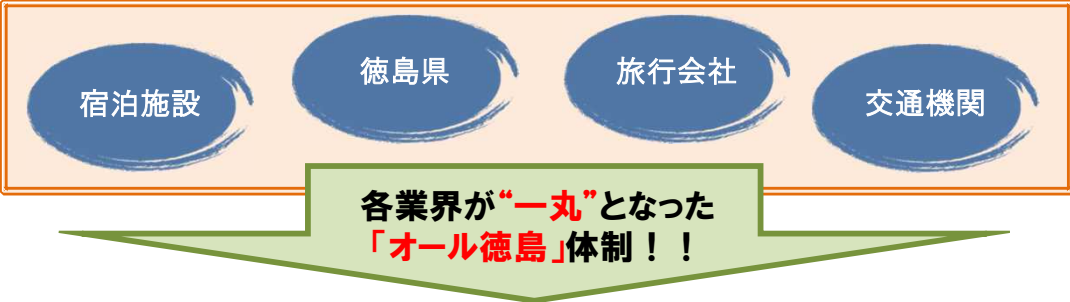
担当：広域行政課、教育文化課

# 千客万来！観光誘客戦略

○ 千客万来！「オール徳島」観光誘客プロモーション事業【平成31年度当初予算額 61,500千円】 ○ 周遊促進！徳島観光すいすい事業【平成31年度当初予算額 34,000千円】

## 「一般消費者向け（B to C）」プロモーション

### ■「#徳島あるでないで」キャンペーンの推進



- 旅行商品の造成(WEBを中心に販売)
  - ・ 各旅行会社の強みを活かした**宿泊旅行商品**を造成
  - ・ 宿泊プランには宿泊施設等による**各種特典付き**
- キャンペーン広報
  - ・ 各旅行会社のWEBサイトに、宿泊プランへの導線となる**徳島県特集ページ**を設置
- SNS投稿キャンペーン
  - ・ 投稿を通じ、**徳島の魅力を拡散**



### ■個人旅行者の更なる誘客促進

- ・ 旅行会社との**タイアップ**による、**旅行商品(個人型)**を活用した観光情報の発信
- ・ 航空会社、JR等との**連携**による観光PR
- ・ WEBメディアを中心とした**プレスツアー**の実施
- ・ 旅行先を提案する観光パンフレット(B to C)の制作
- ・ 本県が誇る、強力な観光コンテンツである「剣山」と「阿波おどり」が**コラボ**した「**山の日**」イベントの実施

一般消費者へ  
ダイレクトに発信！



## 「旅行会社向け（B to B）」プロモーション

### 首都圏からの誘客を強化

#### ■「オール徳島」観光商談会の開催

- ・ **トップセールス**による“**本県単独**”の観光商談会を開催
- ・ 旅行会社と県内宿泊施設、観光施設、DMO等を**マッチング**し、「オール徳島」で本県の魅力を直接売り込む場を設定
- ・ 国内旅行に加え、**インバウンド部門**も強化

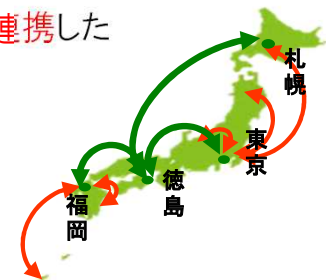


#### ■徳島観光セミナーの開催

- ・ DMOや観光協会等と**連携**し、**旬の観光情報**を提供
- ・ 観光商談会の**フォローアップ**

### 加えて、**切れ目のない営業活動を主要都市(関西圏・中京圏等)**において実施

- ・ 航空会社やJR、四国ツーリズム創造機構等と**連携**した営業活動の実施
- ・ ファムツアーの実施
- ・ 商談会用観光素材集(B to B)の制作
- ・ 旅行会社による県内視察を支援



## 受入体制の強化

### ■周遊観光の促進

- ・ 徳島東部地域の観光振興への支援
- ・ バス助成の活用

観光コンテンツの  
充実強化！

「オール徳島」での「観光誘客プロモーション」と「受入体制」の強化により、**宿泊者数を増加！！**

# 「徳島の宝」阿波おどりを「世界の宝」に!!

○世界最高の情熱！阿波おどり体感事業【平成31年度当初予算額 38,000千円】

○世界へ躍進！阿波おどりプロデュース事業【平成31年度当初予算額 12,200千円】

## 阿波おどりの通年化

### 春の阿波おどり

はな・はる・フェスタ



- ・「春らんまん」さわやかな演舞
- ・徳島グルメが集結「グルメ横丁」



### 夏の阿波おどり

- ・県外客へのおもてなし
- ・無料演舞場・にわか連等 運営補助
- ・交通円滑化対策



### 秋の阿波おどり

11月1日～4日  
開催(予定)



- ・有名連による阿波おどり大絵巻
- ・全国阿波おどりコンテスト
- ・阿波おどり伝承塾



強力かつ  
効果的に  
発信

## 阿波おどりの国際化

### 阿波おどり選抜連による海外公演

効果的な観光プロモーションと合わせた阿波おどりの魅力発信

#### 香港

- ・「2019日本香港観光年」をターゲット
- ・在香港日本総領事館と連携したPR



#### 台湾

- ・台湾大手百貨店と連携した積極的な物産観光PR
- ・台湾阿波おどり愛好団体との連携



海外政府からの  
招へいの機会等に  
有望市場でもPR!  
(東南アジア等)

阿波おどりを活用した誘客促進  
リピーターの獲得

東京オリ・パラにおける  
阿波おどり披露の実現

世界的なファン増加  
海外から誘客促進

阿波おどり文化を  
次世代に継承

担当：観光政策課、観光政策課誘客営業室



# 広域観光推進事業費

【平成31年度当初予算額 51,999千円】

国の目標

- <2020年において>
- ・訪日外国人旅行者数4,000万人 (2015年の約2倍)
- ・地方部での外国人延べ宿泊者数7,000万人泊 (2015年の3倍弱)

現状

- ・訪日外国人旅行者の増加
- ・進む地方誘客
- ・周遊範囲の拡大、長期滞在傾向

取組み

- ・旅行者の周遊傾向に合わせた情報発信
- ・三大国際スポーツ大会に向けた広域連携による取組み (プロモーション・受入環境整備)

全国唯一の3つの広域観光周遊ルートを活用した徳島への誘客促進

## 関西8府県4市の連携

### 関西広域連合

大阪・関西万博に向けて



## 瀬戸内7県の連携

### (一社)せとうち観光推進機構



## 四国4県の連携

### (一社)四国ツーリズム創造機構

H31.3月(予定)日本版DMO登録により「観光地経営力」を強化!

#### ① 海外観光トッププロモーション

- 政財界要人、現地旅行会社への直接プロモーション



#### ② おもてなし態勢の整備

- 「外国語話せます」関西おもてなしバッジの普及
- 事業者向けインバウンドセミナーの開催

#### ③ インバウンド周遊促進態勢整備

- Kansai Wi-Fi (Official) の推進
- 3万のアクセスポイントにボタン1つで簡単に接続!
- 位置情報アプリの活用による周遊促進



#### ① 欧米豪を重点市場としたプロモーション

- 海外エージェントを通じた誘客促進
- 英国, 米国, ドイツなど現地での情報発信, 関係エージェント招請による商談会の開催

#### ② 体験型観光コンテンツの拡充・紹介

- 多言語専用サイトを通じ、宿泊施設、着地型旅行商品などが予約可能
- 祖谷・落合集落を含むツアーをPR!

#### ③ 受入環境整備、個人旅行者周遊促進

- 「せとうちミーティング」開催による事業者機運醸成
- 地図検索サービスでの航路情報の提供



「Setouchi Reflection Trip」

#### ① 受入環境整備

- 交通アクセスの円滑化、観光ビジネス人材育成

#### ② 滞在コンテンツの充実

- 「農山漁村」「アクティビティ」「遍路」など、幅広い地域体験型コンテンツの充実

#### ③ 対象市場に向けた情報発信・プロモーション

- WEB多言語サイトの情報拡充
- 東アジア (台湾, 香港, 中国, 韓国) を重点市場とした誘客活動
- FAMツアーの実施, 商談会・旅行博への出展
- 欧米豪市場にも積極的に展開



広域連携を通じた「徳島」の魅力発信

# 徳島への来訪促進による地域経済の活性化!

# コンベンション誘致促進事業

【平成31年度当初予算額 34,800千円】

国内外のコンベンションのさらなる誘致を促進！



多くの宿泊による大きな経済効果

## 誘致強化

- 大会主催者、旅行会社等への個別訪問、アンケート調査実施による助成制度の充実
- 展示会・商談会（「国際MICEエキスポ」、「VISIT JAPANラベル & MICEマート」等）での情報収集及び情報発信
- 県内大学等での助成制度説明会の開催
- 徳島コンベンションサポート（情報サイト）等に、「会場施設」や「コンベンション開催の様子」などの「4K動画」及び「室内360°パノラマビュー」を掲載し、助成制度と共に情報発信

情報発信の強化！

## 開催助成

- 開催経費助成（対象：中四国規模以上で県内延べ100泊以上の宿泊を伴うコンベンション）
  - ・大規模大会（「国際会議」、「全国大会」）への上乗せ助成
  - ・「郷土芸能等」や「シャトルバス運行」、「アフターバスツアー」に対する助成
  - ・県立施設の会場使用料助成



## 経済波及

- 本県ならではの魅力を活かした産業・体験観光の充実（例えば世界農業遺産に認定された「傾斜地農耕システム」の体験、「CAMP PARK KITO」、ヘルスツーリズム）
- ナイトタイムエコノミー推進への「徳島県おもてなしタクシー」の周知
- 特色あふれるレセプション会場の開発・紹介
- コンベンション会場での物産販売（特産品の魅力発信）
- 歓迎看板の設置（徳島阿波おどり空港・JR徳島駅）

ビジネス客も徳島ファンに！



# 宿泊者数・観光消費額の増加により地域経済活性化を図る！

担当：観光政策課

# 新 四国の右下インバウンド誘客推進事業

【平成31年度当初予算額 25,000千円】

## 現状と課題

### 現状

- 2020東京五輪におけるドイツカヌー代表チームの合宿誘致活動が大詰め



- ワールドマスターズゲームズ 2021関西における4競技の開催準備の加速
- 市町ごとにワーキンググループを開催。市町に眠る観光素材・キーマンを発掘

### 課題

- 観光素材の磨き上げ・人材の連携により、地域を巻き込む観光施策の展開
- 国際スポーツ大会に向けて更なるインバウンド施策の充実

地域が一体となって  
観光による地域活性化に挑戦

連携推進

「四国の右下観光局」を核に「新たな価値・消費・需要」を創造

## 平成31年度の取組み

### ～国際スポーツ大会に向けたインバウンド戦略を加速～

#### 県南の強みを活かした魅力発信強化

- ① 海外プロモーションの強化  
・WMG誘客促進

- 【対象国】オーストラリア・香港・台湾
- ・海外メディア招へいによる魅力発信
- 【対象国】アメリカ・オーストラリア  
香港・台湾・インドネシア・タイ

- ・「ビギナーサーファー」の誘致
- 【対象国】中国・香港・台湾
- ・ライセンスツーリズムの推進



海外メディア招へい(拝宮農村舞台)



観光商談会(香港)

- ② インバウンド拡大に向けた魅力発信の強化
- ・FIT誘客向け県南の魅力を体感できるモデルコースの提案

- ③ 外国人材の活用

#### 県南の新たな可能性にチャレンジ

- ① DMO「四国の右下観光局」を核とした観光地域づくり

- ・広域観光の本格展開
- ・観光人材の育成やデジタルマーケティングの強化
- ・奥木頭・スマート回廊エリアへの誘客促進



- ② 「世界初DMV 1号車」で国内外の”鉄道ファン”を誘客
- ・DMVを県南観光の広告塔に！記念切符で全国にPR

- ③ ストレスフリーな旅行環境の整備
- ・Wi-Fi、多言語表記などの整備促進



CAMP PARK KITO



DMV

### ～スポーツレガシーの創出～

- ① 「東京オリパラ・WMG」の機運醸成

- ・WMG開催種目の「トップアスリートによるクリニック」の開催
- ・地元小学生を対象にした「サーフィンスクール」の開催
- ・大学と連携したスポーツ合宿の誘致



ひわさうみがめトライアスロン



サーフィンスクール



サーフィン



「儲かる観光」による「持続可能な観光地域づくり」の実現

# 新 ときめく！ふるさとのレガシー活用・再発見事業

【平成31年度当初予算額 13,600千円】

**文化庁** 文化財保護法の改正（H31.4施行）⇒文化財の保存と活用を総合的に推進！

## 文化財保存活用モデル事業

### (1) 阿波のまちづくり 再生活用・普及啓発事業

- 重伝建地区の歴史的建造物の再生・活用  
⇒本県の魅力発信・滞在型観光の実現
- 町並みあるきイベントやシンポジウムの開催  
⇒地域文化財の活用による情報発信・地域振興に



### (2) レキシルとくしま 重要文化財保存修理事業

- 重要文化財  
「徳島県観音寺・敷地遺跡出土品」の保存修理  
⇒本県が誇る文化財の  
「保存・活用」につなげる



### (3) とくしまの歴史文化学習事業

- 世界遺産を目指す「四国遍路と鳴門の渦潮」展及び講演会

## 未指定文化財の再発見・調査事業

### (1) とくしまのレガシー （埋蔵文化財）調査事業

- レキシルとくしま所蔵品再整理事業  
⇒新たな重要文化財候補の選定  
⇒学校・地域文化財展等での活用



土製仮面（矢野遺跡出土）

### (2) 阿波晩茶製造技術調査事業

全国初の  
国指定を目指す

- 平成30年3月8日、「四国山地の発酵茶の製造技術」が  
国の『記録作成等の措置を講ずべき無形民俗文化財』に選択
- H30年度 悉皆調査  
⇒H31年度 詳細調査を実施、  
報告書作成



製茶文化における  
重要無形民俗文化財の指定へ

「徳島の魅力」再発見！ 未来に継承する「新たな価値」を創造

担当：教育文化課

# ユネスコ「世界の記憶」チャレンジプロジェクト

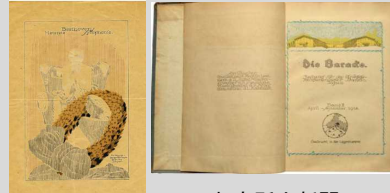
【平成31年度当初予算額 3,300千円】

## 板東の記憶を世界の記憶へ！

板東俘虜収容所  
関係資料とは

- ・第九コンサートプログラム **約730点**
- ・演劇、スポーツ大会プログラム
- ・収容所内新聞「ディ・バラック」
- ・絵はがき、写真、書画、工芸品 など

松江所長らの博愛精神により  
生まれた国際交流の貴重な記録



第九プログラム

収容所内新聞  
ディ・バラック

2017年5月、県・鳴門市・ニーダーザクセン州・リュネブルク市が  
4者国際共同申請協定書に調印



調印の様子

2018年の「第九」100周年を機に  
ドイツ兵の子孫から新たな資料が寄贈されるなど、  
徳島ードイツの交流が一層活性化！

平成30年度 県外・海外へPRする絶好の機会

動画、パンフ等広報資材の多言語化！

県外施設を利用した展覧会を開催！

出張授業・遺跡巡りウォーキングの実施



ユネスコ「世界の記憶」  
申請・登録を目指して！

「板東の記憶」を「世界の記憶」(Memory of the World)へ！

担当:教育文化課

平成31年度 登録推進の機運をさらに拡大！

## 国内外へのPR活動をさらに強化！

◆世界へ発信！「板東の記憶」魅力発信事業

○新 京都ICOM2019への出展 2019年 9月

日本で初めて開かれる国際博物館会議  
(ICOM2019)に参加、国際的にアピール

## バンドーの奇跡を知り、学ぶ！

H30.10.15  
国史跡指定

◆知ろう！学ぼう！「板東俘虜収容所」

- ・「板東俘虜収容所関係資料」について学ぶ出張授業
- ・「板東俘虜収容所」遺跡めぐりバスツアー&ウォーキング

## 「世界の記憶」申請に向けて！

◆ユネスコ「世界の記憶」登録申請事業

2018年10月ユネスコ世界の記憶制度改革に向けた  
アクションプランの承認 → 制度改革がスタート

2020年と見込まれる申請受付開始に向けて、  
申請書を準備。2021年の登録を目指す！

新

# 日本最古級恐竜化石含有層 調査・発信プロジェクト

【平成31年度当初予算額 4,700千円】

## 現状

「文化の森」史上最多

- ・ H28年夏の企画展「トクシマ恐竜展」の来場者数は6万3千人を記録
- ・ H30年春勝浦町で国内最古級の恐竜化石含有層と複数の恐竜化石を発見
- ・ H30年下期には「緊急発掘調査」を実施 ※手作業による調査

- ◆恐竜は幅広い層に愛される「教育・観光資源」
- ◆さらなる恐竜化石発見への期待と関心の高まり
- ◆恐竜のものと思われる化石を複数発見

## H31年度の取組み

### 魅力発信

●恐竜発掘活性化協議会を開催し『地域の知恵』を集約



恐竜発掘活性化協議会

●クラウドファンディングの仕組みも活用し『効果的に情報発信』

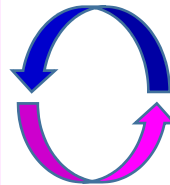


シンポジウムの開催



展示・PRツールの作成と活用

相乗効果



●本格的な発掘調査も視野に「周辺環境を調査」



発掘調査（福井県の例）

●「発掘調査」→「化石クリーニング」→「鑑定・分析」→「成果発表」のサイクルにより『成果を蓄積』



化石クリーニング



成果発表

### 発掘調査

## 効果

- ・ 希少な学術事例として日本における「恐竜」の全貌解明に寄与
- ・ 県立博物館「新常設展」の目玉展示の一つとして有効に活用
- ・ 勝浦町はもとより徳島県全域の地方創生、地域活性化にも貢献

# 「恐竜王国トクシマ」の実現！

担当：文化の森振興本部

# 文化の森総合公園 重点事業

【平成31年度当初予算額 100,200千円】

2019

開園30周年（2020）に向け、  
全館をあげて機運の醸成を図る

来館者増加

新

## 文化の森デジタルアーカイブ構築事業【27,200千円】

①貴重資料のデジタル化（写真、古文書、立体的資料等）

➡ 各館収蔵資料の集約と保存

②インターネットで提供（さまざまな機能：レイヤー・3D等）

➡ 掲載コンテンツ数120→500点



恵解山5号墳出土須恵器

ワンストップ  
サービスによる  
利便性向上

発信力強化と  
次世代への継承

新

## アートによる文化プログラム促進事業【9,000千円】

・「培広庵(ばいこうあん)コレクション展(仮称)」開催

「美人画」に特化した近代日本画コレクション



近代日本画  
の魅力発信



## ● 県立図書館「知の拠点」事業【45,500千円】

① 図書館資料の充実(子どもの本の充実)

② 電子書籍閲覧サービスの充実(事典、郷土資料等)

2017～2021年度で1,000コンテンツ

## ● 「新生・野外劇場」活用事業【14,100千円】

① 公演・イベントを企画・実施して、広く県内外へPR

② LED・デジタルアートミュージアム作品との相乗効果

## ● ユニバーサルミュージアム展開事業【4,400千円】

・「ユニバーサル美術館展(仮称)」開催(テーマ:聴覚障がい)

2020

開園30周年!

東京オリンピック・パラリンピック

文化の森開園30周年記念

○ 県立博物館新常設展  
プレビューオープン

○ 文化の森内  
デジタルアーカイブ  
閲覧システム拡張

○ 「30周年記念&  
ドイツ友好展覧会」  
開催

○ 鳥居龍蔵  
生誕150周年・  
博物館開館10周年  
記念



○ 自然災害  
歴史資料コンテンツ  
(解説文付)作成

文化  
レガシー  
の創出

未来志向の「あわ文化発信拠点」に!



担当:文化の森振興本部

# 「第3回食品ロス削減全国大会」の開催

【平成31年度当初予算額 22,400千円】

## ◆ 背景

- ◎ 世界人口の増加と地球温暖化に伴う食料安定供給への懸念。
- ◎ 国連のSDGs(持続可能な開発目標)の「目標12」のターゲットに食品ロス削減を位置づけ。

## ◆ これまでの県の取組

- ★ 2017年1月に施行した「すだちくん未来の地球条例」に「**食品ロス削減の促進**」を明記。
- ★ おいしい徳島！食べきり運動(3010運動)を展開。
- ★ 消費者庁とともに県内100世帯を対象に「モニター実証実験」。
- ★ 県内3圏域でイベントを開催。

取組を発展！

## ⑨ 食品ロス削減全国大会開催事業

10/30-31

### ● 第3回食品ロス削減全国大会の開催 (11,000千円)

環境省、消費者庁、農林水産省との共催により「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」及び徳島市とともに主催。

〈テーマ〉

エシカル消費とICT活用の推奨

### ● 全国大会関連イベントの実施

- ★ 店頭キャンペーン
- ★ 食品ロス削減セミナー
- ★ 食品ロス削減料理コンテスト・動画コンテスト
- ★ 規格外農産物などを活用した商品の紹介



## ⑨ エシカル消費で加速！脱炭素「ステップアップ」事業

(11,400千円)

- **ICTを活用した食品ロス削減モデルの検討・試験運用**  
ICTを活用して食品関連事業における食品ロスを削減。
- **消費者行政新未来創造オフィスとの連携事業の実施**  
「エシカル消費」により消費段階における食品ロスを削減。
- **環境学習・環境教育の実施**  
食品ロス・容器包装等の使い捨てプラスチックの削減等を推進。

# 食品ロス削減につながる徳島ならではの取組みを全国に発信！

担当：環境首都課



# 「未来へつなぐ とくしま生物多様性」活動推進事業

【平成31年度当初予算額 7,254千円】

## 現状と課題

- ◇ コウノトリの野外繁殖に2年連続成功！  
(豊岡市周辺を除く地域では日本初)
- ◇ 生物多様性への関心の高まり
- ◇ 希少野生生物の絶滅リスク増大

## 未来へつなぐ方向性

- ◇ 新たなコウノトリペアの定着と繁殖に向けた行動
- ◇ 徳島県の生物多様性の更なる普及啓発
- ◇ 希少野生生物に関する「気づき」を増やす



## 県民との生物多様性の協働

【生物多様性協働推進事業】  
(5,062千円)

- ・生物多様性推進協議会運営費  
「とくしま生物多様性センター」を運営  
生物多様性の保全と普及啓発を推進
- ・生物多様性リーダー養成事業  
「生物多様性ととくしま戦略」を実施する人材の養成  
生物多様性活動の輪を県下一円に拡大
- ・ウミガメ保護ボランティア支援  
ボランティアによるウミガメの上陸・産卵調査を実施
- ・希少野生生物保護検討委員会開催  
生物多様性や生態系の保全に係る検討を実施
- ・希少野生生物生息・生育状況等調査  
徳島県版レッドリストの見直し



## 希少野生生物の保全・育み

【コウノトリ育み事業】  
(1,100千円)

- ・繁殖に向けた対策  
ヒナへの足環装着  
繁殖に向けた人材の育成  
→ 野外個体群の適正管理



【オヤニラミ回復事業】  
(1,092千円)

- ・生息調査の実施による方向性の検討

指定希少野生生物  
個体数回復手法の検討  
→ 絶滅リスクの低減



# 生物多様性という地域資源を活かしたコンパクトな循環型社会の実現

担当：環境首都課

# 自然と人間が調和する社会の実現！

【平成31年度当初予算額 62,434千円】

## 自然公園等施設整備事業

( 剣山 43,000千円 )  
( 鳴門 12,000千円 )  
( 公共 3,000千円 )

- 県内の優れた自然環境の保全や風致・景観の維持
- 自然公園の適正な利用の促進
- 本県の主要な観光地である鳴門公園や剣山のイメージアップ

## 自然をあびる！チャームアップ事業

( 4,434千円 )

- 自然公園内のゴミのポイ捨て等による環境悪化
- 台風等の影響による遊歩道の荒廃
- 自然とふれあう機会の減少



- 自然環境への愛着意識の醸成
- 自然公園の活発な利用を促進
- 自然環境保全を担う人材の育成
- 自然公園の適切な維持管理の実施

- 自然公園エリアで自然環境保全活動を実践
  - ・チャームアップイベントの開催
  - ▼ 遊歩道にてゴミ拾いや軽微な補修を体験
- 自然公園の魅力学ぶ
  - ・チャームアップ講座を県内3箇所で開講
  - ▼ 自然愛好家から自然公園内の生物多様性あふれる豊かな自然の魅力を体感
- 自然公園内の監視
  - ・NPO法人による危険箇所等の情報提供
  - ▼ 自然公園利用者の安全の確保



東山溪県立自然公園  
(太龍寺付近)

### 国立公園：鳴門

- 徳島の表玄関でおもてなし
  - ・鳴門公園内公衆トイレの洋式化推進
  - ・既存施設の有効利用



インバウンド対応・長寿命化

### 国定公園：剣山

- 山頂エリアの魅力向上
  - ・木道の再整備
  - ・公衆トイレのユニバーサル化(見ノ越)
  - ・避難小屋改修(三嶺)



環境負荷の低減

安全で快適な公園利用環境の提供  
観光振興及びイメージアップ等による魅力発信

快適な利用環境の整備

安全・安心の確保



- 四国最東端で新たな魅力発見
  - ・遊歩道の改良・再整備
  - ・案内標識の多言語化



### 国定公園：蒲生田

- 自然歩道をもっと身近に
  - ・自然歩道における危険箇所の解消
  - ・道標等の多言語化

### 四国のみち

# 自然公園の利用促進と豊かな自然環境の継承！

# 新 剣山ファン拡大に向けた安全安心対策・自然保護活動の推進

【平成31年度当初予算額 5,500千円】

(■新)次代へつなぐ！剣山ファン拡大事業 4,500千円、※(新)剣山山系登山道整備・自然再生プロジェクト(三嶺)1,000千円)

## ハード面の課題

- 登山道点検やシカ食害防止対策など、国定公園の適正管理
- 訪日外国人をはじめとする登山者の遭難防止対策の充実

H26.3 剣山国定公園指定  
50周年  
H27.7 「あわエコトレ」完成  
H27.10 剣山フォーラム  
H28.8.11 「山の日」施行

## ソフト面の課題

- 豊かな自然環境を次世代に継承するための希少植物等の保護
- 自然保護活動などの担い手の高齢化や固定化

## 県民との協働による安全・安心・自然豊かな山づくり

### 剣山山系の安全安心対策の推進

#### 新 登山道の整備・保守

- ※三嶺エリアの登山道の整備 **クラウドファンディング活用**
- 剣山エリアの既整備道の点検・保守  
⇒剣山山系登山道の安全性の向上



#### 遭難防止標識の追加・充実

- 道迷い発生箇所へ新たな標識の設置
- 標識の多言語表記の充実  
(英語・中国語(簡体字・繁体字)・韓国語)  
⇒登山者の遭難防止対策の推進



#### 剣山登山道ナビシステムの活用推進

- 登山アプリを活用した登山届の提出促進
- 登山者の要望に基づくシステム機能の追加  
⇒登山者の「安心感」の確保と利便性の向上



#### ニホンジカ食害対策

- 剣山における被害調査の実施
- 効果的な食害防護柵の整備  
⇒登山道等の崩落の防止・植生の保護

登山者の安全・安心の確保

### 自然保護活動の推進・担い手の育成

#### 新 希少野生植物の保護に向けた活動

- 教員等を対象とした希少野生植物講習会の開催
- 植物研究者等による講義と現地研修の実施  
⇒希少野生植物の保護を担う新たな人材の育成



#### 自然保護意識の醸成

- 小学生親子を対象とした山の日イベントの開催
- 入門講義  
体験登山  
希少植物の観察  
ニホンジカ食害防護柵の見学など  
⇒次世代の担い手の育成

新たな魅力発見!



#### 新 「剣山サポータークラブ」活動の活性化支援

- サポータークラブ創設5周年を記念した機関誌の発行
- サポータークラブ会員間の交流イベントの開催  
⇒活動参加者数アップや「剣山ファン」の拡大



官民協働による活動推進  
剣山自然保護レンジャーの養成

## 剣山国定公園の美しく豊かな自然を次世代へ継承！！

担当:保健福祉環境部

# 新「とくしま回帰」加速・産業人材支援事業

奨学金返還支援制度は、若者の「とくしま回帰」と  
本県産業を担う人材確保を目的として、平成27年度から実施

【課題】

- 依然として歯止めがかからない若者の県外流出
- 介護や保育をはじめ、県内産業界における人材不足の深刻化

【平成31年度当初予算額 223,340千円】

さらなる  
「とくしま回帰」  
を目指し

全国枠を拡充

- 【認定実績】 (全国枠・県内枠)
- H27年度 50名 (22名・28名)
  - H28年度 221名 (158名・63名)
  - H29年度 216名 (151名・65名)
  - ※H30年度 233名申請 (168名・65名)



【現行制度】

助成候補者	対象学生	○県内で正規職員としての就業を希望する学生 ○全国枠: 大学生、大学院生、高等専門学校生及びその卒業生 ○県内枠: 徳島県内の高校生等
	募集人数	○全国枠100名 ○県内枠100名 <b>学部・業種問わず</b>
助成内容	助成金額	○無利子奨学金返還総額の1/2(上限100万円) ○有利子奨学金返還総額の1/3(上限70万円)
	助成方法	3年間の県内就業を確認後、4年目から8年目まで、奨学金の一部を返還支援(本人に代わり、県が日本学生支援機構等に支払い)

- + 対象拡大
  - 短大生
  - 専修学校生(専門課程)
- + 募集人数拡大
  - 50名

- 無利子奨学金返還総額の1/2
  - 短大生: 上限50万円
  - 専修学校生(専門課程): 上限80万円

産業界との連携

助成候補者へのフォローアップ

県外に進学した学生及び保護者向け「ふるさと回帰」セミナーの開催案内

「就職ガイダンス・セミナー」等の開催案内

「県内企業見学会」の優先受入

「インターンシップ受入希望県内企業リスト」の情報提供

## 若者の県内就職・定着促進

担当：県立総合大学校本部

## 新 徳島わくわく移住・創業パッケージ支援事業

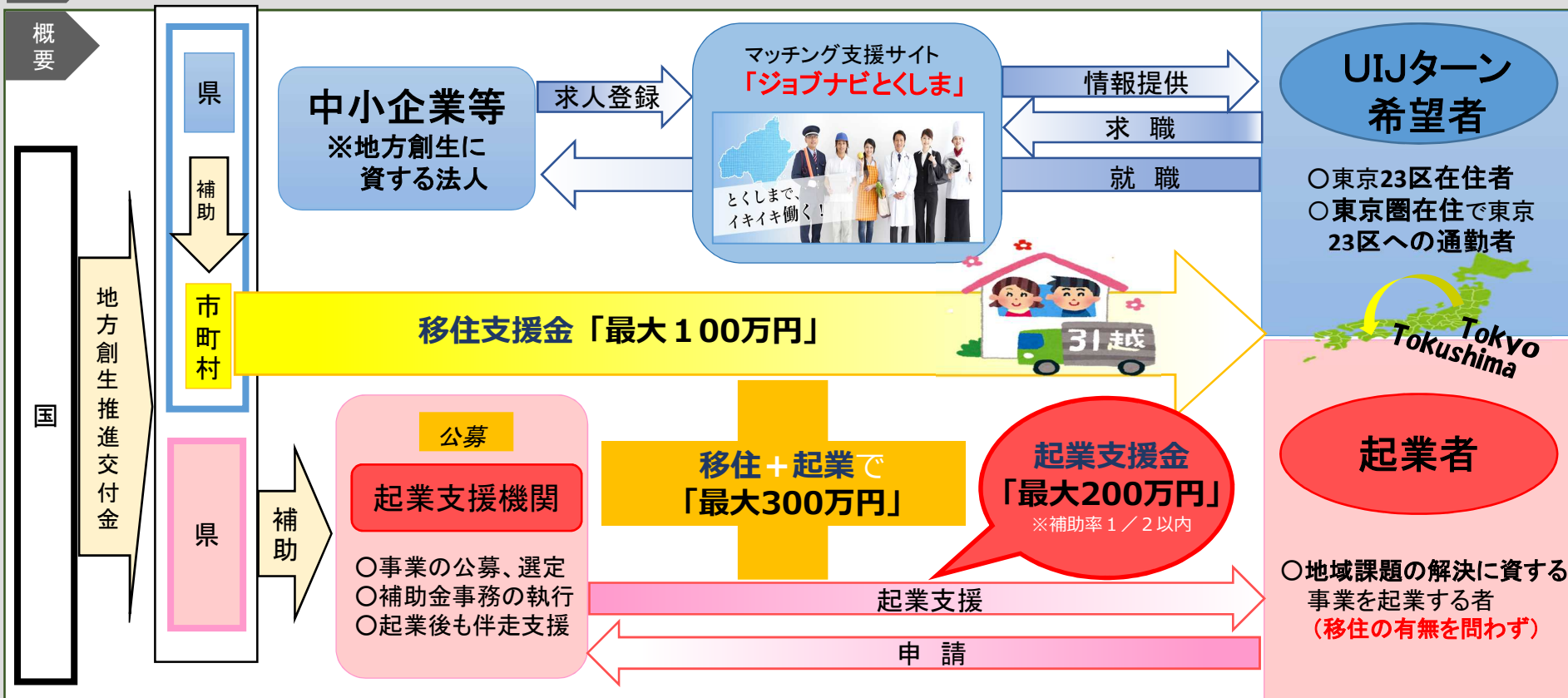
・徳島わくわく移住支援事業【平成31年度当初予算額26,500千円】

・徳島わくわく創業支援事業【平成31年度当初予算額11,000千円】

目的

### 東京圏からの移住と就労・起業を一体的に支援

概要



- 移住による新たな人の流れ・とくしま回帰の加速！
- 新たな就労者・起業家の増加による地域経済の活性化！
- 起業支援を通じた地域の課題解決の促進！



# 進化する「とくしま回帰」推進戦略

【平成31年度当初予算額 139,500千円】

## 現状と課題

総合戦略スタート年度

- H29年度 **県外からの移住者数**：1,200人 **H27年度から倍増！**
- 進学・就職を機とした大都市への転出等により、**転出超過は継続**

## 対応方針

- 転入・転出者数の均衡に向け、
  - ・ 高校生や大学生等、**若者の定着・Uターンを促進**
  - ・ 「情報発信」から「移住実現」に至る**各ステージを強化**

## 「AWA TURN」躍進プロジェクト

### ステージⅠ 情報発信

#### ◆「とくしま若者回帰プロジェクト」の進化

##### ①「とくしま若者回帰アンバサダー」創設

- ・ ふるさと回帰に向けた**情報発信を行う**県内外の大学生・高校生を「アンバサダー」に委嘱
- ・ 「若者目線」で取材の上、記事や映像を制作
- ・ アンバサダーは「QRコード」入り電子名刺を**活用**して徳島の旬の情報を発信

とくしま若者応援サイト



### ステージⅡ 移住相談

#### ◆多様な相談体制の整備

##### ① 東京のワンストップ移住相談窓口の強化

- ・ 首都圏における本県の移住相談・発信の拠点である「**住んでみんで徳島で！移住相談センター**」の**ブース拡充**を図り、相談・PR体制を強化



### ステージⅢ 魅力実感

#### ◆移住体験ツアーのステップアップ

##### ① とくしま移住実現フルサポート型ツアー実施

- ・ 移住希望者の受け皿となる「**官民連携のプラットフォーム**」がニーズの高い**ツアーを企画・実施**し、移住後のフォローアップまでを**フルサポート**
- ・ 移住者の個々に応じた「**移住マイプラン**」を策定



### ステージⅣ 移住実現

#### ◆定住に向けた支援体制の強化

##### ①「住んでよかった徳島で！」移住者フォローアップ

- ・ 移住者同士が気軽に情報交換できる「**支援交流サイト**」を設け継続的なフォローアップを行うことで、**定住を促進**
- ・ 県・市町村担当者や移住支援団体からも**サポートコメント**を投稿



##### ②「とくしま回帰人材」活用事業

- ・ 県外移住者の新しい視点を県政関連業務に生かしつつ、定住に向けた生活環境を整えて頂くため、**県の非常勤特別職としての勤務機会を提供**

##### ③ 徳島わくわく移住支援事業

- ・ **東京圏からのU I Jターンの促進**による県内就業や起業の促進を図るため、**移住に伴う経済的負担を軽減**



## 移住交流の更なる加速による「新しい人の流れづくり」の推進!!

担当：地方創生推進課

# 新 産学官連携による「EBPMモデル研究」事業

【平成31年度当初予算額 10,000千円】

## 事業目的

EBPM（証拠に基づく政策立案）を推進するため、大学、民間事業者等と連携し、「経済活動」をテーマに、新たなデータ分析手法の確立に向けた研究を行うとともに、「データ活用人材の育成」を図ることにより、効果的な施策の立案・実行につなげる。

### H30 産学官による共同研究体制の整備

#### EBPM研究会の設置

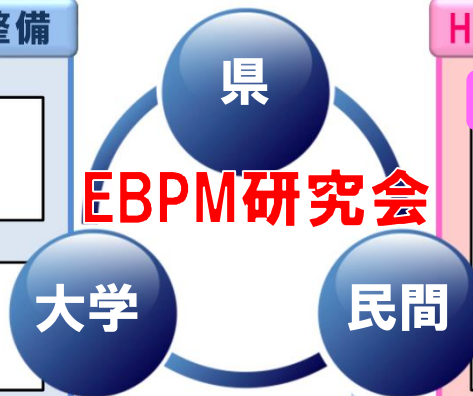
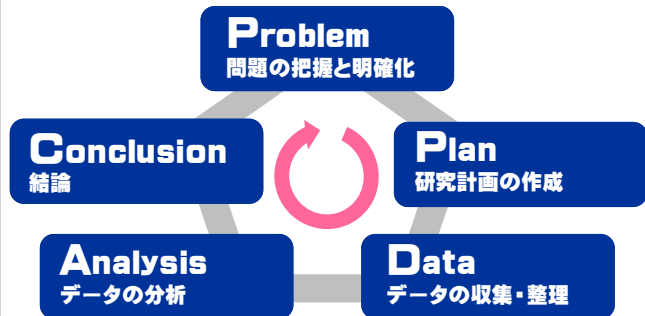
- ・大学、民間事業者、県関係課職員等で構成
- ・EBPMモデル構築に関する共同研究を実施

#### 分析テーマ:人口移動

本県に係る「人口移動」をテーマに、転入・転出者の属性や相関の強いデータ等を調査

#### データ分析に係るノウハウの蓄積

「PPDACサイクル」（データに基づく問題解決のプロセス）に沿って研究を行い、理論・手法等、分析に必要なノウハウを蓄積



得られた知見をさらに発展・応用

統計ミクロデータを活用



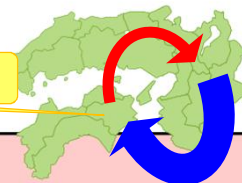
統計データ利活用センター (和歌山市)

### H31 新たな分析手法確立に向けた研究

#### 分析テーマ:経済活動

県内企業への聞き取り調査等も加え、本県と関西を中心とした外周経済圏との「ヒト・モノ・カネ」の動きを調査・把握し、本県産業の特徴・強みを客観的に分析

本県の「経済循環構造」を可視化!!



#### データ分析能力向上

- ・県職員等の分析能力向上を図るため、研究で得られた知識やスキルを共有
- ・研究成果を活用し、「EBPMデータ分析マニュアル」が完成



#### 市町村との連携

地域の特性に即した、より詳細な分析を行うため、市町村と連携したデータ活用を推進

高精度かつ客観性・定量性に優れた分析手法の確立

研究成果, 分析手法の共有・活用による各種施策へのデータ活用の促進

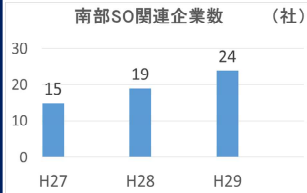
担当:統計データ課

# 新 みなみで総活躍！まち・ひと・しごと次代承継事業

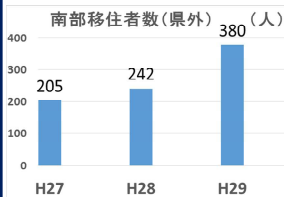
## 現状と課題

### 現状

- 地域課題をチャンスと捉える企業の集積



- 移住者の順調な増



- 地域を支える担い手不足

### 課題

- ◆ 移住・定住への第一歩となる“関係人口”の拡大
- ◆ 企業の副業解禁を契機に、専門人材を地域に呼び込む仕組みづくり
- ◆ AI時代 (Society5.0) に向け新しいビジネス創出等への支援

圏域1市4町と県が一体となった事業推進が必要

推進

【推進体制再編・強化】「四国の右下」若者創生協議会

## 平成31年度の取組み

【平成31年度当初予算額 11,100千円】

### 1 大学生×地域社会による“地方創生の輪”の実装

- ① 大学生と地域の“密な”連携・協働によるフィールドワークの深化
  - ・ 県内外の大学生が、“徳島ファン”となり、継続的に地域に貢献、魅力を発信する仕組みづくり



「観光定置網等体験」実証実験（文理大学）

### 2 地域ニーズに基づく人材誘致・育成による移住・定住の深化

- ① 「ローカルベンチャー育成プログラム」による人材育成
  - ・ 地域おこし協力隊等の定着促進のための起業塾の開催
- ② 「四国の右下移住ナビ・SNS」を活用した“ゆかりの徳島”発信強化
  - ・ 「#（ハッシュタグ）四国の右下」で移住情報を拡散する「まけまけ情報発信」
  - ・ 「空き家」や「しごと」などの情報を動画等で発信



地域おこし協力隊が起業したゲストハウス（那賀町）

### 3 集積を活かした「南部圏域ならでは」のSO誘致を加速

- ① 映画「波乗りオフィスへようこそ」を活用したPR強化
  - ・ 首都圏等でのSO誘致イベント開催
- ② 「四国の右下・右上がり研究会」の開催
  - ・ SO企業を中心に、地域の多様な主体が参画し、新たなIoT関連ビジネスの実装を支援、フォーラムを開催
- ③ 集積するSO企業による地域ICT教室の普及・促進
  - ・ プログラミング教室(小学生対象)等AI時代に向けた人材育成
  - ・ コワーキングスペースの活用促進



SO誘致の創成期を描く映画（美波町）

担当： 地域創生部

「徳島ファン」とともにまち・ひと・しごとを次代につなぐ地域づくり

「ひと」と「しごと」が好循環する持続可能な「まち」の実現



# 「とくしま回帰」住宅対策総合推進事業


【平成31年度当初予算額 21,155千円】

**背景** 県内の利用予定のない空き家 約36,000戸 (H25住宅・土地統計調査) **空き家バンク登録件数 累計約600件** (H30.8.31時点)

増加傾向 県外からの移住者数 H29 1,200人 「地域の資源」としてさらに掘り起こし可能

**取組方針**

移住希望者に提供できる空き家のさらなる掘り起こしを図り利活用を促進する



**空き家リノベーション支援事業** 【4,000千円】  
※空き家再生等促進事業32,000千円の内数

**拡充 ◆ 空き家判定支援**

8万円のところ 個人負担 2万円 ⇨ 8千円  
(市町村による上乗せ補助あり)

客観的判断による  
物件の透明性向上



**◆ リノベーション支援**



＜個人住宅＞	補助額 100万円 (県25万円)
移住者向け住宅、セーフティネット住宅 等	
＜その他施設＞	補助額 320万円 (県80万円)
交流施設、生活体験施設 サービス付き高齢者向け住宅 等	

**「とくしま回帰」住宅対策総合支援センター事業** 【17,155千円】

意識啓発・人材育成

総合的な  
空き家対策 ◆ 空き家の専門相談窓口 移住セミナー、市町村や商業施設等への出張相談会など**プッシュ型**の相談対応

- ◆ 積極的な意識啓発 福祉団体・高齢者施設との連携した情報提供、ウェブサイトでの事例紹介
- ◆ 専門人材の育成・活用 空き家判定士、空き家コーディネーターの活用

「とくしま回帰」住宅対策総合支援センターを核としたワンストップ支援

多様な支援の展開による「住みたい『とくしま回帰』」を実現

担当：住宅課

# 阿佐鉄・飛躍「夢と希望のDMV導入プロジェクト」

【平成31年度当初予算額 398,422千円】

## 阿佐東線の現状

モータリゼーションの進展や人口減少に伴い利用者が低迷

「線路」と「道路」を走る「DMV」に着目！

- 観光振興** 車両自体が観光資源。「新たな人の流れ」を創出
- 経営改善** 「低コスト車両」で経費を削減
- 防災強化** 発災時の「交通機能の維持」

次世代交通への挑戦!!



## 2020年・世界初の営業運行に向けて

平成30年度

ハード整備に着手

### 車両製作

車両デザインを全国公募1台目の車両完成!!



### 駅舎改築

甲浦駅の坂路工事に着手!!



### DMVわくわくイベント

「ウェイクボード世界選手権」などでDMVを世界に発信!!

いよいよラストスパート

ハード整備の"総仕上げ"

平成31年度 ~運行開始まで1年~

### 運行開始に向けた環境整備

### DMV導入促進事業

- ・ハード整備が完成!!  
(車両全3台、DMVホーム、モード切替施設など)
- ・阿佐東線での**テスト走行を開始**
- ・JR牟岐線(阿波海南-海部間)の**譲受手続きを推進**



モード切替施設を整備

### 完成車両を活用したPR

### DMVわくわくイベント

- ・DMV車両の**完成式典**
- ・運行開始**カウントダウンイベント**

鉄道路線を維持する新しいモデル

デザインが決定した1台目の車両



「世界初」のDMVで公共交通の魅力を発信し、新たな人の流れを創出！

担当：次世代交通課

# とくしま結婚支援プロジェクト加速化事業

【平成31年度当初予算額26,100千円】



## 現状

- ・マッチング会員数:820名
- ・イベントユーザー会員数:1,831名
- ・カップル成立報告数:649組
- ・成婚報告数:20組 (H30.12月末現在)

開設から約2年半

## 課題

- ・「マリッサとくしま」の認知度の向上
- ・市町村、企業等における結婚支援の促進
- ・独身者へのフォローの充実
- ・効果的な出逢いの場の創出



### ○とくしまマリッジサポートセンター事業

- 1対1のマッチング事業
- 出逢いイベントの運営
- プチコン(気軽な出逢い)の運営
- 結婚応援セミナーの開催 等



マリッサとくしまの運営

市町村、企業等における結婚支援の促進

### ○協賛企業・団体の登録促進

- 従業員へ「マリッサとくしま」の取組を周知していただく企業・団体の登録促進

### ○結婚支援ネットワーク会議の開催

マリッサとくしまを拠点とした結婚支援

### ○阿波の縁むすびサポーターネットワーク構築事業

- 地域におけるサポーター交流会や研修会の開催
- フォロー事例集の作成
- 感謝状の贈呈

独身者へのフォローの充実



カップル成立を促進する出逢いの場の創出



### ○恋するがっこう事業

- コミュニケーションや身だしなみ等のセミナー付き出逢いイベントの開催
- 農業・文化・スポーツ・防災等、テーマに応じた多彩なゲストによる体験型出逢いイベントの開催

## 「未来へつなぐ結婚支援」で希望出生率1.8を実現

# 少子化対策の推進強化

【平成31年度当初予算額 317,704千円】

課題

歯止めがかからない  
出生数の減少

処方箋

結婚や子育ての希望を叶えるため、結婚支援の強化や地域の実情に応じた  
きめ細やかな子育て支援の更なる充実、利用しやすい環境づくりを展開

## 地域少子化対策強化事業（67,353千円）（一部再掲）

「結婚、妊娠・出産、子育て」の  
一貫した「切れ目ない」支援の強化

事業内容

- ・ マリッサとくしまを拠点とした結婚支援  
（※「とくしま結婚支援プロジェクト加速化事業」に記載）
- ・ 男性の家事・育児の参画を促進
- ・ 民間事業者の子育て協力  
（子育て支援パスポート事業）



## （新）とくしま在宅育児応援クーポン事業（50,000千円）

在宅で0歳から2歳までの乳幼児を育児している  
家庭への支援を強化し、子育ての心理的負担を  
軽減

事業内容

クーポンを交付し、子育て支援サービスの利用を促進

- ・ ファミサポや病児・病後児などの預かりサービス
- ・ 助産師による産後ケアなどの保健サービス
- ・ 予防接種などの医療サービス



クーポンを交付  
する市町村を  
支援

少子化対策緊急強化基金積立金（200,351千円）

子育て支援施策を機動的に実施する財政的基盤を確保

# 出生数の減少を克服し希望出生率1.8の実現

# 「子育てするなら徳島！プロジェクト」の展開について

【平成31年度当初予算額 851,714千円】

課題

- 子育て世帯における経済的負担の軽減
- 市町村における地域の実情に応じた子育て支援の充実
- 保育所等入所待機児童解消のため、保育人材の確保



多様化する保育ニーズに応え、安心して子どもを  
生み育てることができる環境づくりを目指す！

阿波っ子はぐくみ保育料助成事業  
(270,000千円)

「3歳から5歳までの第2子」及び「第3子以降」の保育料無料化に  
取り組む市町村へ補助→全国トップクラスの補助制度を全県で

国に先駆けて  
実施

地域子育て総合支援交付金事業  
(468,248千円)

子ども・子育て支援新制度推進交付金  
事業  
(84,140千円)

保育提供体制緊急確保事業  
(29,326千円)

## 子ども・子育て支援新制度の実施を支援

市町村が「市町村子ども・子育て支援事業計画」に  
従って実施する地域子ども・子育て支援事業等に  
補助を行う。

- 病児保育事業 ●延長保育事業
- 一時預かり事業
- 利用者支援事業
- 地域子育て支援拠点事業
- ファミリー・サポート・センター事業 等



## 医療的ケア児保育支援事業

保育所等において医療的ケア児  
の受け入れを可能とするための  
体制整備を支援



## 市町村の主体的な取組を支援

子ども・子育て支援新制度の推進に向け、地域の実情  
に応じた事業を選択的に実施できる県独自の交付金で、  
市町村における機動的かつ戦略的な子育て支援策を  
後押し。

徳島ならではの  
保育を応援

すべての子育て家庭に  
教育・保育、子育て支援  
サービス

### 【対象テーマ】

- ① 多子世帯やひとり親等に対する経済的負担の軽減
- ② 子育ての不安解消
- ③ 地域の魅力等を活用した保育環境の充実
- ④ 保育所等における職場環境の改善
- ⑤ 子どもの健康管理
- ⑥ 過疎地域等の子育て支援の促進

地域全体で  
子育てを推進

放課後児童クラブの利用料の無料化や  
保育施設での周辺業務に携わる保育人材の就業促進  
など



## 子育て支援員の雇い上げを支援

- 国補事業「保育補助者雇上強化事業」を  
活用し民間保育所等が「子育て支援員」  
を雇用する際の人件費等を補助する  
市町村を支援する。

保育士の業務負担の軽減！

## 保育士・保育所支援センター機能の拡充

- 保育事業者支援コンサルタントを配置し  
保育事業者に対する「保育士の雇用管理」、  
「勤務環境の改善」、「保育士の質の向上」  
などの巡回相談を実施する。

保育環境の改善！  
若手保育士等の早期離職防止！



# 徳島ならではの少子化対策と子育て対策の支援策の展開

# 放課後児童対策の推進

【平成31年度当初予算額 569,727千円】

## 背景

- ① **子ども・子育て支援新制度**（H27.4施行）
  - ・放課後児童クラブの対象児童の拡大（おおむね10歳未満→小学生） → **放課後児童クラブのニーズ量が増加**
  - ・設備・運営の基準について、国の基準を参酌し、市町村が条例で規定（専用区画面積、集団の規模等）
  - ・放課後児童支援員認定資格研修の実施など、**従事者の確保・質の向上のための取組の推進**
- ② **「新・放課後子ども総合プラン」**（H30.9策定）
  - ・放課後児童クラブの計画的な整備【2023年度までに全国で約30万人分の受け皿を整備】
  - ・放課後子供教室と一体的に又は連携した実施を推進



質の向上・量の拡充を総合的に推進

### 放課後子ども総合プラン推進事業（50,847千円）

#### 1 放課後児童支援員等の質の向上に向けた取組み

- ① **放課後児童支援員認定資格研修事業**（国・県 各1/2）  
放課後児童支援員として必要な知識・技能の習得研修の実施及び認定を行う。  
【全国一律のカリキュラムに基づいて実施】
- ② **放課後児童支援員等資質向上研修事業**（国・県 各1/2）  
放課後児童支援員等の資質の向上を目的とした研修を実施する。  
（放課後子供教室関係者、児童館職員との合同研修も実施）



H31整備予定：  
8市町10クラブ

#### 2 放課後児童クラブの受け皿確保に向けた取組み

- ③ **放課後児童クラブ施設整備事業**（国・県・市町村 各1/3）  
放課後児童クラブの施設整備を支援、放課後子供教室との連携を推進する。
- ④ **放課後児童クラブ運営費補助【県単】**（県・市町村 各1/2）  
国庫補助対象とならない小規模（9人以下）な放課後児童クラブの運営を支援する。

### 放課後児童対策事業（514,000千円）

- ⑤ **放課後児童対策事業**（国・県・市町村 各1/3）  
放課後児童クラブの運営を安定的かつ円滑に行うため、運営の補助を実施する。（開所時間の延長、障がい児の受入れ体制整備、職員の処遇改善等）

H31実施予定：  
18市町村180クラブ

### 児童館整備事業（4,880千円）

- ⑥ **児童館整備事業**（国・県・市町村 各1/3）  
地域における子どもの健全育成の拠点となる児童館整備に必要な事業費の補助を実施する。（耐震改修）

H31整備予定：  
1市1館

全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができる環境を実現！

# 児童虐待防止対策の強化

【平成31年度当初予算額10,830千円】

## 背景

児童虐待相談対応件数の増加  
相談内容の複雑多様化  
重症事例の増加

全ての子どもに対して切れ目ない支援を提供するため  
児童相談所の体制強化及び職員の専門性の向上が必要

## 虐待関係職員専門性強化事業 (6,635千円) ・ 児童相談所 (児童相談所機能強化事業) (567千円)

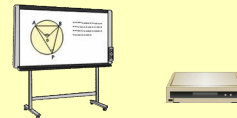
### 職員の専門性の確保及び資質の向上

- ◆児童福祉司等義務研修
- ◆スーパーバイザー研修
- ◆専門性強化研修
- ◆児童福祉専門職員養成  
新任研修  
虐待対応資質向上研修
- ◆保護者支援等講習会



### ① 法的措置に対応しうる体制強化

- ◆司法面接に必要な環境整備  
検察・警察との連携及び情報共有  
子どもの負担軽減
- ◆法医学上の診断  
証拠能力の向上



### 関係機関との連携強化

- ◆学校・医療機関等からの虐待通告に向けた意識向上
- ① ガイドブックの作成
- ◆市町村との連携強化と適切な役割分担
- ◆警察との情報共有や連携体制の構築



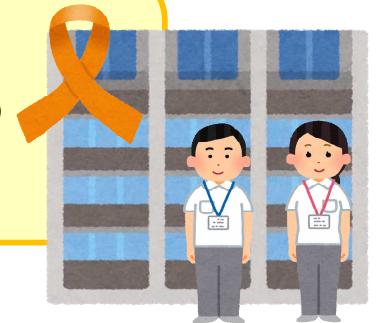
## 里親総合支援事業 (3,628千円)

### 里親養育支援体制の構築

- ◆里親のリクルート及びアセスメント
- ◆登録前・登録後及び委託後における里親に対する研修
- ◆里親家庭への訪問支援や相談支援
- ① ◆「社会的養育推進計画」策定



複雑・困難化する  
児童虐待事案への  
迅速・的確な対応



# 子どもたちの健やかな成長と明るい未来の実現！

# 貧困対策の推進

【平成31年度当初予算額 1,297,216千円】

## 生活困窮者への支援

### 総合的な相談・支援体制の確保

- 自立相談支援事業 (37,500千円)
  - ・個人に応じた支援計画の作成、就労・家計再建等の生活困窮課題解決に向けた相談支援の実施
- 家計相談支援事業 (10,979千円)
  - ・生活困窮者の家計の管理能力の向上を図るためのきめ細かな相談支援の実施
- 就労準備支援事業 (6,600千円)
  - ・一般就労することが困難な者に対する知識・能力向上を図るための生活・社会訓練の実施

H30.6  
生活困窮者  
自立支援法改正

### 改正法に基づく新たな取組み

#### 生活困窮者自立相談支援強化事業 (4,403千円)

- 困難ケースへの対応強化
  - 刑余者への支援体制の整備
  - ・検察庁等との連携構築
  - ・相談支援員向け研修の実施
- 都道府県による研修実施体制の整備
  - 相談支援員等向け研修の企画・運営体制の整備

## + 貧困の連鎖を断ち切るための子どもを対象にした支援の充実

## 子ども・ひとり親家庭への支援

### 就労へ向けた支援

- ひとり親家庭自立支援給付金 (19,051千円)
  - ・資格取得支援の給付金で就業促進

### 生活を支援

- ひとり親家庭等日常生活支援事業 (3,048千円)
  - ・生活をお手伝いする家庭生活支援員を派遣

### 学びを支援

- 子どもの「家庭と学び」のサポート事業 (7,000千円)
  - ・生活困窮家庭の中高生を対象に、学習教室等を実施
- ひとり親家庭学習支援事業 (2,300千円)
  - ・小学生を対象に、家庭教師を派遣
- ひとり親家庭ホームフレンド派遣事業 (2,851千円)
  - ・生活や学習に関する相談相手を派遣

### 関係機関の連携強化

- 子どもの未来応援ネットワーク事業 (2,200千円)
  - ・コーディネーターを養成するための研修を実施

### 経済的な支援

- 母子父子寡婦福祉資金貸付金 (180,000千円)
  - ・大学進学等のための資金を貸付
- 児童扶養手当 (1,017,061千円)
  - ・所得制限限度額を引き上げ、対象者を拡充
  - ・支給回数を増やして受給者の利便性を向上
- 新** 未婚の児童扶養手当受給者に対する臨時・特別給付金 (4,030千円)



担当：国保・自立支援課、次世代育成・青少年課子ども未来応援室



# 新 新未来創造・高校生育成プロジェクト

【平成31年度当初予算額 8,100千円】

## 現状・課題

### 予測困難な社会変化への対応

新しい時代に必要となる資質・能力の育成  
将来につながる協働的ネットワークの構築

### 「探究」活動を中心とした「深い学び」の実現

未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成  
社会との連携・協働， 高大接続改革への対応  
高等学校学習指導要領改訂(2018年)， 大学入学共通テスト導入(2020年)

未来の徳島を牽引する  
トップリーダーの育成

## ネクスト・リーダー育成プログラム

社会の諸課題に挑む意欲と学力を持ち， 社会を牽引する人材育成！！

年間を通じた継続的プログラムで意欲・学力向上  
学校の枠を越えたネットワークの構築

### 徳島ウインターキャンプ

平成30年12月実施（4日間）

- ◆高校生ミーティング  
ワークショップ
- ◆教育長への  
プレゼンテーション



- ◆知事，大学生  
との座談会
- ◆大学教授等  
による講演



↓ 拡充したプログラムを年間通じて継続的に実施 ↓

### 新 高校生サミット

毎学期実施

- ◆高校生版タスクフォース  
県や地域の課題解決を考える
- ◆本県ゆかりの社会人とのセッション  
知事，教育長，各界で活躍中の社会人



### 新 「探究」セミナー

1・2学期実施

- ◆スーパーティーチャーによる教科別講座
- ◆大学教授等による学問分野別講座
- ◆大学生・社会人  
による意欲向上・学力向上講座



## サイエンス・スペシャリスト育成プログラム

科学の力で徳島から世界規模のイノベーションを実現する人材育成！！

多様なプログラムで「突出した」サイエンティストを発掘・育成

### ハイレベルサイエンス講習会

- ◆科学五輪に挑戦 ⇒ 世界大会参加！

化学，生物，物理，地学，数学  
のハイレベル講習

### 科学の甲子園・科学の甲子園Jr 県大会

- ◆科学の甲子園に挑戦 ⇒ 全国上位！

科学技術に関する知識・技能  
を競い合う団体戦

### サイエンスフェスティバル参加

- ◆京都大学で研究発表， 教授から直接指導  
⇒ 京都大学との連携！ 交流から深い学びへ！

全国レベルの実践研究発表  
県内外の生徒と切磋琢磨

### 探究アシスト事業

- ◆高大接続改革フォーラム・情報交換会  
⇒ 県内5大学との連携！ 大学入試改革にも対応！

教員の  
資質・能力向上

高・大の緊密な連携で相互の  
教育・研究システムを向上

### 新 サイエンティスト育成支援事業

- ◆理数研究の裾野を広げる ⇒ 科学者育成の環境充実

出張講義で研究レベルを向上  
実験・実習環境の充実支援

### 新 徳島サイエンス・ハイスクール事業

- サイエンス・イノベーション・ハイスクール  
科学技術で改革を起こす人材育成を目指す  
先進的な科学技術， 理数系教育の実践
- 「NIPPON」探究・ハイスクール  
人文科学・社会科学分野の「探究」を目指す  
世界の中の日本， 徳島を紐解く
- カリキュラム・マネジメント・ハイスクール  
「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す  
特色ある教育課程の研究

学校の  
レベルアップ



指定校での実践研究成果  
を県内・全国に発信

担当：学校教育課

# とくしまの未来を切り拓く「グローバル人財」の育成

【平成31年度当初予算額 14,830千円】

**新** とくしま英語教育イノベーション研修事業  
【予算額 1,150千円】

**教員の指導力・英語力向上を図る**

小学校教員対象

**駆けつけます！  
出前！小英ヘルプデスク**

- ・学校の課題に応じたオーダーメイドの出前研修
- ・小学校外国語教育の拡充と強化

**やってみよう！  
発音トレーニング&授業改善**

- ・受講日が選択可能な発音強化英語力向上研修
- ・最新の指導方法伝達講習で小学校教員の力量アップ

What food do you like?

小・中学校教員対象

**すべての子どもを支援する  
小中英語教育ユニバーサル化講座**

- ・インクルーシブ教育の視点からの指導方法習得研修
- ・子どものニーズに直接アプローチ

**つながろう！  
小中ALTコラボレーション研修**

- ・協働でタスクに取り組むオールイングリッシュ研修
- ・一層の小中連携と系統的な指導方法の習得

中学校・高等学校教員対象

**指導力のブラッシュアップ！  
中高英語発信力育成研修**

- ・大学機関等と連携し、4技能向上のための指導法研修
- ・ディベート等英語発信力のあるグローバル人財の育成

**新** Tokushima英語村プロジェクト  
エンジョイ！コミュニケーション事業  
【予算額 13,680千円】

小学校から高校までの児童生徒に体験活動の機会を提供

小5・6対象

**ALTとともに徳島を学ぶわくわくデイキャンプ**

**外国人と一緒に学んで興味を倍増！**  
テーマ別学習で郷土とくしま再発見

- ・「産業・科学」
- ・「自然・防災」
- ・「文化・歴史」

中学生対象

**世界に飛び出せ！イングリッシュキャンプ**

「即興スピーチカアッフ」で新学習指導要領対応  
「自分の夢を英語で語る」を目指す

高校生対象

**徳島グローバルキャンプ**

自分にチャレンジ！  
1週間宿泊型の「英語漬け体験」

**NEW!** 県西部でも開催！  
5日間通学型で英語漬け

高校生「AWAスペシャル体験サポーター」養成講座

「ジュニア観光ガイド」をバージョンアップ！

- ・来県外国人の体験活動をサポート
- ・災害時に外国人をアシストするためのスキルを養成

教員の指導力アップ！ 県内の全ての児童・生徒の英語コミュニケーション能力の向上！

担当：教職員課、学校教育課

# 新 高大・地域連携キャンパス実践展開事業

【平成31年度当初予算額 890千円】

## 阿南光高校

本県初となる  
「農・工・商一体」の専門高校

宝田キャンパス

新野キャンパス

徳島大学サテライトキャンパス

本館を新築。最新のフードデザイン実習室、バイオテクノロジー実習室を備え、6次産業化商品の加工・開発を行う。ロボット実習システムも新たに整備。ほ場に加えてLED植物工場を整備。農産物生産実習フィールドとして活用する他、徳島大学生物資源産業学部との高大連携による共同研究を行う。学校施設の開放により、地域に開かれたキャンパスを目指す。

6次産業化教育の展開及び研究開発の推進に関する協定書(H28.3.17締結)

### H31事業の概要

#### 高大連携による実践的教育の展開

- ・大学研究者による植物バイオテクノロジーの授業・技術指導
- ・LED植物工場での高大連携教育
- ・地域企業・団体の技術指導による6次産業化商品の開発

#### 地域に開かれたキャンパスづくり

- ・生徒会館の各設備をはじめグラウンドや体育館など学校施設の有効活用



#### とくしまイノベーションセンター

徳島大学生物資源産業学部・  
地元企業・団体との連携



授業・技術指導



共同研究・商品開発

#### LED植物工場

LED照明による  
農産物の栽培



販売実習

#### 生徒会館

2F 宿泊施設  
1F カフェスペース  
会議室

- ・シェアカフェ、高校生カフェなどとして活用
- ・地域のワークショップや講演会、イベント等を企画・誘致
- ・生徒や学生の研究・スポーツ合宿に利用



#### グラウンド

例えば、  
・ドローン研究  
・ソーラーカー研究



#### 体育館

### 事業効果

地方創生  
を担う  
人材の育成

地域の  
特性を活かした  
新産業の創出

地域の  
にぎわい  
創出

担当:教育創生課

# 新 選挙へGO！啓発はぐくみ事業

【平成31年度当初予算額 2,000千円】

## 事業の目的

主権者教育における家庭教育の重要性に着目し、子どもの頃から選挙を「身近なもの」として触れさせ、家族で政治や選挙について考える機会を拡充し、長期的視点をもって一人ひとりの「主権者意識」を育む。

## 事業の背景

### 「18歳選挙権」で執行された二度の国政選挙から見えてきた課題

県内の投票率	18歳	19歳	全体
H28参院選	41.20%	30.70%	46.98%
H29衆院選	41.61%	21.69%	46.47%

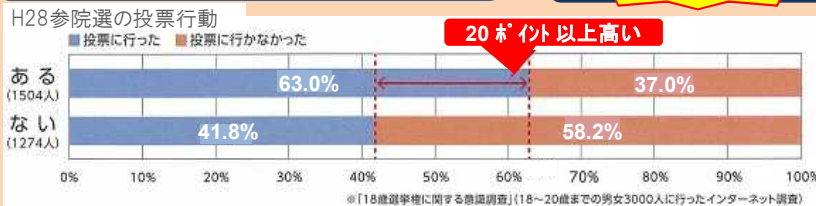
一過性で終わらせない主権者意識の **下地作り** が重要！

### 子どもと一緒に選挙に行こう！



総務省の意識調査では、子どもの頃に親の投票に同行したことがある人の方が、実際に選挙で投票をした割合が **20ポイント以上** 高い

投票に行くのが当然  
親の背を見て子は育つ



## 事業の概要

### 次世代を見据え、親子に重点をおいた選挙啓発の推進

#### 親子向け「選挙啓発」絵本の作成

県内大学との共同作成も検討

- 対象：将来の有権者である子ども（幼稚園～小学校低学年）
- 配布場所：子育てイベント等
- 活用方法：家庭内での読み聞かせ

どちらの意見がいいんだろう？  
どうやって決めるんだろう？  
投票に行ってみよう！



子どもが興味を持つことで、親も選挙へGO！

#### 子育て世代や若者に知って欲しい「選挙制度」の情報発信

投票所に入ることができる子の範囲（公選法第58条）ほか

#### 若者に対する選挙啓発の更なる強化

#### 高等教育機関（H29連携協定締結）との事業展開

ゼロ予算

出前講座や学園祭、サークル活動における啓発活動

#### 若者向け選挙啓発動画（H30作成）の発信

ヴォルティスホームゲームで放映（H31参院選前）



## 事業の効果

- ・子どもの頃から政治・選挙への関心の芽生え
- ・子育ての中での政治・選挙への関心の高まり

主権者意識の向上

投票率アップ！

担当：市町村課（選挙管理委員会）

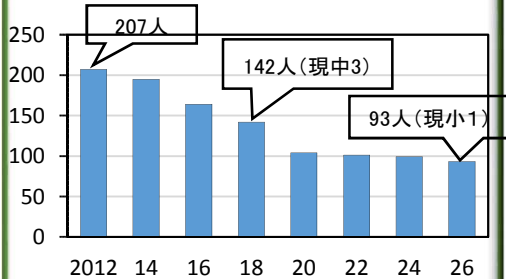
# ふるさと創生拠点ハイスクール推進事業

【平成31年度当初予算額 7,400千円】

## 現状

地域に活力をもたらす、地方創生のカギを握る**若者が減少**

海部郡内中学3年生の生徒数の推移



高校の**規模縮小化**の懸念

ピンチを  
チャンス  
に!!

## 高校の魅力化タスクフォースからの提言

周辺環境を活かした  
体験活動の充実

世界を体感する  
環境の充実

魅力化を推進する  
体制づくり

## 事業の概要

平成30年度入試から  
県外募集枠を撤廃

県内外から生徒が集う



### 地域を体験する!! 実践海部道場

- ・ 地域創造提案型学習
- ・ 体験・体感プログラム (部活動指導等含む)
- ・ 伝統文化の学習・継承



### 魅力化を推進する!! 広報・組織

- ・ 県内外での説明会(東京, 大阪)
- ・ 高校見学ツアーの開催
- ・ 魅力化コーディネーターの配置
- ・ 推進協議会の運営
- ・ 県外生受入体制の整備

### 世界を体感する!! グローバル教育

- ・ オンライン英会話
- ・ 海外学生との交流推進
- ・ ALT等による英語漬け体験



## 期待される効果

県内外からの  
入学希望者の増加

学校の  
活性化

地域の  
活性化

高校を拠点  
とした  
地方創生

**徳島モデル  
を全国へ!!**

高校の魅力化による地方創生の実現！

担当: 教育創生課

# 人口減少社会に対応した小中一貫教育推進事業

## 小中一貫教育徳島モデル

【平成31年度当初予算額 5,000千円】

### 分散型小中一貫教育 (チェーンスクール)

取組の方向性 ◆小規模校の維持 ◆多様な学びの保障

### 一体型小中一貫教育 (パッケージスクール)

#### 【成果】

- ・小中合同学習や乗り入れ授業の充実
- ・学校間連携体制の整備
- ・地域住民による教育活動の支援

#### 【課題】

- ・地域の教育力の取り込み
- ・他地域の学校との交流推進



保育所等



社会教育施設  
福祉施設等



阿南・三好・北島・鳴門・東みよし(2地域)

2019年度

7地域へ  
(1地域追加予定)



取組の重点 「3つの連携」  
◆校種間連携の充実 ◆地域連携の充実 ◆他地域との連携の促進

#### 校種間連携の充実

- ◆小一プロブレム、中一ギャップの解消
- ◆教員の相互乗り入れ授業
- ◆めざす子ども像の共有

#### 地域連携の充実

- ◆継続的に地域人材を学校へ
- ◆子どもが地域への愛着や誇りを持つ
- ◆学校が地域を、地域が学校を知る

#### 他地域との連携の促進

- ◆小中一貫教育推進会議 ◆実践地区交流研修会 ◆小中一貫教育推進委員会

地域とともにある  
学校づくりの推進

つながりのある  
学びの推進

コミュニティ・スクールの推進に向けた連携へ

牟岐  
佐那河内  
那賀



とくしまの魅力 を実感し とくしまへの誇り を持ち とくしまを愛する 子どもの育成

# 未来へつなぐ「キャリア教育」推進プロジェクト ～100年先も輝くとくしまへ～

現状 ◆モデルなきSociety5.0時代の到来  
◆進学・就職を機に県外に流出

課題 ◆リスクに対処できるキャリアプランニング能力の育成  
◆ふるさと回帰・意識の醸成

【平成31年度当初予算額 13,000千円】

輝き続けるとくしまの実現  
地域を支える「人財」の育成

## 100年先を創る 起業家育成事業

◆地元商工会議所・自治体・  
大学等と連携し、**起業塾**を  
拡充

地域創造に  
つながる  
施策提言

空き店舗を  
活用した  
出店・販売

起業・創業精神を育成



「RESAS」活用  
データに基づく立案に  
Challenge!!

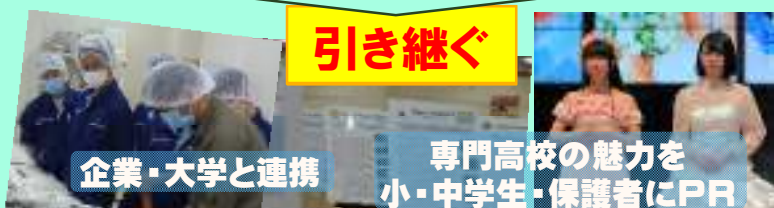
世界に踏み出す力を育成

## 「輝き続けるとくしま」継承プロジェクト

### 徳島の「良さ」「強み」を



「県内企業の強み」「働きやすい徳島」をアピール



「徳島」を継承!多様なキャリアパスを強力発信



高校生の切り口で徳島の強みを拡大・普及

## 未来コンパス 「キャリアプランニング」事業

◆**新**小・中・高段階を接続する  
「キャリア・パスポート」の活用  
・学びの過程を振り返り、  
将来の見通しを持つ経験  
・キャリアカウンセリングの  
充実



◆高大接続・高度資格取得の充実  
・徳島大学「**医学部**」・  
「**生物資源産業学部**」と連携強化  
→「**アカデミックインターンシップ**」  
のさらなる推進

1日大学生

・高度専門資格取得講座の  
実施→ **マイスター育成**

キャリア形成支援の強化

◆「地方創生人材の確保」支援を推進  
・学生・若年職業人等による  
**キャリアガイダンス**

・予期せぬ困難を乗り越えるための情報  
発信 → リーフレット配布 **ガイダンス**

モデルなき時代を生き抜く、  
しなやかな人材を育成

一步先の未来を見据え、持続可能な社会の創り手となる人材の育成

担当：学校教育課

# 競技力向上関連事業

## 全国高等学校総合体育大会や各種全国大会上位入賞

【平成31年度当初予算額 34,794千円】

小・中学生世代から将来性のある選手を**発掘し継続強化**

高校生の**競技力向上**

新たな有望競技の**育成**

新

### NEO徳島トップスポーツ校強化事業

【12,600千円】

2022年度全国高等学校総合体育大会や各種全国大会での上位入賞を目指すため、強化校を指定し、集中的に高校生の競技力向上を図る



ライフル国体優勝

女子ラグビー全国7位

新

### 全国高等学校総合体育大会開催準備事業

【2,850千円】

2022年度に四国4県で開催される、全国高等学校総合体育大会の実行委員会設立準備を行う

レガシーとして  
継承

### 渦潮スポーツアカデミー推進事業

【7,000千円】

スポーツ拠点校である鳴門渦潮高校を中心に、選手の育成・強化と指導者育成



トップアスリート発掘・育成

### 中学校トップスポーツ競技育成事業

【5,600千円】

全国で活躍できる競技を指定し、高校と連携を図り、競技力を向上



トップアスリート体力測定・分析

### あわスポーツ・ブルージング戦略事業

【6,744千円】

小学校・中学校体育連盟と連携し、将来有望なジュニア選手の発掘・育成  
高校体育連盟と連携し、入賞の可能性のある競技の強化・支援

世界や国際大会で活躍するアスリートの育成!

担当: 体育学校安全課



# 中学生・高校生の「文化芸術力」創造・発信プロジェクト

【平成31年度当初予算額 21,113千円】

## 羽ばたけあわっ子！文化芸術共創・発信事業

【平成31年度当初予算額 3,313千円】

### 中学生「あわっ子文化大使」活躍事業

- H25年度より  
新たな「あわっ子文化大使」を  
毎年30人程度認定

- 検定受検者数はH30年度1,044名  
→ H31年度はさらなる拡大へ

- **新** H30ツアー参加者の意見を反映させた  
「あわ文化体験ツアー」の企画・実施、  
ツアーの様子を映像で世界へ情報発信

H30に200名突破



中学生の企画による  
体験ツアーの決定版！

### 全国中学校総合文化祭派遣事業

- 全国中文祭富山大会へ生徒を派遣
- 県中文連の活動を支援！



## 輝け高校生！文化芸術力創造・発信事業

【平成31年度当初予算額 17,800千円】



### 文化芸術リーディングハイスクール

- **本県在住・ゆかりの音楽家**による  
スキルアップの実施

文化芸術拠点校の  
更なる進化へ！

- **新** 音楽サポーター制度(H30～)を  
**美術・書道にも展開**  
名西高生が地域の小中学生を指導、  
お互いの技術力を向上



### あわ文化の継承・後継者育成

- **阿波人形じょうり伝承教室**の開催・  
**後継者の育成支援**
- 中高生「**ジュニア浄瑠璃フェスティバル**」の  
開催



若人による「あわ文化」の継承と新たな創造を推進  
「文化の創造・とくしまづくり」の実現

担当：教育文化課